

令和6年度

鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート結果（対象：保護者）

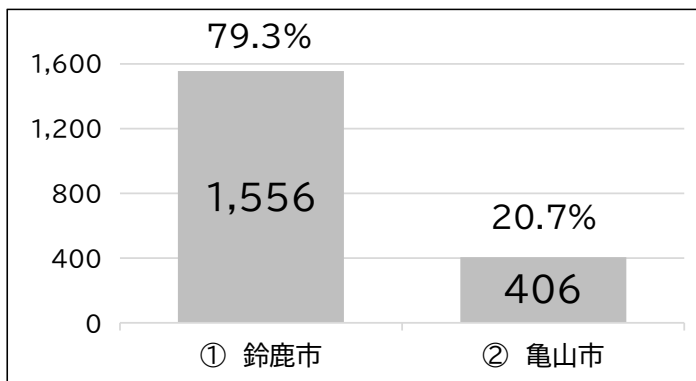
鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

- 調査期間 : 令和6年9月中旬～10月25日（金）
- 調査対象 : 鈴鹿亀山地域（鈴鹿市、亀山市）の公立中学校2年生の保護者
及び公立小学校5年生の保護者
- 対象者数 : 4,265人（令和6年5月1日時点）
- 調査形態 : Webアンケート（LoGo フォーム〈県の電子申請・届出システム〉）により回答 ※Webアンケートにより回答がむずかしい場合は、回答用紙を利用
- 回答者数 : 1,962人（回答率 約46.0%）
- 多言語対応 : ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ビザイヤ語

- 1 右枠内のIDを書いてください。(省略)
- 2 右枠内のPWを書いてください。(省略)

3 現在の居住地はどこですか。

- ① 鈴鹿市 ② 亀山市

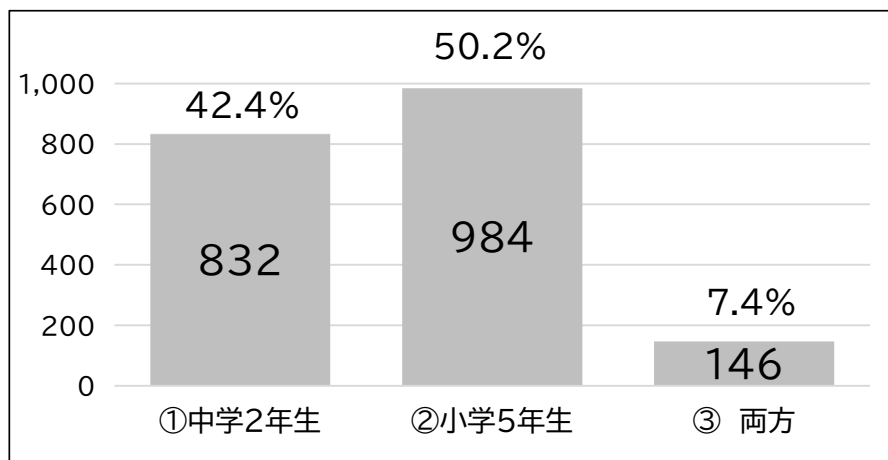


《市別の状況》

① 鈴鹿市	1,556	79.3%
② 亀山市	406	20.7%
合計	1,962	100.0%

4 あなたのお子さんはどちらの学年ですか。※両方の場合は、2つ選んでください。

- ① 中学2年生 ② 小学5年生



《市別の状況》

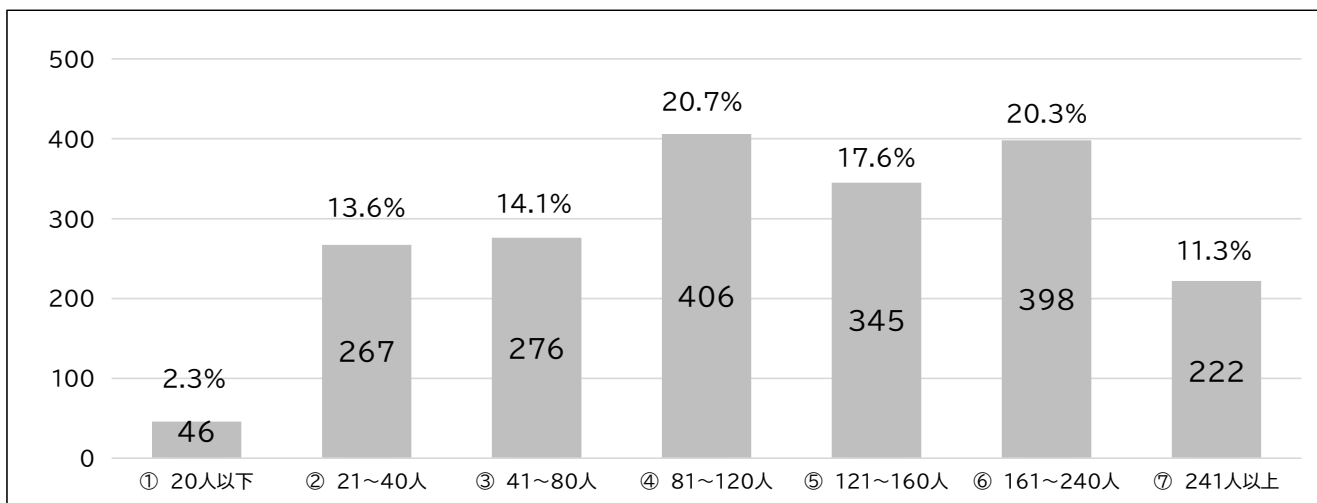
	① 中学2年生	② 小学5年生	③ 両方	合計
① 鈴鹿市	643	799	114	1556
	41.3%	51.3%	7.3%	100.0%
② 亀山市	189	185	32	406
	46.6%	45.6%	7.9%	100.0%
合計	832	984	146	1,962
	42.4%	50.2%	7.4%	100.0%

5 あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。

次の中から1つ選んでください。

※両方の学年にいる場合は、上の学年でお答えください。

- ① 20人以下 ② 21~40人 ③ 41~80人 ④ 81~120人
 ⑤ 121~160人 ⑥ 161~240人 ⑦ 241人以上



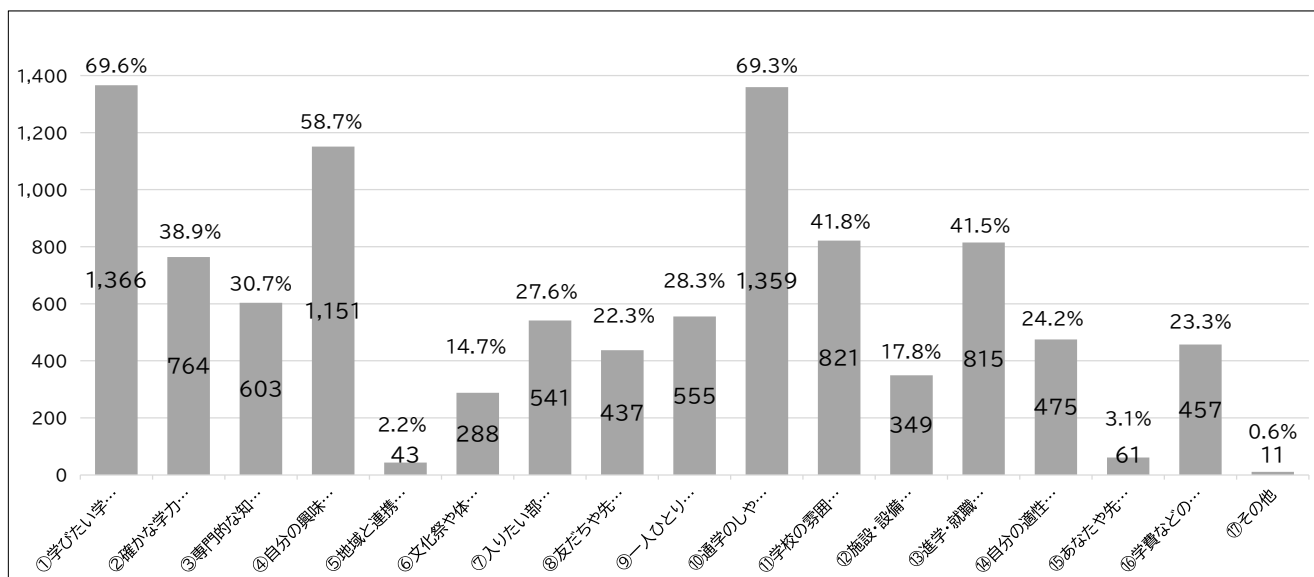
《市別の状況》

	① 20人以下	② 21~40人	③ 41~80人	④ 81~120人	⑤ 121~160人	⑥ 161~240人	⑦ 241人以上	合計
① 鈴鹿市	20	223	208	355	305	248	197	1,556
	1.3%	14.3%	13.4%	22.8%	19.6%	15.9%	12.7%	100.0%
② 亀山市	26	44	68	51	40	150	25	404
	6.4%	10.9%	16.8%	12.6%	9.9%	37.1%	6.2%	100.0%
合計	46	267	276	406	345	398	222	1,960
	2.3%	13.6%	14.1%	20.7%	17.6%	20.3%	11.3%	100.0%

6 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。

次の中から6つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがあること
- ② 確かな学力を身につける授業が充実していること
- ③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること
- ④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること
- ⑤ 地域と連携した活動が充実していること
- ⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること
- ⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること
- ⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること
- ⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること
- ⑩ 通学のしやすさ・距離
- ⑪ 学校の雰囲気・イメージ
- ⑫ 施設・設備の充実
- ⑬ 進学・就職の実績
- ⑭ 自分の適性や能力
- ⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見
- ⑯ 学費などの経費負担
- ⑰ その他(質問7の自由記述へ)

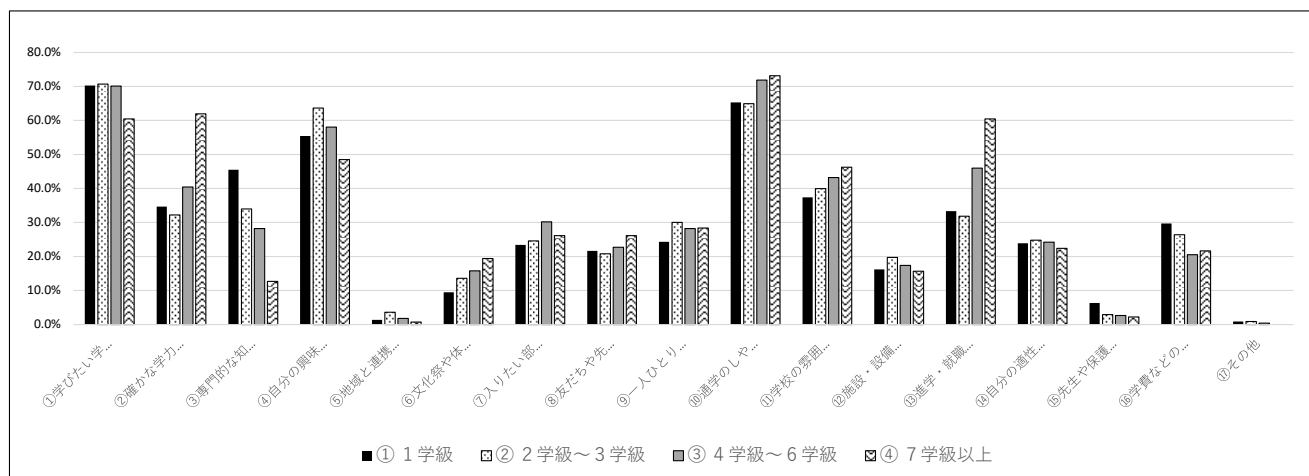


《市別の状況》

	① 学びたい学...	② 確かな学力...	③ 専門的な知...	④ 自分の興味...	⑤ 地域と連携...	⑥ 文化祭や体...	⑦ 入りたい部...	⑧ 友だちや先...	⑨ 一人ひとり...	⑩ 通学のしや...	⑪ 学校の雰理...	⑫ 施設・設備...	⑬ 進学・就職...	⑭ 自分の適性...	⑮ あなたや先...	⑯ 学費などの...	⑰ その他
鈴鹿市(人)	1,072	615	476	920	34	230	432	347	446	1,074	645	284	646	377	49	362	8
鈴鹿市の回答者(1,556人)に対する割合	68.9%	39.5%	30.6%	59.1%	2.2%	14.8%	27.8%	22.3%	28.7%	69.0%	41.5%	18.3%	41.5%	24.2%	3.1%	23.3%	0.5%
亀山市(人)	294	149	127	231	9	58	109	90	109	285	176	65	169	98	12	95	3
亀山市の回答者(406人)に対する割合	72.4%	36.7%	31.3%	56.9%	2.2%	14.3%	26.8%	22.2%	26.8%	70.2%	43.3%	16.0%	41.6%	24.1%	3.0%	23.4%	0.7%
合計	1,366	764	603	1,151	43	288	541	437	555	1,359	821	349	815	475	61	457	11
	69.6%	38.9%	30.7%	58.7%	2.2%	14.7%	27.6%	22.3%	28.3%	69.3%	41.8%	17.8%	41.5%	24.2%	3.1%	23.3%	0.6%

《参考：問6「高校選びで重視すること」と、問10「希望する学級規模」の関係》

問10 \ 問6	① 学びたい学...	② 確かな学力...	③ 専門的な知...	④ 自分の興味...	⑤ 地域と連携...	⑥ 文化祭や体...	⑦ 入りたい部...	⑧ 友だちや先...	⑨ 一人ひとり...	⑩ 通学のしや...	⑪ 学校の雰囲気...	⑫ 施設・設備...	⑬ 進学・就職...	⑭ 自分の適性...	⑮ 先生や保護...	⑯ 学費などの...	⑰ その他
	① 1学級 を選んだ保護者(222人)	156 70.3%	77 34.7%	101 45.5%	123 55.4%	3 1.4%	21 9.5%	52 23.4%	48 21.6%	54 24.3%	145 65.3%	83 37.4%	36 16.2%	74 33.3%	53 23.9%	14 6.3%	66 29.7%
② 2学級～3学級 を選んだ保護者(553人)	391 70.7%	178 32.2%	188 34.0%	352 63.7%	20 3.6%	75 13.6%	136 24.6%	115 20.8%	166 30.0%	359 64.9%	221 40.0%	109 19.7%	176 31.8%	137 24.8%	16 2.9%	146 26.4%	5 0.9%
③ 4学級～6学級 を選んだ保護者(1053人)	738 70.1%	426 40.5%	297 28.2%	611 58.0%	19 1.8%	166 15.8%	318 30.2%	239 22.7%	297 28.2%	757 71.9%	455 43.2%	183 17.4%	484 46.0%	255 24.2%	28 2.7%	216 20.5%	4 0.4%
④ 7学級以上 を選んだ保護者(134人)	81 60.4%	83 61.9%	17 12.7%	65 48.5%	1 0.7%	26 19.4%	35 26.1%	35 26.1%	38 28.4%	98 73.1%	62 46.3%	21 15.7%	81 60.4%	30 22.4%	3 2.2%	29 21.6%	0 0.0%
合計	1366 69.6%	764 38.9%	603 30.7%	1151 58.7%	43 2.2%	288 14.7%	541 27.6%	437 22.3%	555 28.3%	1359 69.3%	821 41.8%	349 17.8%	815 41.5%	475 24.2%	61 3.1%	457 23.3%	11 0.6%



7 質問6で「⑰ その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。

【鈴鹿市】

- ・まずは本人の学力で入れる高校を選択。高校卒業後には就職か進学かを踏まえて選択・子供のレベルにあった学校
- ・学校へ行きづらい、教室にいるのがしんどい子への対応（別室教室等）が充実している
- ・子どもの将来は、本人自身に考えてと言ってもまだまだ、漠然としていると思うので進学、就職の実績がある学校の方が、先生方に相談した時により子供にあったアドバイスや提案をしていただけと思ったから。
- ・生徒や教師の質が良いこと
- ・心のケア（相談できる環境が整っていること）（解決に向けて一緒に考えてくれる人がいること）
- ・自分の興味関心以外の幅広い価値観、多角的な視点からのものの考え方
- ・バリアフリーな環境が整っていること。
- ・校則がきつくないこと
- ・進学、就職
- ・特になし

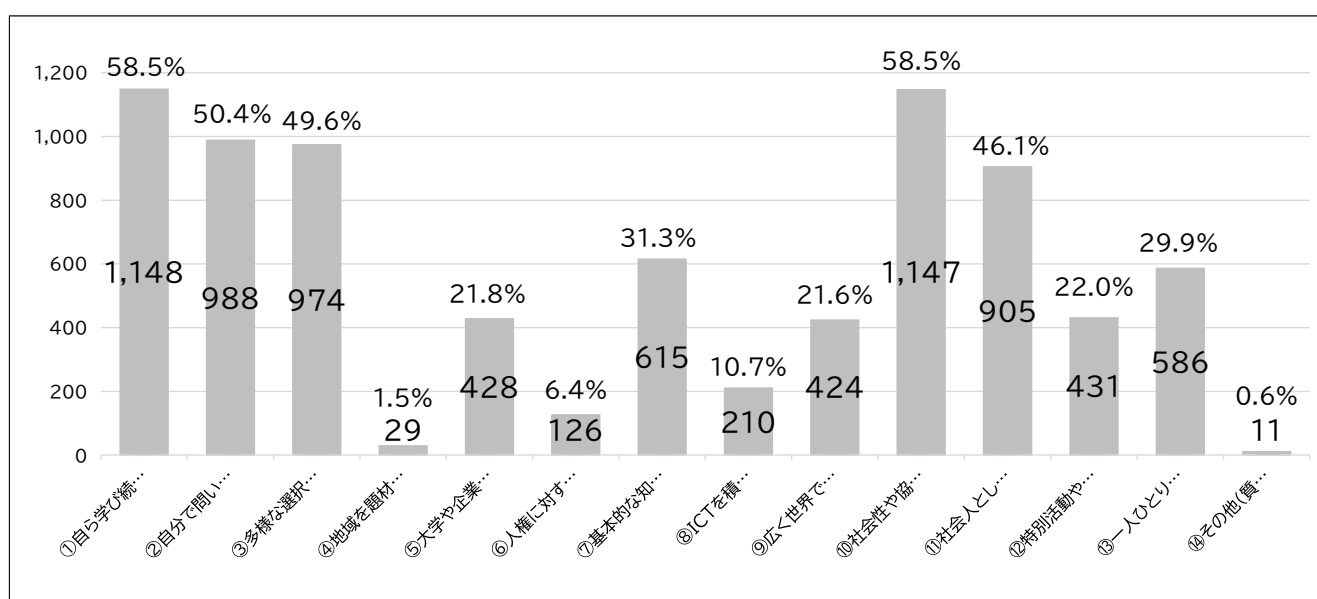
【亀山市】

- ・発達障がいグレーゾーンのため、それに見合う学校が良い
- ・社会人になるまでに、人として大切なことが身につけられること。自己肯定感をあげること。
- ・バイク通学ができること(通学しにくい学校が多い、電車等の交通費が抑えられるため)

8 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。

次の中から5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
- ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他(質問9の自由記述へ)

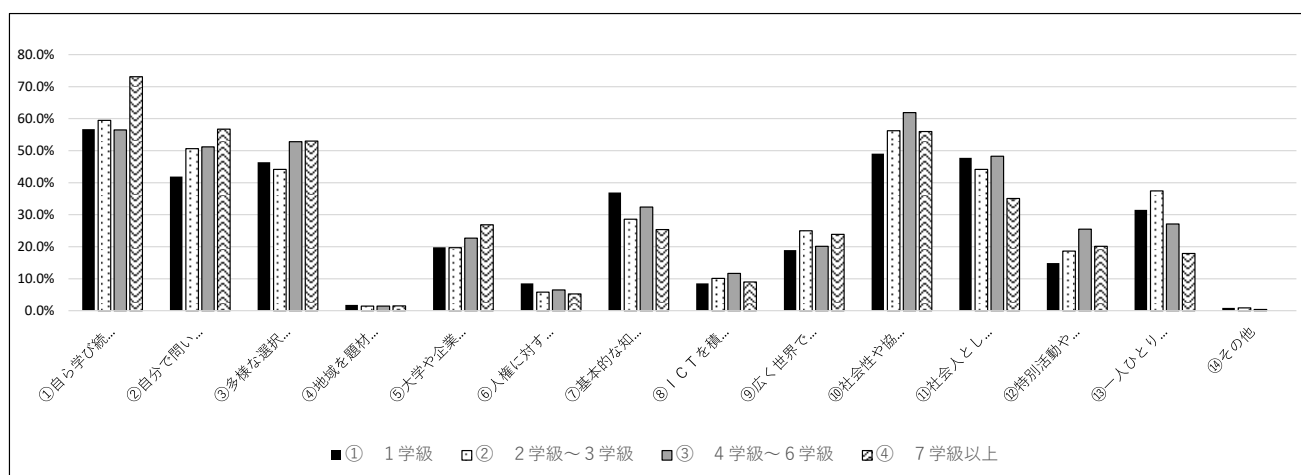


《市別の状況》

	① 自ら学び続ける...	② 自分で問い...	③ 多様な選択...	④ 地域を題材...	⑤ 大学や企業...	⑥ 人権に対す...	⑦ 基本的な知...	⑧ ICTを積...	⑨ 広く世界で...	⑩ 社会性や協...	⑪ 社会人とし...	⑫ 特別活動や...	⑬ 一人ひとり...	⑭ その他(質...
鈴鹿市(人) 鈴鹿市の回答者(1,556人) に対する割合	921 59.2%	804 51.7%	770 49.5%	21 1.3%	347 22.3%	99 6.4%	482 31.0%	184 11.8%	343 22.0%	920 59.1%	715 46.0%	343 22.0%	450 28.9%	8 0.5%
亀山市(人) 亀山市の回答者(406人) に対する割合	227 55.9%	184 45.3%	204 50.2%	8 2.0%	81 20.0%	27 6.7%	133 32.8%	26 6.4%	81 20.0%	227 55.9%	190 46.8%	88 21.7%	136 33.5%	3 0.7%
合計	1,148 58.5%	988 50.4%	974 49.6%	29 1.5%	428 21.8%	126 6.4%	615 31.3%	210 10.7%	424 21.6%	1,147 58.5%	905 46.1%	431 22.0%	586 29.9%	11 0.6%

《参考：問8「高校に期待する教育」と、問10「希望する学級規模」の関係》

問8 \ 問10	①自ら学び続...	②自分で問い...	③多様な選択...	④地域を題材...	⑤大学や企業...	⑥人権に対す...	⑦基本的な知...	⑧ICTを積...	⑨広く世界で...	⑩社会性や協...	⑪社会人とし...	⑫特別活動や...	⑬一人ひとり...	⑭その他
	① 1学級 を選んだ保護者(222人)	126 56.8%	93 41.9%	103 46.4%	4 1.8%	44 19.8%	19 8.6%	82 36.9%	19 8.6%	42 18.9%	109 49.1%	106 47.7%	33 14.9%	70 31.5%
② 2学級～3学級 を選んだ保護者(553人)	329 59.5%	280 50.6%	244 44.1%	8 1.4%	109 19.7%	32 5.8%	158 28.6%	56 10.1%	138 25.0%	311 56.2%	244 44.1%	103 18.6%	207 37.4%	5 0.9%
③ 4学級～6学級 を選んだ保護者(1053人)	595 56.5%	539 51.2%	556 52.8%	15 1.4%	239 22.7%	68 6.5%	341 32.4%	123 11.7%	212 20.1%	652 61.9%	508 48.2%	268 25.5%	285 27.1%	4 0.4%
④ 7学級以上 を選んだ保護者(134人)	98 73.1%	76 56.7%	71 53.0%	2 1.5%	36 26.9%	7 5.2%	34 25.4%	12 9.0%	32 23.9%	75 56.0%	47 35.1%	27 20.1%	24 17.9%	0 0.0%
合計	1,148 58.5%	988 50.4%	974 49.6%	29 1.5%	428 21.8%	126 6.4%	615 31.3%	210 10.7%	424 21.6%	1,147 58.5%	905 46.1%	431 22.0%	586 29.9%	11 0.6%



9 質問8で「⑭ その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

【鈴鹿市】

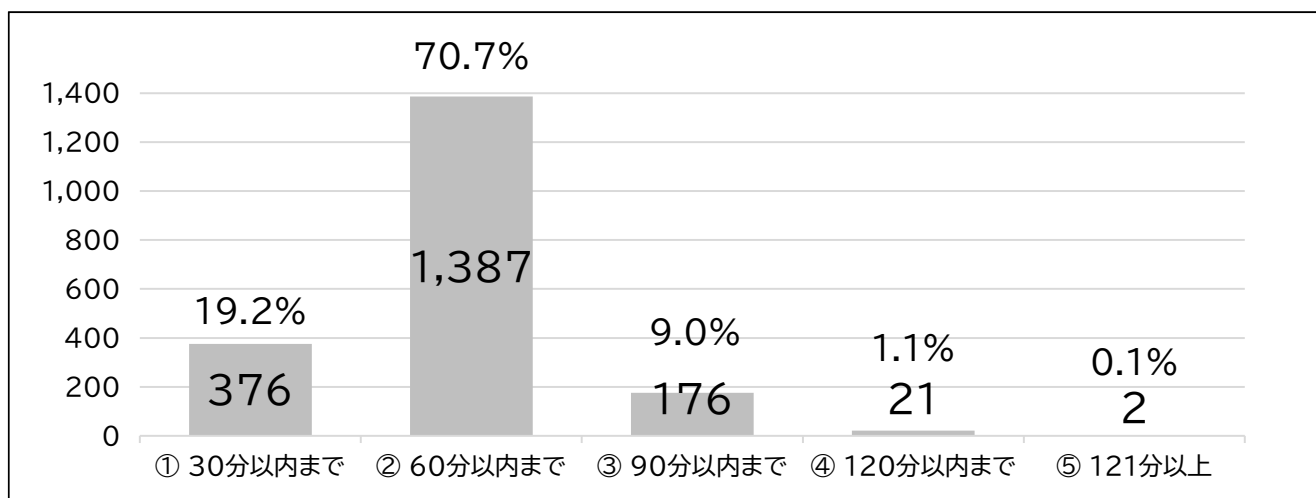
- ・自ら問や課題を見つける事も、自ら進んで学び続ける事も当然必要だが、自ら学ぶ事に消極的な子も塾に行かなくても、国公立大学へ行けるくらいの希望者向けの講習などを学校でもらえると助かります。
- ・教室の中だけでなく、実践を通して学ぶことができる教育
- ・学ぶことの楽しさを伝えてくれる
- ・社会制度や金融リテラシーなど、社会にでてからより実践的な教育
- ・進学コースに応じて、放課後の特化授業をして貰えること
- ・軽度の障がいがある生徒にも、その子に合った支援をして頂きたいです。
- ・自己肯定感、人を尊重でき認めあえるところ
- ・なし。

【亀山市】

- ・将来着きたい職業があるのでその職業につくための練習時間など確保できるか、またそのための留学支援などがあるかどうか。
- ・自分のことが大事にでき、社会にどう貢献していくかを考えることができる力をつける。
- ・お金に関する教育

11 お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学(片道)にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで ② 60分以内まで ③ 90分以内まで
 ④ 120分以内まで ⑤ 121分以上

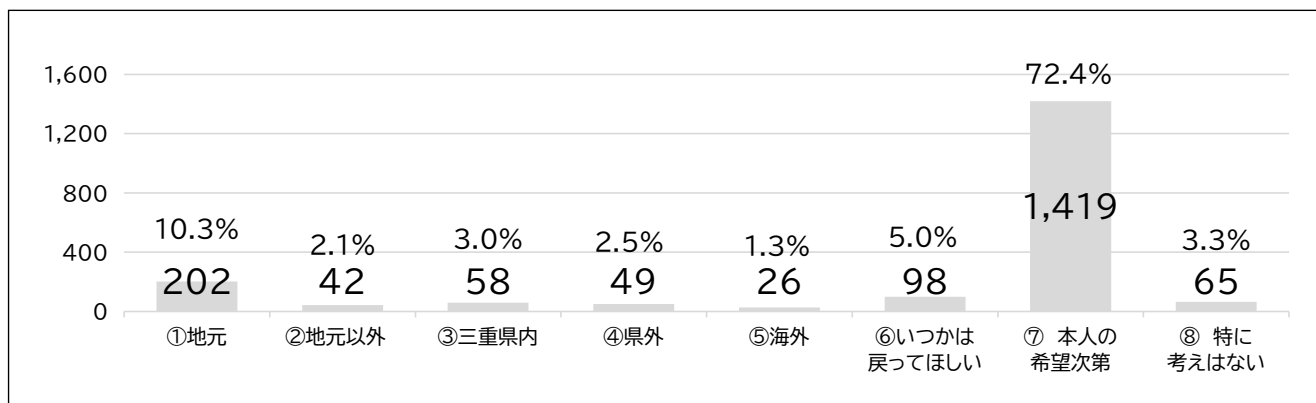


《市別の状況》

	① 30分以内まで	② 60分以内まで	③ 90分以内まで	④ 120分以内まで	⑤ 121分以上
鈴鹿市(人)	312	1,104	125	14	1
鈴鹿市の回答者(1,556人)に対する割合	20.1%	71.0%	8.0%	0.9%	0.1%
亀山市(人)	64	283	51	7	1
亀山市の回答者(406人)に対する割合	15.8%	69.7%	12.6%	1.7%	0.2%
合計	376	1,387	176	21	2
	19.2%	70.7%	9.0%	1.1%	0.1%

12 将来(中学・高校・大学等の学校を卒業後)、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元(現在住んでいる市町)
- ② 地元以外の鈴鹿亀山地域
- ③ 鈴鹿亀山地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
- ⑦ 本人の希望次第
- ⑧ 特に考えはない

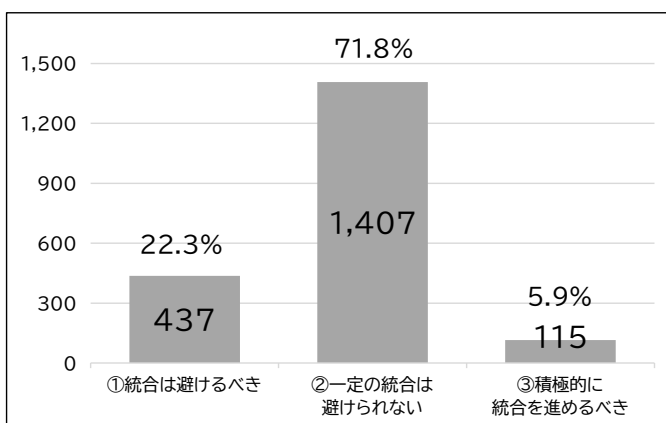


《市別の状況》

	① 地元	② 地元以外	③ 三重県内	④ 県外	⑤ 海外	⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい	⑦ 本人の希望次第	⑧ 特に考えはない
鈴鹿市(人) 鈴鹿市の回答者(1,553人) に対する割合	177 11.4%	29 1.9%	39 2.5%	39 2.5%	23 1.5%	77 5.0%	1,123 72.3%	46 3.0%
亀山市(人) 亀山市の回答者(406人) に対する割合	25 6.2%	13 3.2%	19 4.7%	10 2.5%	3 0.7%	21 5.2%	296 72.9%	19 4.7%
合計	202 10.3%	42 2.1%	58 3.0%	49 2.5%	26 1.3%	98 5.0%	1,419 72.4%	65 3.3%

13 現在、鈴鹿亀山地域には県立高校が6校配置されており、1学年あたりの学級数は合計28学級となっています。今後、鈴鹿亀山地域でも少子化が進み、15年先の令和21年度には合計15~17学級程度になることが見込まれる中、6校を維持すると各学校の小規模化が進むことから、本協議会では今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の配置のあり方について検討を進めています。このことについて、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 統合は避けるべき
- ② 一定の統合は避けられない
- ③ 積極的に統合を進めるべき



《市別の状況》

	① 統合は避けるべき	② 一定の統合は避けられない	③ 積極的に統合を進めるべき
鈴鹿市(人) 鈴鹿市の回答者(1,553人) に対する割合	334 21.5%	1,126 72.5%	93 6.0%
亀山市(人) 亀山市の回答者(406人) に対する割合	103 25.4%	281 69.2%	22 5.4%
合計	437 22.3%	1,407 71.8%	115 5.9%

14 質問13の①～③を選んだ理由や、今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

① 統合は避けるべき

【鈴鹿市】 (195人が回答)

◎学習面(学び)に関する内容

- ・少人数でも学びたい勉強を優先させたい。
 - ・人数が少なくなったとしても、しっかりした教育が受けられるならいいと思います
 - ・現在でも優秀な生徒は他地域に流れているので、鈴鹿地区の高校のレベルアップを計る。それ以外では特色のある多様な学科を作り他地域にアピールする。統合するとますます地域外に出ていき、高校に通う時間もかかるので、全体の人口減少になりかねない。
 - ・各高校の特性があるので、無理に統合しなくても子供達が学べる環境やコース等あってはいいのではないかと思います。自由に選べる環境は大事だと思います。
 - ・今後子供の人数によって統合化は避けられないのかもしれないけれど通学の事や学びたいと思う学科などが減ってしまうのであれば統合化は思わしくないと考えます
 - ・統合されると、個人の学びたいと望む事の選択肢が減ってしまう気がします。
 - ・鈴鹿・亀山に現在ある高校は、特色のある学科やコースがある学校が多いので、そのまま残していった方が子供たちの選択肢が狭まることなくいいと思ったので①を選びました。
 - ・勉学に突出している、スポーツ活動が盛ん、地域活動や企業との連携に力を入れている、グローバル、ICTなど先進的なことが学べるなど、それぞれの高校が独自の特色を持つようになれば、統廃合をせず、むしろ少人数制で取り組む必要のある項目は少数の学級にすることが可能になるので、鈴鹿亀山の子どもたちの選択の幅が広がるのではないのでしょうか。全ての項目に平均点の高校がいくつかあるより、それぞれの特色が強く出ている高校の方が選択しやすいです。
- 今は何を基準に高校を選んでいるのでしょうか。学力で高校を選ぶことは、豊かな人材を育てることには繋がらないと考えます。
- ・統合するのであれば、専攻専科が豊富に有った方が良い。普通、商業、工業、等
 - ・普通科の統合にしても偏差値と今までの伝統・学校名と言うブランド力というものは学校数の少ない田舎においてとても大きいと思います。普通科以外の特色科は子供たちの進路や就職においてより大切にしていって欲しいし所なのでその良さを無くさないで欲しい。元々工業科がない中、16年ほど前に神戸高校の商業科がなくなって、鈴鹿・亀山には商業科、工業科と専門的や就職に特化した勉強をする為には津や四日市に通わなければならないので統合する事になったとしても今ある科は無くさないで欲しい所です。

◎学力に関する内容

- ・統合すると、現状よりも個々の高校の学力差の範囲広がるのではないかと気になるため。
- ・統合によって学力低下や学校の質を下げってしまう気がする。選択肢が減ってしまうので将来の可能性が狭まる。
- ・それぞれの学校のレベルもあり、一概に統合が良いとは言えない。高校同志も、それほど近いところにあるとは思わないから、統合すべきではない。
- ・それぞれの学校の学力レベルやコースが異なるため統合は難しいのではないかと感じました。
- ・学力の差がなくなり受験に対する意識が引くくなる。統合するぐらいならオンライン授業でも構わない。その代わり友人関係を築ける環境も必要にはなってくるだろう。
- ・学力の差が開きすぎると、中学校のあり方と似てしまう。似たような価値観の友人に出会える環境がある希望も残して欲しい。

- ・学力の差で高校を分けているのに統合してしまうと良い影響よりも悪い影響がありそうな気がします。
- ・高校によって学力に差があるから統合は難しいのではないかなと思います。
- ・義務教育後の学びとして、ある程度、学力、能力におけるバラつきをなくし、その上で一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな教育を望むからです。
- ・県立の中でも学力や偏差値、部活の強弱、素行の良し悪し等の格差がある中で少子化対策だけで統合するのは、子供らの対外意識や生活内容にあまり良い影響をもたらさないのではないかと考えます。
- ・今の県立高校のレベルの差を同じには出来ないましてや今でも選べる県立高校が少ないのにこれ以上少なくなって選択肢もなくなりどうするのか
- ・選択肢が減り、学力レベルの差がなくなると思うから。
- ・偏差値の差と地域の差が強くと、公立高校の選択肢が狭くなるのではないかと。
- ・人数が少ない学校は、少人数ならではのより濃い質の高い授業をして、個々の学力を上げるべき
- ・ integração deve ser evitada pois poderá
 Ser melhorado o ensino aumentando o ranking das escolas de
 Suzuka e Kameyama assim chamando a atenção de futuras pessoas que pensam em fixar moradia na cidade de
 nsando no futuro escolar de seus filhos
- ※鈴鹿市と亀山市の学校の順位を上げることで教育が改善され、子供の教育の将来を考えて市に定住することを考えている将来の人々の注目を集めることができるため、統合は避けるべきである。(google 翻訳より)
- ・学力レベルが変わる、通学が不便になる可能性があるから。
- ・統合があった場合、入試時点から、学力の個人差に対応できるといいと思います。入学後も、クラスの細分化が必要になろうかと思えます。
- ・偏差値の差があるため、学力が心配になる。また普通科が多いため、統合してもまた統合になるのではないかと。将来を見据えた統合を行っていただきたい。
- ・それぞれの高校の特色があると思うので、小規模になっても、そこを求めて来る子がいると思う。同じ偏差値の高校ではないから、同じぐらいの高校で統合したとしても、偏差値の高い方の高校を目指している子からしたら不満。更に市外の高校へ進学する子が増える。
- ・同じような学力の中で切磋琢磨して成長して欲しいし、それぞれの高校の特色をなくしてほしくないから。
- ・県立高校になると学力の偏差値で進める先が分かれていてその先を見据えてしっかりと学力を伸ばして行って、自分の人生の重要分岐点、その先の夢に向かっていく学力をつけさせたいと捉えている。今の中学義務教育では学力のばらつきがあり学力によりクラス分けとか行われていないので学力の低下(他の人と合わせてとかが時間効率が悪い)が考えらると思います。
 高校は義務教育ではない為、各高校の偏差値の差に特徴があるので良いと思っています。統合には賛成出来かねます。
- ・高校の偏差値も違うので、統合となると難しいのではないかと
- ・高校の偏差値が、そもそも違うのに、統合する意味が分からない。それぞれの高校が、それぞれの特色を、今後も出して行って欲しい。
- ・統合をすることによって、子供たちの学べる道が狭くなる。統合をするとマンモス学校になり、子供への教育が手薄になり、学力低下に繋がるのではないかと。
- ・統合によって学力レベルの低下が懸念される
- ・レベルの差があり難しいと思います。
- ・レベルの差がなくなってしまうのではないかと。
- ・偏差値レベルが同等ならば統合してもよい
- ・学力レベルの違いは必要
- ・学力の差が関係無くなる
- ・学力の差
- ・偏差値が下がる

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・少子化でよりきめ細かい指導を希望する
- ・統合する事で1つの高校の人数が増え、目が届かなくなる気がするから。
- ・統合すれば、人数は増えますが、先生が子供達に目を配るのが大変かと思います。
- ・高校の特色を生かし、子どもが選択できたらいい。統合よりも、少人数クラスの方がこどもに目が届きやすくいいと思う
- ・少人数で学ぶ教育、支援
- ・少人数のほうが1人1人に合う教育が行き届きそうなので統合しなくても良いと思う。
- ・男子高校や、女子高校生を共学にするのも不思議に思う。なんでもかんでもひとつにまとめればいいという問題ではないと思う。少人数でも学習はできるし先生方もその他大勢の生徒より個人を見て教育ができる。
- ・少ない学級の方が全員仲良くなれる。あまり多い学級は経験上誰かわからない人がいっぱい居た。
- ・人数が少なくても、その分ひとりひとりをしっかり見ていただける職員の人数が配置されるのなら、むしろそっちのほうが良いですね。職員も減らされるのでしたら統合してもいいかなと思います。
- ・生徒達の時間がつくれる。生徒達1人1人に対して接することが増える。先生の負担が減る。
- ・幅広く様々な人と交流し、人として成長してほしいから。
- ・統合すると、各高校のいい特色がなくなってしまう
- ・それぞれの学校で特色があるから
- ・それぞれの学校の良さ、特色があると思うので、学校が統合されて減ると進路の選択肢が減るので避けていただきたいとは思いますが、仕方がないことだとも思います。
- ・それぞれの高校が持つ特色が失われないようにしてほしい。
- ・それぞれの高校には地域の特色や学べる施設があり、廃校にしてしまうとその学校の良さがなくなる気がします
- ・それぞれの高校に特徴があると思うので、子供の選択肢が狭くならないように今のままで続けてもらいたいです。
- ・それぞれの高校の特色があるので、縮小しながら維持して行ってほしい。
- ・それぞれの特色がなくなりそうだから。
- ・それぞれ高校の特色があるので、最大限にそれを守って欲しいと思うから。
- ・各学校のこれまで築いてきた伝統や教育のあり方が、無くなってしまうおそれがあるなら、統合すべきでは無いと思われる。
- ・各学校の特色が消えないように、少数学級になっても統合せずに選択肢を沢山残していくほうが、子どもたちのためにもなるのではと思います。
- ・各学校の特色を失って欲しくない。子供にはそのなかから自分に合った学校を見つけて欲しい。
- ・各学校の特性が無くなるのではないかと心配です。通いたい高校がなければ、鈴鹿亀山以外の学校を視野に入れて検討せざるを得ないのかな、と思います。
- ・各校の特色があり、義務教育学校の統合とは別のものであるべきである
- ・各校の特性や強みがなくなりそうだから。
- ・各高校で異なる特色があるので統合してしまうのは残念な気がします
- ・学校の良さがそれぞれ違います。統合は反対です。将来の夢に向かって頑張っている子供達が学びやすく、相談しやすい環境を望みます。
- ・学校毎に個性があるので出来ることなら残して欲しい。
- ・高校それぞれの特化した教育や進学、就職先のパイプがあると思うから。小規模ならではの目の行き届いた質のよい教育を期待する。
- ・高校の特色が違うので、統合は違うのではないかと思います
- ・生徒数が少ないなら少ない人数だからこそできる教育もあるんじゃないだろうか。他にはない特

色を見つけてほしい。

- ・統合をしてしまうと現在ある高校の方向性や特色が変わってしまう。
- ・鈴鹿地区で学力がハイレベルの学校を作れば他地域に流出が少なくなると思います。統合することで学力低下しもっと他地域に流出する可能性がある。通学の際交通の弁が悪いところが多いところが多く通学時間がもったいない。

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・上の子が、小中学校とマンモス校で学校生活になじめなかったが、石薬師高校に進学してからは、高校の小規模なところが合ったみたいで頑張ってます。ただ、石薬師は学力が他校に比べて低いので進学するには相当頑張らなければならない。親としては稲生高校が専門学科が充実していたので進んで欲しかったが、規模の大きさに子供が圧倒的されてしまい断念。なので、統合して効率化を図るのも分かるが、不登校の多い今の時代は小規模で教師と生徒の距離が近い方が安心して学べるのではないかと思う。
私立や通信に行く子が多いのは、教師が生徒にかけられる労力が公立と比べて多いからだと思うので、公立ももっと国から財政を増やしてもらって私立に引けを取らない教育環境を整えていくべき。
- ・1クラス20人制にする。40人は多すぎる。先生も生徒も20人程度の方が全てにおいて良い。
- ・1クラス40人自体が、人数が多いと思っています。一人ひとりに先生の目が届き、細かな支援をするには、今の人数では、だめだと思っています。1クラスの人数をもっと減らして、それに応じた学級数が希望です。
- ・1クラス少人数として統合は避けるべき
- ・大人数で組織化するような高校形態ではなく、これからの時代的に少人数が良いと思う。
- ・人数

◎学校選択に関する内容

- ・定員を減らすと余計に地元の高校には行きにくくなるから。定員が減ると入りたくても入れない子が増える。少数でも学べる環境を作っておいた方が良いと思う。
- ・学校の選択肢が狭まる。通学にも配慮した配置が必要。
- ・学校数が減ると高校の選択肢が減るため、統合は避けて欲しい。ただし通いやすい場所に新たに新設されるのであれば親としても子としても進学先の有力な候補となりそう。
- ・学力や校風など自分に合った学校の選択肢が多い方がよいと思います。
- ・県立高校が減るのは困ります。登下校時間の問題もありますが、選択肢が減ってしまうのは進学できる率が低くなってしまわないかと思っています。
- ・高校の選択肢が多いほうがよいと思うし、少ないとこうあるべきという形が強くなり、柔軟性が失われる可能性があると思う。
- ・高校は義務教育ではなく学力次第で高校に行けない可能性もあり、親としては高校までは学校に行ってもらいたいから行ける学校が減ったらその分確率も低くなるんではという不安があるからその選択肢を減らしたくないから。
- ・高校は受験なので選択肢をせばめないでほしい。小規模になったら、より子どもたちの教育が行き届くのでは。とも思う
- ・高校を選ぶときの選択肢が減ってしまうので統合は避けてほしい。
- ・今でさえも選択肢が少ないのに更に少なくなってしまうのはどうかと思う。
- ・今でさえ鈴鹿市内の高校に通学したいと思ってても選択肢が少ないと聞きました。これ以上少なくなることは、賛成出来ません。
- ・今でも6校しかなく選択肢が少ないと思うのに、さらに統合されてしまうと、公立高校の選択肢がなくなってしまうのではないかと思う。

- ・三重県の高校数が愛知に比べて少なく、遠い学校も視野に入れられないといけない状況で、学校数が減るのはそれだけ選択肢が減ってしまうから。
- ・子どもたちの成長を考えると、小規模は悪いことではないと思う。統合されることにより、子どもたちの選択の幅が狭くなってしまふことが懸念される。多様化が進む中、選択肢が狭まるのはよいこととは思えない。また、通学の不便さを感じざる会えない生徒が増えると思う。通学は毎日のことなので、大きな問題だと思う。
- ・子供にとって、選択肢が減ることは避けた方がいいと思う。妥協などして欲しくない。
- ・子供の選択肢が狭まり、私立を視野にいれなければならなくなるから。
- ・小規模の学校も子どもの選択肢を増やすために維持したほうがよい。将来ある子どもの教育のためには、他を削って、予算を優先的に投入すべき。
- ・統合すると、選択肢が減ってしまうから。私立に行くことは、金銭的に厳しい。できるだけ、県立の中から、高校を選んでほしいから。
- ・統合すると高校選択の選択肢が減る。また、学力の差で高校を選択出来たものが、その子にあったところへも行けなくなり、卒業後の進路にも影響する。私立選択者が増えるだけかと思う。通学が不便になる子も増える。
- ・統合によって、選択肢が減る事にならないか、距離が遠い所ばかりにならないかなど気になりました。
- ・統合により、高校の選択肢が減るのは避けて頂きたい
- ・統合はさらなる少子化や通学距離が遠くなる事で選択肢の縮小になる
- ・様々な偏差値レベルの高校があり、専門性のある高校などを統合されてしまうと、受験の際、選択肢が狭まってしまふから。
- ・様々な偏差値レベルの高校があり、専門性のある高校などを統合されてしまうと、受験の際、選択肢が狭まってしまふから。
- ・もし統合して高校の数が減ると、選択肢も少なくなり、家から高校までの通学時間が長くなる子も増えてしまふだろうから。クラスが少なくなったとしても高校の数は減らさない方がいいように思います。
- ・少なくなると選択の幅が狭まる。通いにくくなる可能性が高くなる
- ・通学距離の問題もあるが、選択肢が多い方がいいと思う
- ・少子化とはいえ、選ぶ選択肢が多い方が自分にあった学校を選択できる
- ・選択肢が狭まるのはよくないし、県立の倍率が上がると学費の面で困る。
- ・選択肢が減る。統合するなら色んな科を増やして欲しい。
- ・選択肢が減るのは子供にとっても良くないと思います。
- ・統合で数が減ってしまうと選択肢も減ってしまう
- ・統合して学校が少なくなると学校のレベルもまとまり選択肢がなくなる
- ・選択肢がいくつかあったほうがよいと思う
- ・色々な選択肢が欲しいため
- ・高校の選択肢を減らさないで欲しい
- ・選択肢を減らさないでほしい。
- ・選択肢が減るので、統合などはやめてほしい
- ・選択肢を減らさないでほしい。
- ・選択肢がなくなるから
- ・選択肢を減らして欲しくない
- ・選択肢が減ってしまうから
- ・選択肢が狭まる
- ・選択肢が少なくなるのは良くないと思う
- ・総合すると選ぶ高校が少なくなる為
- ・統合によって、高校の選択肢が減るから。
- ・選択肢を子供にあたえたい
- ・高校を選ぶ選択肢が減ってしまう。

◎通学に関する内容

- ・統合する事で、通える高校が減る事、交通費などの負担増加が出てくるのは困る。鈴鹿や亀山は県立高校が少ないので少子化でも統合してほしくないと思う。津や四日市に通うとなると交通

- 費などかかると低所得の家庭とか困ると思う。
- ・交通の便がいい所に住んでいる子ばかりではないので自分が通える範囲の高校を選択できる方がいいと思います。統合して1学年の人数が増えるよりそれぞれの高校がある程度の人数でしっかり学べる形がいいと思います。
 - ・交通の便が悪く、通学がしにくくなると困る。
 - ・高校へ通うのが不便になる場合もありえるため。
 - ・1校辺り少人数の方が学びやすいと思うし、統合してしまうと通学距離が伸び、通い辛くなる子も出てくるのでは？
 - ・選べる高校が少なくなり遠いところに通わせないといけないのは困る人もいると思う。
 - ・鈴鹿と亀山の高校の比率が違いすぎる。鈴鹿の子たちが亀山地域の高校に通うのは、距離的な事もあり考えにくい。交通整備も全く整っていない。統合すればいいって問題ではない
 - ・①統合に伴い通学距離及び通学時間の負荷や場合によっては通学費増にもなる②統合により学校選考数が減り結局もっと遠い学校へ通う事になりかねない
 - ・6校あることにより、自宅より近い学校を選択できることもあるため。ある程度、どの地域からも通いやすいように、選択肢が多い方がいいこの地域の子供たちが通学するのに、あまり遠すぎることはないように、交通便の配慮、学校の場所を考えて、できたら専門的な学校でなく普通科を含んだ高校にしてほしい。
 - ・安易な統合は避けるべき。ただでさえ電車やバスの本数が少ないのに、統合により遠い学校への登校は難しい。
 - ・駅から遠く通いづらい。統合を進めれば学力が下がる。
 - ・遠くなれば通学費用が増すので家から近いのが一番良いと思う。建物の老朽化は今後の地震に備えて新しくするべきだとも思う。
 - ・亀山は通学するのに不便
 - ・今でも学校の場所に偏りがあって通学が大変なのに統合してしまうと更に通学が大変になってしまう。1クラスの人数を減らして科を増やしたり、まんべんなく選べる高校を増やしてほしい。亀山方面は特に電車の本数も少ないので更に大変になると思う。
 - ・子どもが公共交通機関や自転車で通学できる範囲に学校があってほしい。
 - ・自宅近くに高校がなくなると、自転車通学できなくなる。バス通学はお金がかかりすぎる。
 - ・少なくなると、通学距離がかかる所しかなくなる場合があり、不便。
多様な学校があった方が良くと思う。
 - ・少子化はわかるが、通学が不便になるのは、毎日のことで心配だし、普通学科ばかりになるのも、選択肢が少なく考えものだ
 - ・少人数より、統合によって生徒数が確保され多くと人と関われるのは魅力的ですが、通学の利便性などが心配です。働く保護者も多く、送迎出来ないことで希望の学校へ進学できない可能性も出てくるのではないのでしょうか。
 - ・場所が遠くなってしまったら、毎日登校するにもつらくなってしまうため
 - ・他県からきたが、電車が充実しておらず通学が不便なのに、さらに数を減らしたら、子どもたちは普通に疲れると思うし、部活なども満喫できなくなりそう。貴重な思春期を有意義に過ごせるよう配慮してほしい
 - ・通学が遠くなると負担になる。学校の選択肢が減ると、結局、鈴鹿亀山地域以外の学校を選ぶことになるかもしれない。行きたい学校がない、という結果は避けたい。
 - ・通学が不便になる可能性も考えられるため。また、人数減少でよりきめ細かい教育ができるかもしれない。
 - ・通学できる学校の選択肢が減るのは可哀想だと思うから
 - ・通学にかかる時間が多くなりすぎる場合がある為。
 - ・通学に時間が、かかってくるのと、廃止される学科なども出てくると、選択がせばめられ、市外

に出るつもりでなかったのに、出る選択もしなくてはいけなくなる。

- ・通学のしやすさや距離、学びたい学科やコースの選択肢が少なくなり、行きたい高校が見つからないかもしれない。
- ・通学距離や公共交通機関の利便性、学力はそれぞれ違うから選択肢は広い方がいいと思う。
- ・通学時間が長くなると学習や部活動に不都合が出てくるかもしれないと考えます。
- ・統合が進めば通学時間が大幅に増える可能性もある選択肢が減ることはあまり賛同できない
- ・統合されると通学の時間や距離が長くなったり、学力も偏ってきてしまうので統合はなるべくしない方がいいと思った。
- ・統合した事により、通いにくくなる事があると思うから。通学時間が長くなるなど統合して距離が遠くなれば交通費が増えるから。各校各々の良い所があり選択肢があるから。
- ・統合して通学が大変になれば困る
- ・統合することで、行きたいレベルの学校が遠くになり、通うのが時間的にも金銭的にも大変になる子供が出てくると思うので、学校そのものは減らさず、一学年のクラス数は少なくなってもよいと思う。
- ・統合することで通学に時間がかかる、選択肢が少なくなるのは困る。少ない人数でしっかり教育してもらえる方がよい。
- ・統合することにより、通学が大変になる可能性が出てくる。もし統合するなら交通手段を増やす、広げるなどの対策をしてほしい。
- ・統合すると遠方から通うのが困難。人数が多く手が回らないより手厚い学習指導受けれる小規模のがよい。小規模になった所で学生は困らない。先生の配置や数を調整すればいい。
- ・統合すると学校までの距離がとても遠くなってしまう可能性があるし、選択肢の幅も狭まるかもしれないから、できれば統合は避けてほしい。
- ・統合すると通学が不便になることもありえるので、出来れば避けていただきたい。
- ・統合すると通学困難な生徒が出てくるので、各学校にスクールバスを用意してほしい。
- ・統合については通学距離の問題、学力差の問題から統合すべきではない。小規模でもよいので鈴鹿の西側地域にも高校を創るか移転してほしい。高校が西部にないので通学が非常に負担である。
- ・統合によって通学距離が遠くなる事があると思うから
- ・統合をすることにより、子どもが通学時間が長くなる事を望みません
- ・統合をするにあたり通学への負担などが増える場合があるかもしれないため。自宅から少し距離ができてしまうお子様がふえたりしないかなど。
- ・統合すると自宅から学校までの距離が長くなる
- ・統合によって通学時間が長くなるなら避けたい。
- ・通学に時間がかかる生徒もいるから。
- ・遠くなると通わせにくい
- ・統合すると通う距離が遠くなる
- ・通学時間が長くなる
- ・通学に時間をかけるのはもったいない
- ・駅の近くに配置すべき

◎地域に関する内容

- ・少子化が進んでいるが、県立高校は昔からあり、地元との連携などが続いていくから
- ・設立時に地域を意識した配置になっておりそれを維持してほしい
- ・地域の範囲が（友達との交流）広くなると心配

◎その他

- ・統合にはメリットとデメリットがあると思うので。
- ・学校がなくなるのは、いやだな…と。
- ・今のままがよいから
- ・統合のメリットを感じない
- ・亀山と一緒になりたくない。
- ・進路が限られてしまいそうだから。
- ・特になし

【亀山市】 (52人が回答)

◎学習面(学び)に関する内容

- ・将来的に少子化の影響を考えると、統合は避けられないのかとも思う。しかし、いま以上に学校間での入学希望者の偏りが生じてしまうことや、子どもが学びたい内容や将来に繋がるような充実した教育内容が得られるのか気がかりである。また、学力や通学時間、距離などにより、選択肢が狭まってしまうのではないかと心配もある。
- ・統合されると学科やコースの選択肢が少なくなるのかなど、統合された場合どうなるのかの見当がつかない。教育の充実、通学のしやすさなどが保たれれば一定の統合も良いと思う。
- ・配置はそのままが希望。高校ごとの偏差値の高低を失くし、中学校のように、各地域にある高校内のクラス別で偏差値差を作り、その中で希望毎に専門コース選択時間を作り、受験でスライド合形式にしてもらえれば、近くの高校を選んで、受験校の選定や、合否での受験ストレスや、通学距離、時間、交通費用も削減でき、子供も親も、ストレスが減ると思う。配置の話とは離れるが、万が一の為だけに、私立を受けなくてはならない今の、前期試験前に私立試験をもってくるしくみ、私立が肥えるのを公が斡旋しているようなしくみ、万が一の為に合格したら入学費用を振り込む親の経済負担、子供の受験負担、不安につけ込むまるで悪徳商法のようなしくみを失くして欲しい。
- ・飯野高校では外国にルーツがある子達が多く集まるコースがあり、その子達にフィットした授業内容やケアをされていると聞きました。統合してしまうと、そのような一人一人に合ったきめ細やかな学習内容、学校生活は可能なのか心配です。

◎学力に関する内容

- ・一高校あたりのレベルが高くなる可能性。公立に入れなければ、私立に行かざるを得ない状況になる。田舎ほど、通学が不便になる。
- ・学力のレベルに差が出過ぎてしまうと思う。学級数が少なくなっても、今の6校を維持してほしい。
- ・勉強が特にできない子(グレーゾーン)でも、高校に入りやすい様にして欲しい。
- ・鈴鹿亀山地域の県立高校の偏差値の差がある事と、現状でも通学に不便を感じる場所に高校があるので統合されると偏りがかなり出ると思うから。

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・それぞれの学校の特色があると思うので、統合によってその特色がなくなってしまうのは、よくないと思います。また高校が減ると、通学の時間がかかる、交通手段が確保しにくくなる生徒が増える心配があります。なので、①を選びました。
- ・それぞれの高校の特性や良さを考えると、それぞれよ高校を大切に残していきたい
- ・各学校の歴史や地域性というのは特色のひとつであり、それを少子化理由に統合することは、ひとつに教育をないがしろにしていくと思う。時代に合わせていくというのは簡単だが、これらをつくる世代のこども達の学びの場を減らさないよう手厚くすべき(お金と時間をかけるべき)
- ・各校それぞれ歴史や文化があり(制服も含め)、またそれぞれの特徴があると思っているので、それも行きたい学校を選ぶうちの選択肢の一つとなっていたのであれば統合はしない方がいいと思う。残る学校は残るし廃校となる場合は致し方ないと思います。ただ、学力(偏差値)面で考えるなら同レベルであれば統合もあり。
- ・個々の特徴を生かした学校作りをアピールしていけたらいいと思います。
- ・小規模になろうとも、その学校が持つ個性があるはず、合併しないまでも必要な時に必要な学校同士が連携すれば規模の大小は補えると思います。
- ・学校によって、それぞれの特性が違うから
- ・その学校の特徴を潰さない
- ・学校によって雰囲気なども全然違うから。

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・少人数になったとしても必要としている人がいると思うため少人数を必要としている場合もあるため

◎学校選択に関する内容

- ・15年後には学級数も減っていくとの事ですが、今すぐに動く必要は無いのでは？と思います。これ以上鈴亀地区の高校が減るとなると志望校も限られてくるのでなるべく今のままでしばらくはいいと思う。
- ・学校の数が少なくなると選択肢が狭まるし、通学にかかる時間がかかる可能性があるため
- ・学力のレベルの似た高校が多いように思えるので進路を決めるのに選択が少い。亀山市には県立高校が一枚しかないので人気集中する
- ・亀山からは通える高校が限られている。これ以上減らして欲しくない
- ・近くに選択肢が少ないのにこれ以上すくなるのは厳しい。近くが一番ありがたいです。
- ・小規模の高校で何がダメかわからない、子供の選択肢が減る事は、良くないと思う
- ・地域に偏ることのない配置、統合によって選択肢が減るのは望ましくない
- ・地元の高校を希望しており、選択肢が減るのは残念なので、統合は避けて欲しい。
- ・子どもに選択肢を狭めたくないと思います。 ・子供の選択肢は減らさないでほしい
- ・子供の選ぶ選択枠が少なくなるのもどうかと思います。 ・選択肢が沢山あった方がよい

◎通学に関する内容

- ・あまり統合されると、合格出来る高校が減り、自宅から遠くなったりして、私立の高校に行かざるをえなくなってしまうから
- ・亀山に住んでいますが、高校の数も少なく、交通の便も悪いので、数を減らされたら選ぶこともできないので、困るなあと思います。地元が愛知県で電車もあり、高校もたくさんありました。なので、少子化の前に、亀山にきて、高校の数の少なさや、交通手段の少なさも不安に思える点です。
- ・亀山市には JR しか通っていない為、近鉄線付近の高校に行く為には一度津市まで出るとかしないといけない。その為、通学時間を考えると選ぶ高校が限られてしまう。統合して高校が少なくなれば今より通える高校の選択肢が狭まるのではないかと心配です。
- ・亀山市には高校がひとつしかないのと統合して亀山から通うのに遠くなってしまうと子どもも親も負担が増えるので困る。
- ・姉が高校生で、電車通学をしているが、JRの本数が少なく、不便を実感している。これ以上通学に時間を費やす（電車の待ち、遅延も含め）のはもったいない。統合により、通学にさらに時間がかかることになるのは避けるべき。
- ・将来の夢のために時間を使わせてあげたい。やりたいことがはっきりしてるので通学時間は無駄と考えます。
- ・長女が高一だが、行きたい高校の定員が少なくて入学できるかどうか不安だった。最後まで迷って、倍率で考えたりもした。亀山市内には亀高しかないので、距離的に亀高しか行けないと言う人にとっては、困るので統合されて遠くなることは避けた方がいいと思う。また勉強が苦手な子どもでも入学できるように定員を減らさないでほしい。
- ・統合された場合、子供たちの通学に対する負担を考えると大変なのではと感じます。高校の選択肢が減ってしまうのも残念に思います。この先、今のまま存続していくことは難しくても、なくすのではなく縮小して高校の選択肢を維持できる形を望みます。
- ・統合されると近くに学校がなく、遠くまで通学しなければならないかもしれない。
- ・統合することにより、更に限られた場所となり、高校への通学がさらに不便にならないかなと思ったため。

- ・統合すると自宅から通いやすい、行ける高校が減る可能性がある為、統合は避けて欲しいです
- ・統合をしてしまうと、高校への距離がかなり遠くなってしまう人もいると思うので。
- ・鈴鹿と言えど、やはり亀山からは距離があり、通学になると難しい。通学にはバス、電車、自転車とあるが、天候によっては親の送り迎えになり、働く世代には負担が増える。家の近くで、高校までのバスがあるのであれば、鈴鹿でも進路を考えることが出来る。
- ・通学距離が長くなるのは好ましくないのだから、近くて希望の高校に行かせてあげたい
- ・登校にかかる時間がかかるのは困ります。

◎地域に関する内容

- ・各地域に学びの場が担保できる環境をつくるのが地域力に繋がると思うので。
- ・亀山は1校しかないのだから、これ以上学級を減らさないで欲しい

◎その他

- ・県立の学校は入学したい子が多いと思うので統合されると困る家庭も多いと思う。
- ・どうすることが良いのか、現時点でよくわからない。選びたい項目がないため、選んだ。
- ・偏差値等、統合のしがたが分からない為、考えられません。
- ・統合のイメージが、わからない。

② 一定の統合は避けられない

【鈴鹿市】 (465人が回答)

◎学習面(学び)に関する内容

- ・1つの学校が小規模になりすぎるのは交遊関係や学びの環境としては適切ではないように感じる。その反面、小規模ならではの良い点もあると思うので、その良い点を活かしていける学校であれば統合せず小規模校で残すことも良いと思います。ある程度の教員数を確保しているほうが豊かな学びに繋がると思うので、少人数で多くの学校があるより、纏めたほうが教員数がいてくれると思ったので。
- ・それぞれの学校の特徴を総合することによってコースの選択肢が増えたりするのであれば総合も良いと思う。
- ・なるべく高校の色を大事にしてほしいので統合しないほうがいいが同じような学科であれば統合もあり得ると思う
- ・リモート授業や通信制の採用などで教師と子ども双方の負担を減らす
- ・学びたいことが学べる高校であってほしいので、統合することで様々な選択肢が減っては欲しくない。しかし、少子化で生徒数が減る場合、ある程度の統合はやむを得ないと思う。
- ・学びたいこと夢や目標が地元では叶えられないのなら、他の地域へ出ることは避けられない。子どもがこれから少なくなるにつれ少人数で学校を運営するのは人手(教員)不足の方が容易に想像できる。
- ・学科や専門性等、それぞれの学校に何か特徴的なものがあるといいなと感じる。保育に関する勉強ができる、美容系に重視した専門の先生が教えてくれる等、特色がある学科があればいいな！普通科ばかりだと偏差値や学校の雰囲気のみで判断されがちかなと感じる。また、小規模学校は、人件費(税金)の無駄使いになる可能性がある。世界を意識したグローバルな教育カリキュラムが大切に思うのと、子どもが望む学校作りをして欲しい。そのためには、学科を絞り高校から大学を一貫とした学校であっても良いと思う。(現在も津市内私立T高校は、国立M大学の予備校とも言われたり。エリート教育を意識している)一定の統合化は、目的を持った(高専のような)学校作りの一つの方法と思う。
- ・学力の差や専門性があるので、場の統合〔学習が同じ授業は一緒にする〕が出来ても専門科目は

- 一緒にできないと思う。
- ・ 共通テストで勝負できる進学校が神戸高校しかないから
 - ・ 高校によって人数過多になると、色々な意味で偏った空間になるのではないか。特殊科は存続してもいいが、普通科はある程度統合しても良いのではないか。
 - ・ 子どもも減れば、教育者も減る。のに、現状維持が出来るとは到底、思えない。教育者が行うことは、勉強を教えるのはもちろん、生徒達の学ぶ環境を守ることが大事だと思っています。その為の適切な教育者（教師、それに加え教師と生徒を守る人材）を配置しようと思えば、統合は避けられないと考えます。
 - ・ 子供がやりたいこと、望むことを諦めなければならない。という状態を生じさせないような配置であるべき。
 - ・ 子供の少子化による統合は仕方ないこともあるが、地域に偏りがあつたり、統合することで規模が大きくなり一人一人の配慮や個性、能力にあった教育が出来なくなることには懸念を感じる。また統合による、子どもたちが求める選択肢が減ることがない状態が大前提であることが理想。
 - ・ 似た学び（学科）がある場合はまとめてもいいと思う。それぞれの高校を残しつつ、学科や特徴を出していけたらありがたいと思います
 - ・ 小規模化し教育の質が落ちることや設備の老朽化で充実した教育環境が難しくなることが懸念される。集約することで一定の生徒数を確保し教育の質を維持し、より質の高い教育環境を整備してもらいたいと思うから。
 - ・ 少子化が加速しているので、高校が減るのは仕方ないと思います。高校が少なくなると学科も少なくなりそうで、子供たちが学びたい学科がないかもしれない不安があります。色んな学科の先生を雇い、色んな学科の授業を受けれたら魅力的な高校になると思います。高校が減ると、通学するのも大変になるので、通学バスを検討してほしいです。もしくは、学生寮を設けてほしいです。
 - ・ 少子化が進む進む以上統合は避けられず、適応していくしか方法はない。私立高校のように、コースで多様性や区別化を図って行く事が望ましいと考える。
 - ・ 少子化が進む中で高校を維持していくことは難しい。統合することで負担を減らし、生徒や先生に充実した質の高い教育を望む
 - ・ 少子化が避けられない状態で、今までの状態や常識が通用する時代ではなくなっており、現状維持していくのが困難であるにもかかわらず組織における多様性を育みたいならば、一定の統合は避けられないと思います。
 - ・ 少子化になっていくならある程度近い場所の学校は統合してより地域密着で子供たちが学べる学校を続けていくのがいいと思います。
 - ・ 少子化により統合は避けられないと思うが、教育の質が下がらないようにしてほしい
 - ・ 少子化に伴う統合はしかたないと思う特色を生かした学科コースを充実させて欲しい
 - ・ 少子化のためいたしかたない。しかしながら、少人数クラスの実施できめ細やかな授業、夢に向かって学べる専門的な内容の特色ある授業をしてほしい。大学などへの進学率が下がらないようにしてほしい。
 - ・ 少子化は避けられない現実なので、それに伴い子どもたちがいい環境で勉強できるように色々と考えていってほしいと思います
 - ・ 少人数で多くの高校より、ある程度の個数に減らして、その分教師の人数や設備、環境を見直しグレードアップさせた方がいいとおもうから。
 - ・ 人口減に伴い高校の統廃合は避けられないことと考えます。これからは、一つの高校の中で色々な学科を備え、多種多様な教育に取り組むべきと考えます。
 - ・ 人数がへるのであれば学校の数は減るべきと考える。また、現在の鈴亀地区の高校は、進学校がすくなくアンバランスに感じる
 - ・ 人数が少なくなっているから同じ分野の近くの高校で統合した方が良くと思う

- ・人数の減少に対して今と同じ教育環境を維持していくよりも、統合して教育内容の充実、より良い施設、環境、より多くの資格取得を目的とした教育への移行を希望したいです。
- ・生徒数が減っているのに統合や廃校は仕方ない。子供が進学する際は、その時にある高校の中で選択し、受験すると思うので、特にこの学校のこの学科を残して欲しい、などの希望はない。
- ・生徒数が減れば統合は避けられないと思います。統合する際は各学校の特色を残し、学びたいと思う学生の意欲に沿った学校作りをしてほしいと思います。
- ・生徒数の減少に応じての縮小統合は避けられないと考えます。その方が質の高い教育を受けられ、先生方や学校の負担も少なくなるのではないのでしょうか。
- ・多数の高校を維持するために労力を費やすよりも、統合し労力を集約させ質を高めたほうが子どもたちのためになるから
- ・大学進学を見据えた教育を行う学校は少ないイメージなので、いなべのような総合学科などを設置した高校を統合して作るのも良いのではないかと思う。
- ・大人数や、少人数にはそれぞれ良い点があると思う。自分の学びたいことにあわせて子どもたちが選べると良いと思う。どこも子どもが減ってきているとのことであれば、一定の統合は避けられないのではと思う。
- ・通学の利便性を考慮しても鈴鹿市内の1校は廃校、4校は2つずつに統合しても支障ないように思われます。特色のある学科やコース、国公立大への進学実績のあるクラスをきちんと残して統合等するべき。予算は限られているのだし早く進めるべき案件。
- ・通学距離が遠くなったり人数が増える事により学校設備公平に使い辛くなるなど少し不安が有るが、統合を進める事で子供が一つの学校で様々な選択肢ができるようになるので良い事だと思っています。
- ・定員割れを防ぐ為、統合し生徒の数を確保。1学校が多様な選択肢をもち、門を広くする。統合が避けられないとしても、必要とされる学科やコースを削るのはよくない。あとは、どの学校へ行くにも通学距離が長い地域は、近くの学校が無くなると通学の手段も困ると思う。
- ・統合され様々な特色ある学科が集まることで、人気のある学校ができ、地域外からも人が集まればよいと思う。
- ・統合して、一校に対する運営予算を増やし、質の良い教育を受けられる方が、大学進学に向けて良いと思う。
- ・統合し指導者の充実をはかり、子どもたちへより良い教育が行き届くほうが良い
- ・統合することにより、学力低下などマイナスな現象が起こるのではなく、将来への選択肢が増えたり、専門的な授業が受けられる等プラスになる効果を期待したいです。
- ・ただ単に学校数を減らすだけではなく、各学校の特色を活かした専門学科などは残していく必要があると思います。
- ・統合すると 学科(コース)はどうなるのか？統合により教員の配置を集約化して、効率よく生徒の多様なニーズに答えられるような教育環境を作るべき。将来的に、今より確実に個々の高校内での成績格差が顕性化すると推察されるが、それに柔軟に対応出来るような工夫（教員の知識、経験値、教育レベルの向上、新たな進路先獲得など）が必要不可欠です。
- ・統合により天候や距離等で通学が難しい日があると思うので、やむを得ない場合、オンラインでの自宅学習ができる環境になったらいいな、と思う。
- ・同じ専門性のある学校は統合し、削減して、削減した費用で子育て支援に使用すべきだと思う。出生率を上げないとどんどん少子化が進む。
- ・飯野高校ですが、昔から英語科があり、英語が必要とされるな、とても良い学校だと思います。しかし進学するには偏差値も低く、勉強出来る子は選びません。神戸のように英語の特進クラスを作ってはどうか？
- ・普通科で差別化が出来ていない高校は統合は避けられないと思います。時代に合わせて変化させる必要はあると思います。

- ・分校やオンライン授業の検討 時間帯での公共交通機関の拡充
- ・変わり映えしない授業内容の高校同志なら、統合して良いと思います。各県立高校の特徴が強まれば統合もメリットが大きいと思います。
- ・無理に現状維持をしても、経費の無駄になる。統合し、特色を出し、本当に内容の充実した学校を作った方が子どもたちのためになる。
- ・様々な理由から全学校を継続させるのが難しい場合、統合もやむを得ないと思います。しかし、どの学校どうしを統合するのは難しいでしょう。子どもの通学時間の問題、学校の特色や学びたいカリキュラムの問題、そこにかつて通学した OB の思いなど、課題はたくさんあるでしょうが。
- ・三重県は、普通科が多く、他の科がとても少ない。学力が低く、勉強が苦手な子も専門なら発揮できる子もいると思う。普通科だけでなく、専門分野を増やし、高校卒業したら、職業に結びつくような技術を身に付けさせる特殊性を持つべきだと思う。高校生はまだ素直さがあるので、技術が素直に入る。卒業してからではなく、高校から色々な選択肢を持てるような学校にしてほしい。他府県では、色々な科のある学校がある。工業にしても、商業にしても、県立と私立両方がある。合川小学校も、特殊性があり、必要な子供はいたはず。なくなってしまうのは、もったいなかったと思う。特殊性は大事にしてほしい。
- ・この地域に、学力の高い普通科、国際科などが欲しい。部活動もあまり力を入れておらず、行きたい高校がないです。今現在、あまり評判の良い学校がないので、津や四日市に行く生徒が多いです。文武両道で、制服等も評判が良い高校が欲しいです。あと、工業、商業科も少ないので 作ってほしいです。
- ・商業、工業、普通科みたいな感じで分類し、定員割れしているところは統合をしたら良いと思う
- ・少子化が進む中、統合は避けられないが、子供が豊かに学べる環境を整えるべき。選択肢に例えば、普通科高校に工業・商業・農業科などと統合すれば良いと思う。特に鈴鹿は国立の高専しかなく、工業高校が津か四日市しかないのはおかしい。
- ・統合は避けられないとは思いますが、今ある専門的な学科を減らすのはやめてほしい。
- ・専門科目は残してほしいです。工業、商業、看護など。
- ・専門性のある科以外の統合は必要に思う。
- ・専門性のある学科は統合せず残して良いと思うが、普通科に関しては統合しても良いと思う。
- ・専門性を学べる学科が増えればと思う
- ・専門的な知識が学べることに特化した高校と普通科の高校に分かれていた方がいいと思う
- ・普通科高校は統合しても良いが、特色ある専門科は維持してほしい。
- ・普通科の統合には賛成。その他の特殊な科は残して欲しい。
- ・鈴鹿亀山地域には工業高校も商業科もない 似たり寄ったりの普通科の統廃合は必須だと感じる
- ・鈴鹿亀山地域に魅力的な学科を作る。(農林水スポーツ・オートレース等)津や四日市に流れるのを防ぐ。
- ・工業高校が少ない。統合しても商業、工業など科がその中から選べると良い。
- ・工業、商業を専門とする学校を配置してほしい
- ・鈴鹿高専とは別の資格も取れる工業学科コースを作るべき
- ・選択肢が減るのは厳しいが、少子化なら仕方がない。工業、商業が無いのはいかなものかと。
- ・中高一貫などの選択肢も増やして欲しい
- ・総合学科がある高校の設置

◎学力に関する内容

- ・それぞれの地域の子が自分に合った偏差値に通える範囲で統廃合してほしい
- ・各校の生徒数が少なくなりすぎると校則や学力が緩くなりがちなのは避けられないことかと思う。井の中の蛙にならないような対策を期待したい。
- ・学級数のことを考えると統合せざるを得ないのではないかとは思いますが、正直、高校ごとの学力の

程度がどうなるのかと思う。学力で言えば、一定の学力による高校の選択もあると思う。今の鈴鹿の高校の学力がどの程度かは分からないが、将来の子どものことを考えると、市外の高校を選択することは大いにあり得る。

- ・学力に応じたクラス・学校であり専門性のあるクラス・学校の差別化
- ・学力に差があると思うので、レベルを考慮しながら、考えるべき。
- ・学力のレベルが違うと思うので、コースを増やすなどの対策を持つての統合ならば、ありえると思います。
- ・学力のレベルが個々に違うのでレベルの高いところばかりになると、低いレベルの子供が入りたい高校に入れなくなるのではないかと心配になる。そこを踏まえたうえでの統合はしてもいいのではないかと思う。教員の人数も限られた中での教育なので、統合することによって生徒に関わる先生が増えるのであれば尚いいのではないのでしょうか。なので、一定の統合はいいのかなと思います。
- ・学力のレベルは今のまま差別化させてほしいです。クラス数を減らせばいいのではないでしょう
- ・学力レベルが維持出来る上での統合であれば賛成です。
- ・学力レベルや教育プログラムなどの特色がバランスよく市内の高校で分散されていると良いと思う。
- ・学力差を考慮して、適切な教育が受けられる環境を整えられるならば、維持費や教員の配置などを考慮して統合もやむを得ないと思います。
- ・現実問題として少子化が見込まれているのだから、好むと好まざるとに関わらず統廃合は必要になってくると思う。レベルの著しく違う学校が一つになることは避けたほうが良いと思う。
- ・高校のレベルによりけりで、配置が変わるかとおもいますが、勉強をがんばりたい子のためには、それなりに環境も必要かと。
- ・今、鈴鹿市の県立高校の学力の差がすごく激しく、高いか低いかでその真ん中が存在していないようなので、その真ん中ぐらいの高校を統合したりして作って欲しいです。
- ・四日市、津高校のような進学校がないためもともと学力の高い生徒さんは津や四日市に流れているような気がする。各校に魅力はあるのだと思うが昔のイメージしかわからないので情報として知らないことが多い。
- ・子供の人口が減ってきている以上統合は仕方ないと思います。また鈴鹿地区は偏差値レベルに偏りがあると思います。
- ・市内の高校のレベルをこれ以上上げるべきではないと思います。
- ・小規模の学校をいくつも残して維持費がかかるくらいなら統廃合は仕方ない。鈴鹿亀山は四日市や津と比べて公立でハイレベルな高校がなく、この機会に各レベルバランスよく設けると、もっと特色を出した学校(学級)を作ってもいいと思う。
- ・少子化が進み、定員割れの学校が増えると勉強しなくても高校に入学できてしまうことで、学力低下が進むため一定の統合はすべきだと思います。
- ・少子化が進む中、統合は仕方ないと思うが、今までの各高校のレベルがあるので統合によってどうなるのか気になる。
- ・少子化で県立高校の運営も大変だと思うので、偏差値なども考慮し専門的なコースはそのまま残せるようにしながら合併するべきであると思うが、できたら交通の便が良い所になっていけばいいと思う。
- ・少子化にあたり統合はしたしかないと思う。神戸高校のような進学校がもう1つあればいいなあと思います
- ・少子化により、統合は仕方がないが、三重県が全国に通じる学力維持、将来の大学を見据えた教育ができるようにしてほしい。
- ・神戸高校と白子高校の間のレベルの学校がないので市外に行くしかない。

- ・人口が減ることがわかっているのであれば廃校にすることは仕方のない事だとは思いますが、学力に偏りがあることが問題だと思います。市外に出ずとも全ての高校生が学校を選べるようになるといいと思います。また鈴鹿市（特に牧田、庄野地区あたり）は子供が伸び伸び遊べる場所がありません。廃校となった施設は子供の遊び場、ボール遊び、缶蹴りなど大人に叱られる事なく伸び伸び過ごせる場所として開放して頂きたいです。
- ・人数がおらず、維持できないのであれば仕方ない。学力レベルが違う学校を一気に集めて、レベル別に教室で分けると、いじめ偏見あきらめも起こると思うので、心配ではある
- ・生徒数に対し高校が多くあればその分教員不足となるのでは。生徒、教員をある程度集約した方が学力、協調性でも学びがあると思う。
- ・全体的に偏差値が低すぎる。普通科でももう少し偏差値の高い学校が鈴鹿地区にあってほしい。あと農業、工業系の専門が無いので、津や四日市に流れてしまう。
- ・大学進学率（国立、難関私立等）が良い高校が少ないので力を入れて欲しい
- ・定員割れ過ぎて学力の低下や学校の治安が低下するよりかは、ある程度の統廃合や学級数を減らしたり、専門性の高い学級を作るなど差別化した方が選びやすい
- ・統合が進むと、通うまでの距離が遠くなること。学力で高校を分分かることが難しくなる。支援が必要であったり、見守りが必要な子供が年々多くなる中、統合してしっかり教育的な面が行き届くのか心配です。
- ・統合が避けられないことは理解できますが、統合によって進学校のレベルが下がるのは反対です。ただでさえ進学校が少ないのに、レベルが下がれば市外の高校への進学を希望する子どもが増えると思います。
- ・少子化による統合は仕方ないと思うものの学力レベルや校風などもそれぞれあり難しいと思います。志望校の学力レベルが下がってしまうのではないかと気になります。
- ・少子化のため仕方がないが、学力、学校のイメージは下がらないことが好ましい。
- ・統合した場合の学力低下が不安でもある。
- ・統合することで運営していけるのであれば、統合することは避けられないと思う。ただ、学校のレベルは落とさないで欲しい。
- ・統合は仕方ないと思うが、それにより学校としての学力低下があると困る。
- ・統合は致し方ないが、もう少し学力をあげてほしい。学力の高い魅力的な高校なら他の地域からも入学希望者が増えると思う。神戸高校頑張ってもらいたい。石薬師高校は残してほしい。勉強嫌いな子達がなくなると困ると言っている。
- ・統合は避けられないと思いますが、学力に差があったり、一定のレベルから引き下げたの統合はあまり良くないかと思っています。
- ・統廃合は仕方がないが、教育レベルは維持してほしい
- ・同じような学科、レベルの学校を残すことにより、教員の確保、維持管理費がかかるなら一定数の統合は進めるべき。統合された学校での充実した設備、環境、教員のレベルアップを進めたほうがよい
- ・あまりに人数が少ないと維持が大変だと思うので、一定の統合は避けられないとは思いますが、統合する場合は、同じレベルの高校で統合してもらいたいです。
- ・学力が同等の学校同士での統合は良いと思う。
- ・小規模の学校が何校があるよりはよく似たレベルの学校どうしを統合させた方が教職員の配置も充実されるのではないかと思う
- ・小規模化が進む事により統合はやむを得ないと思うが、学力があまりにも差がある統合よりも、同等の学力での統合にするべきではないかと思う。
- ・偏差値に差がない高校が多数あり統合する事に賛成です。
- ・偏差値の差があまりない近隣の高校や交通に不便な高校は統合しても仕方ないのではないか。
- ・同じような学力で近隣の高校なら統合も仕方ないと考えますが 商業や工業農業の専門学科など

はそれぞれの通いやすい地域にあってほしいと思います

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・1 学年あたりの学級数を確保しつつ、少子化の現状に合わせる方法。高校生生の時期にたくさんの人と人間関係を築いてほしい。進学に向けた競争意識の確保のため。
- ・1 校あたりのクラス数が少なすぎると、同級生との交流が減り、高校生活で豊かな人間関係が形成されないため1 校あたりの人数は1 学年3 学級以上はあるのが望ましいと思います。
- ・あまりにも小規模だと、家庭から出で社会性を身につけるとい学校での1 つの目的が果たせない。
- ・あまりにも人数が少ない学校だと、色々な人との関わりが少なく、社会に出て、大変な思いをするのかなと思うと、一定の統合は良いのかなと思うけど、統合により通学に時間がかかりすぎるのは子供の負担になるので避けてほしい。遠い子供達にはバスを用意するなどしてほしい。
- ・あまりに少ない学級数ならコスパ悪そうなので統合するべきだと思います。ある程度、学級数がないと子供達も世の中には色々な人がいるという認識が育たない気がします。
- ・Q6 でも答えたが、高校では少しでも多くの方と知り合い、友達を作って欲しいと考えます。少ない学級の高校は少なからず統合すべきと思います。
- ・ある程度的人数の中で社会を作り、そこで学べることが多いと思う。気が合う友達を作る機会も増えると思う。
- ・一つの学年に3 クラスくらいはあってほしいと思うので、統合は避けられないのかな、と思う。学校の立地場所については偏りがないようにしてほしいと思うが、あまりにも学校数が少ないと、中学校の延長のようになり、高校での新たな出会いの機会が減少してしまうのかな、とも思う。通学に1 時間以上かかると、帰宅時には暗くなってしまう可能性も高く、安全面での心配が大きい。
- ・各学校の小規模化が進む中で統合を避けていたら友だち同士の交流も小規模なものになってしまうのではないかと思った。積極的に統合を進めていく前に、一定の統合をしながら様子をみたいと思ったから。
- ・学生時代にいろんな考えを持つ同世代と接することで 人づきあいを学ぶ経験は、大人になった今でも重要なことだと思っているので、ひとクラスの人数を減らすよりも 統合してクラスの人数をある程度維持する方が良いと考えます
- ・教える側は統合したほうが確保する先生の数や、利益は得られると思います。が、いずれ社会に出て、複数人との協調性が問われるのであれば早い段階で経験できると本人が多少楽なのでは？という何となくの考えです。
- ・県立高校の数は減らして欲しく無いが、小規模になると色々な友達との出会いが減るのでは無いかと心配です。
- ・個人として多様な選択肢がある方が望ましいが、少子化の影響で各校が人数激減により、小さな世界、小さな視野でしか運営されないとすると弊害が出てくる可能性が大きいと思うため、ある程度人数が集まる高校が望ましいと思う。高校は子供にとって出会いや可能性を見付ける場であって欲しい。距離や校種をバランス良く配置をお願いしたい。
- ・互いに切磋琢磨し合うたまには、ある程度的人数が必要であり、そのためには統合することはやむを得ないと思う。
- ・高校から地元以外の友達たちとの交流や生活がスタートする中で、少ない学級で6 校を維持するよりも統合して教員の確保であったり、時代に沿った新たなあり方で進めても良いと考えます。市外へ進学するという選択肢もあるので。
- ・高校生ともなれば、少人数での手厚さよりも、多数の中で切磋琢磨して欲しいので、統合もやむを得ないと考えている。
- ・私としては学級であまり少ない人数よりは、多人数で色々な環境で埋もれて成長してほしいので

統合もありかなと思いました。子供達自身の気持ちが一番大事なかなと思います。

- ・社会は人とのコミュニケーション能力が必要と考えて、より多くの人と出会い色々な事を学んで欲しいと考えたので。
- ・小規模すぎる学校は、専門的な内容を深く学ぶには良い面がありそうですが、まだ将来が見えにくい高校生ならば、出来ればある程度の人数の生徒、先生方と、広い分野の勉強や出会いなどを経験して欲しいと思います。統合など、学校数を減らすと通学時間や定期代などの負担が増えることも考えられますが、リモート授業の活用や、定期代以外の学校指定品の価格の見直しなどで、生徒や家庭の負担があまり変わらないような学校や県全体のやり方も変えていく必要があると思います。
- ・子供から大人に成長する大切な時期だと思うので、限られた人とだけでなく出来るだけたくさんの人と関わり合いながら過ごして欲しいと考えているので、クラス替えができて中には同じクラスになったことがない人がいる程度の学級数はあって欲しいなと思っています。
- ・小規模化により、各学校の教育やコミュニケーション能力等の格差が出来てしまわないか心配なので一定の統合は避けられないという意見ではありますが、その一方で、受験時による選択肢が減ってしまうので苦渋の選択ではあります。(通学時間、受験時の成績レベル・偏差値、学びたい学科等)
- ・少ない人数で子供達が過ごすより、色んなところから来る少数よりも関わる人数が増える方が将来的には良いかなと思います。狭い人間関係より、広い人間関係を望みます。
- ・少人数で出来ることもあるが、大人数でないと出来ない活動もある。少人数だと出会いの機会も限られる。逃げ場も少なくなるのが怖い。
- ・小規模になるより統合して沢山のひとと出会いがあったり生徒数が多ければ部活の種類も増えて選択肢が増える。教職員も生徒数が多ければ一教科に複数人いるので、教科は好きだけど先生と合わないイコール嫌いになりその教科は伸びなくなる。苦手教科でも合う先生がいて意欲的になるケースもある。選択肢が狭くならないようにある程度の人数がいる方が望ましい。
- ・少人数は手厚い教育がうけられるかもしれないが社会性や協調性また色々な人との関わり方を学ぶのには少し心許ない気がする。通学距離などの問題もあるが学びの専門性なども考慮のうえ適正な配置をお願いしたい。
- ・少人数学校もいい点はあると思いますが、統合して人数が多くなると関わる人数が増えて良い点もあると思います。しかし、通える高校まで時間がかかりすぎてしまうのは負担になってしまうと思います。
- ・生徒数多い方が視野も広がり得るものが多いと思います。
- ・切磋琢磨できる環境としてある程度の生徒数が必要と考えます。
- ・多くの人と接することができる方が人間的に成長できるから。
- ・少人数の学校では学びやコミュニケーション力などの育成が難しいと思う
- ・少子化が進み学級数が減少すると、豊かな人間関係の育成が難しくなると思うから。ただし、通学時間に差がありすぎないように通いやすくする工夫が必要であると思う。統合するなら、施設や設備の更なる充実も実現して欲しい。
- ・少子高齢化が進むことにより、学校の設備等の維持費がかかる他、少人数による多様性に対するコミュニケーション力の低下に繋がるから。
- ・学級が1, 2クラスでは高校生活での十分経験ができないのではないかと不安になります。一方通学の負担等も懸念事項になるのかな、とおもいます。
- ・統合せずに子供が増えることが一番良いかなと思います。でも少ない人数で過ごすより、多い人数で過ごすことのほうが人間社会も知れるし、人脈で将来に繋がることもあるし、たくさんの知識や経験を得ることができる可能性も広がるかなと思います。
- ・子どもの人数が少なくなるとやむ得ないかなと思います。各学校の人数が少なくなるより統合し人数が今までと変わらないほうが学校生活全体が充実するかなと思います。

- ・ある程度の人数がいた方が子どもが学校生活を送るのに良いと思うので。
- ・勉強するだけなら少ない人数でも良いが、部活をしようと思うと人数が多くて好きな部活が選べる方が良いと思う。
- ・あまりに人数が少なすぎると、文化祭や体育祭などの行事が限られてしまい少し寂しいと思うから。
- ・ある程度の人数がいないと、部活動も限定されると思うので、統合せざるを得ないことも仕方ないと思う。普通科以外の色々なコースは今後もあるといい。
- ・クラブ活動などを考えると、あまりにも学級数が減ると、仲間意識や縦の関係、横の関係を体験する事なく次のステップに行くことになる、文化祭や体育祭などの行事も盛り上がりがない気がします。少数学級になるなら、子ども1人ひとりをしっかりと見てもらいたい。
- ・一校に2学級、3学級になるのであれば、統合して4学級ぐらいを確保してほしい。勉強以外の学校生活で、たとえば体育祭や文化祭、クラブ活動などある程度の人数がいるほうがいいと思うので。高校での出会いは一生ものなので、先生、先輩、同級生などたくさんのお会いがほしい。電車通学を考慮すると、電車で通学しやすい学校を残して欲しい。
- ・現在の各学校の特色となる教育を維持できるのであれば、小規模学校となるより、統合化したほうが活気ある学校となるように思う。ある程度の生徒数が維持できると、学校行事等 活気ある楽しいものになると思う。専門コース、学科がある学校の教育はなくさないでほしい。
- ・高校は将来を見据えての進学、就職、またそれ以外の社会性を身につける場として存在すると思いますが、小規模になると教員の人数などにより部活や学習、体験の選択肢の幅が狭められるように思います。ある程度統合しながら、学校の中で様々な学びや選択肢が持てる環境が好ましいと思います。
- ・小規模人数で各々の学校であってもいいとは思いますが、行事の充実化や勉強面で順位を出したり互いに刺激あったり、また親の役員選出の負担軽減面でもある程度人数は必要と考えるため、統合はある程度必要かと思う。
- ・少子化が進んで学級数が少なくなると、学校行事などをする時に寂しく感じると思うし、学力的にも出来ない子ばかりが集まってしまう可能性があるが、高校が少なくなり過ぎると選択肢が少なくなり、鈴鹿や亀山以外の市の高校に行く子が増えてしまいそう。
- ・それぞれの学校の特色が失われてしまうのには、抵抗がある。
- ・それぞれの県立高校に、それぞれの特色があるため、選択肢がたくさんあるのは良いことなので、統合するならば、その特色を損なわずにしてほしい。統合するのであれば、電車で通いやすい立地の所に統合すべき。
- ・各学校の特色が統合後も維持されるならば、統合した方が良いと思う。統合により特色が失われるのであれば、すべきではない。
- ・各校の良さがあるので、そこを活かして（良いところは残して）もらえたら良いと思う。
- ・子どもがいなくなるということは働き手もいなくなってくるのではないかと、学校運営という点でやっていけるのか心配。統合しても各学校の特色を生かしながらできないだろうか。
- ・子供が減っていくので、統合は避けられなく仕方がないと思います。しかし、ただ統合するだけでは面白くない。他の市町村からでも、遠くても通いたい！と思わせてくれる魅力的な学校が出来たらワクワクします。
- ・子供達がそれぞれのやりたいことを選択できる特色を持たせて欲しい
- ・少子化により統合は避けられないとは思いますが、特色ある各校のよさが失われたり、目指す進路の方向性がぼやけてしまわないかと思っています。
- ・統合は仕方ないのではないかと。ただ統合することでそれぞれの高校の学歴や良さがどちらかの高校に偏ってしまっていて良くない方になってしまうのではないかと。
- ・統合は致し方ないのかもしれませんが、希望の高校の特色がいいと思えば子供達は入学しているかと思っています。入学後に統合となった場合はお互いの学校の特色が損なわれないかが心配。

- ・統合は避けられないとしても、統合により高校の風紀が乱れたり、通学時間が増えたりとデメリットが大きいのであれば、統合してほしくはないというのが本音です。ただ、小規模だと先生方の負担も多くなり、生徒と向き合う余裕がなくなるのも問題だと思っています。お互いに無理のない統合が実現するのであれば、と思うところです。
- ・少子化が進めば、統合もやむ得ないと思う。統合する事で、より個別化のある魅力的な学校になり、選択肢が広がると良い。
- ・たくさんある中から自分に合う校風を選ぶことができればいいのですが、維持できなくて教育の質が下がるといけないのである程度の統合は仕方ないと考えます。
- ・1 学年あたりの児童数が減ってより手厚い教育が受けられると良いとは思いますが、ある程度の統合は避けられないとは思っています。
- ・ある程度の教員数が確保できているほうが、教育環境として適当だと思う。学校数が多くて生徒が少ないとなると、教員数が減ってしまうと思うから。
- ・一人一人に対してきめ細やかな教育を望むので、統合で一学校の人数が増えると心配です。
- ・あまり大人数だと1人、1人の生徒を見てあげられなくなるといけないと思う
- ・一定の総合は避けられないと思いますが、総合により人数が多すぎて一人一人に目が届かなくなるようなら避けて欲しいとは思っています。
- ・減らす事により、一人一人に教育する時間とお金をかけてほしいからです。
- ・個々に手や目が行き届く教育を願います。
- ・高校生になってからも、見守られている実感を感じ取れる環境であれば、統合は問題ないと思う。
- ・今後近い将来少子化が進むにつれて、1 学級の人数がどんどん少なくなるなら統合も必要なのかなと思います。ただ学校や地域での考え方、通学の距離等がそれぞれ違う部分があるので協議し、子供達がよりよい環境で学べるようにしていくことが大事だと思います。
- ・少なすぎても行事とかが盛り上がりず可哀想 多すぎても先生の目が行き渡らず可哀想
- ・少子化で統合が避けられないとしても、下手にマンモス校になって生徒に目が届かない状況だけは避けて欲しい。
- ・人数が多すぎれば担任が把握しきれないため、手薄になったり子どもに手厚く関わってもらえる環境
- ・統合されると、行き届かない教育にならないか心配です。でも、そうせざるを得ないのなら仕方ないとは思いますが、正直まだ、ピンとこないです。
- ・少人数でもそれらの問題をカバーする取り組みをするなら少人数もありかもしれない。(学校間の交流や協力活動など)
- ・生徒が減っても維持費はかかるため税金の無駄遣いだから。それぞれの学校で学べる事の差別化をはかり、1 校あたりの教員数を増やしてより手厚く生徒への対応をするべきと考えるため。
- ・中途半端に先生をばらけさせるより、統合していい先生の下、しっかりした教えをしてほしい。
- ・統合しなかった場合の少人数での教育は友人の幅も狭まり、自分の居場所がないといった環境に陥りやすく不登校などにつながりかねない。しかし統合し、偏った人数になった場合は細やかな勉強のフォローなどが疎かになる心配がある。高校は将来の選択を考えるスタートラインであるとする為、慎重に進めて欲しい。
- ・統合することで学級が増え人数も多くなると、トラブルの原因が増えるので行き届いた指導が必要になるのかなと思う。
- ・統合することで子どもたちの教育や活動にプラスになる事を期待する。
- ・統合はやむを得ないが、同時に学校の魅力向上施策や通学の利便性向上をセットで行う

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・1~2 クラスしか集まらないようなら統合もやむを得ない。
- ・1 学級あたり最低何人までなら維持する、それ以上になるなら統合も考えるしかないのかなと単

純な考えですが、仕方がないのかなと思います。

- ・1校あたりの学級数が少なすぎても、健全な運営が出来ないと思うので、ある程度の統合は必要かと思います
- ・4学級ではさみしい。駅に近いところなど、通学の利便性がいい学校を残して統合したらいいのでは
- ・ある程度の人数がいたほうが良い
- ・ある程度の生徒数は居たほうが いいと思うが少子化は避けられない現状なので 統合も視野に入れておかないといけないと思う
- ・ロケーションよりも、人数相応の単位にせざるを得ない
- ・一学年5クラス（200人）以上の編成が望ましい。しかし、地域の受け皿的な学校として一学年1クラス程度の学校は存在すると良い。
- ・学校を運営していくうえで 子供が少なくても職員の数が必要なのである程度子供の人数も必要になると思う。 高校の規模を狭くして子供達を増やす事になっても 必要なら仕方がないと思う。
- ・教員数も減少傾向にあるようですし、小規模で数が多いよりは、そこそこの規模に統合して、各校の指導体制を充実してほしいと思う
- ・高校なのに、生徒数が中学校より少ないのは本意なため。統合により、通学時間が増える場合は、スクールバスの導入も検討してほしい。
- ・高校の選択肢は多い方が本当は良いのですが、実際に入学したら小規模になっているせいで施設や教育など充実していないのは困ります。一定の間隔で高校が配置されるように配慮して、統合していくのはありだと思えます。1校の中に学力や学びたい内容で、学科やコースを設けてもらえば、統合の後も1学年の学級数を4~6クラスに保ちつつ、こちら側の選択肢の数もあまり変わらないようにできるのかなと思います。
- ・初めて真剣に考えましたが、難しい問題だと思いました。財源に余裕があるのであれば、一学級の人数を減らして、今よりもっと充実した教育を行うのも良いのではないかと思います。
- ・少子化が進んでいるから仕方がないとは思っています。ただ、いきなり1クラス分定員を減らすのではなく、少しずつ減らせないのかな…とは思っています。
- ・人数が少ないよりは、一定数人数がいたほうが良いと思うから
- ・積極的に統合すべきとまでは言わないが、例えば学級数が2以下となるような高校を非効率的に存続させる必要は無いので、そのような高校は統合し、効率化を図るべきである。
- ・絶対的な子供の数が減少するならば、無理に今のままの校数を維持して小規模化し、維持費等が高くて質を落とすより、最小限の統廃合をして質を高めた方が良いのではと考えるため。
- ・先生の仕事量が多すぎて、教育にあてる時間が少ないと、テレビで見たことがあるので、1クラスの人数をある程度減らしてもう少しゆとりを持って先生が教えられる環境が望ましい。
- ・定員が少ない学校同士が統合するべきだと思います
- ・無理に今ある学校数を維持するよりも、進学希望者の数や立地条件などを基準に、子供の数に応じた統合は妥当だと思う。校舎や設備の老朽化なども踏まえて安全な学校を残して欲しい。
- ・学校ごとの校風・文化は大切である。しかしながら、現6校で1学級にも満たないこともありえる。よって校数・学級数・生徒数のバランスがとれない場合には統合もやむをえない。
- ・統合は避けられないと思うが、今現在クラスで授業を受けられていないので、そういった子の為の少人数の学校がひとつでもあると助かります。
- ・生徒数が減少している以上、施設維持費用の削減は仕方がない。一部、特色のある少人数の学校を残すことは良いと思う。
- ・小規模でも良いと思いますが、統合しなければならぬ状況であれば仕方がないと思います。
- ・小規模化は構わないと思うが、維持の関係上やむを得ない場合は仕方がないのではないかと思います。
- ・小規模校で維持できるようなら、そのまま配置していただきたい。予算的に厳しくなり、教育の・

質などの維持が困難なようなら、最小限の統合はいたしかたない。

- ・人数が減るなら、統合もやむを得ない。
- ・人数が集まらなければ成り立たなくなるから
- ・人数が少ないのであれば統合もあるのかなと思います。
- ・人数が少なくなれば仕方ないと思う。
- ・生徒数が減っているならば、それに合った数となるべきであると考えます。
- ・生徒数によっては、統合も仕方ないと思う。
- ・生徒数の減少により、一定の統合は避けられないと考える。
- ・存続出来ない人数であれば統合は致し方なし
- ・統合は出来れば避けたいが、人数の関係上やむを得ない。

◎学校選択に関する内容

- ・なるべくなら高校の選択肢が減る為統合を望んでいるわけではないが、現実的に少子化が進んでいる今ある程度の統合は仕方ないとは理解している。
- ・学べる所の選択肢が多いのはいいと思うが色々な事を考えたら統合は仕方ない
- ・学校を選択肢が多い方がいいとは思いますが、一定の統合は避けられないかと思う。その場合、どれだけ魅力ある学校にできるかが大切だと思う。
- ・今後の少子化を考えると全ての高校を継続するのは難しいかと思うが、選択肢がなくなることや人数の関係で入学するのが難しくなることは避けてもらえたらと思う
- ・子供には 様々な特色のある学校の中から自分に合ったところを選んでもらいたいと思うので、選択の幅が広がるよう 多くの高校があるといいなと思います。ただ、少子化により規模を維持し続けることが難しいのは理解出来ます。希望は現状維持ですが、ある程度の統合は仕方ないのではと思います。
- ・子供の少子化が進んでいるので 選択肢の幅が狭くなるが、なくなるよりかは統合のが良い
- ・私、保護者が鈴鹿亀山地域の出身ではなく、子供もまだ小学生なので、正直なところまだ高校についてはよくわからないのが実情です。高校になるとある程度、興味や進学についての考えが絞られていく頃と考えられるので、それぞれの進路に向けて最適な高校が選べるような形での統廃合が望ましいです。
- ・人件費、施設維持の面からある程度の統合は仕方ないとは理解している。統合し、高校選びの選択肢が狭くなるからこそ、各校の特色(進学重視、部活重視、自主性重視)をはっきり打ち出してくれると子供、保護者も選びやすい。
- ・人口に合わせた状況に合わせるべき。でも、子供たちの選択肢は、維持してほしいです。
- ・選べる高校が減ってしまうより、統合して少しでも子供の学べる選択肢を残してほしい。
- ・統合してしまうと選択肢も狭まり、更に地元の高校へ進むという概念がなくなりそう。なるべくなら統合しないでほしいが、避けられない部分もあると思う。
- ・統合は避けられないですが、私立の学費を下げるか無償化にして多様な学校を選べるようにしてほしい
- ・少子化による学級数が減少することは避けられず、さらに高校の学費の無償化対象者拡大が進めば私立高校への進学者が増える可能性も踏まえて、県立高校の設備維持費や教員数確保のための県の支出費用を抑えるための統合は理にかなっていると思う。しかし、生徒側の視点から言えば、学ぶ内容や通学時間を考えた時に県立高校の選択肢は多い方がよいので、統合を積極的に進めることが必ずしも望ましいとは思わない。

◎通学に関する内容

- ・ある程度、駅から近く、なるべく通学に時間がとられないような配置であってほしい。
- ・どこの地域からも通いやすい場所にあってほしい。住んでる地域からあまりに離れていると通学

に時間を割かれすぎてしまうのは…

- ・できれば通学に時間のかからない鈴鹿亀山で進学できればと思うが、少子化がすすんでいるのなら、仕方がないのかなと思う。
- ・どう言う形なら、できるのかというのが、想像つかないです。能力的に行きたくても入らない学校があったり、遠くで、通えないとか、問題がいろいろあるので、少人数でも、学校を運営できないのか、できないなら、能力に応じた高校ではなく、住んでいる地域に近い、高校に通うと言う形にしたらどうかとおもいます。
- ・どの地域からも通いやすい場所にあること
- ・どの地域に住んでいても、交通の便の都合で通学が選択できないという状況にならないように、自治体が動いて欲しい。現時点では希望したい学校があっても、交通の都合で選択できないことがあると思います。
- ・なかなか近くに高校がなく通学するにも不便だおともう
- ・一定の統合はやむを得ないと思うが、遠方から通学することになった時に通学し易いように交通の面を整えて欲しいと思う。
- ・一定の統合は避けられないとは思いますが、あまりに通学距離が長くなる場合は考慮する必要があると考えます。
- ・運営が難しいなら統一しないといけないと思います。ただ場所はそれぞれで均等にして欲しい
- ・駅から近いところ
- ・駅近辺が良いです
- ・家族の負担を減らすために公共交通機関での通学が容易であることを基本として一定の統合は必要。バスの交通網の整備も必要。
- ・各校の特色を残しつつも、交通の利便性や市外からの生徒の確保などを考慮した上で、他地区との差別化が測られるのであれば、統合も仕方ないかと思えます。
- ・学校を運営するにもコストはかかるし、ある程度統合するのは当然の流れだと思う。通学が安全で便利だと通いやすいので、バスなど充実して欲しい。
- ・基本的にどの中学校区からも自転車で通える学校が一枚はあるのが望ましい。
- ・基本的に少子化になっていくので、統合は仕方がないかなあと思います。しかしそれにより通学距離が長くなり、学業やその他活動に支障が出るのはまた問題かなと思います。その辺に配慮していただき、交通などの移動手段等を考えていただければ統合等も問題ないのかなと思います。
- ・交通が便利な場所。
- ・交通の便が良い地域ばかりではないため、いろいろなところに学校があることが望ましいと思います。こどもたちの選択肢がある方が、自分の考えに合った所に向かって行けるのではないかな？と思います。
- ・交通の便を考えると、子どもの進路がかなり狭まります。学力があっても進学校へは遠く、諦めるケースもあります。
- ・公共交通機関から近く鈴鹿、亀山から通いやすい場所があれば良いのと思う。特に亀山からは鈴鹿や四日市には通いにくく、進学先の選択肢が少なくなるので可哀想だと思う（現在鈴鹿在住ですが亀山出身なので自身の経験を踏まえて回答）
- ・公共交通機関が発達していないため、やむなく車送迎しているとよく聞きます。駅から近い高校は残してもらいたいです。
- ・公共交通機関を使って通いやすい場所(駅から近い)に設置して欲しい。
- ・校舎の老朽化が気になり、統合して新設してほしい。また、教員不足も指摘されているので、統合すれば、少しは解消されるのではと思います。新設するのであれば、駅近くでお願いします。
- ・子供が行きたいと思える高校があったら特に問題は無いです。駅やバス停から遠いのは不便だと感じる。
- ・子供が通学しやすい立地、通学しやすい交通手段の確保。治安の良い場所。

- ・施設の維持管理コストや、適当な生徒数の維持を考えると、統廃合もやむなしと考えるが、通学距離の長さや、学力レベルの幅が広がりすぎることが懸念。
- ・自転車や電車通学になると思うので、場所が偏らないようにしてほしいが、津波などの心配もあるので、統合するなら安全な場所の学校にしてほしい。
- ・小学校中学校の統廃合と同様、高校もやむを得ず統廃合やコンパクト化の波がくるかもしれないが、ただ無くすだけではなく、物理的に自宅から通いづらい場合にはオンライン授業や通信制を充実させたり、遠方の学生には例えば学生寮のような支援策をとることも必要なのではないかと思う。平等に学ぶ機会を与えるためにも。
- ・少子化が進み定員割れをする学校も増えていると聞いているので、生徒が少ない学校は統合していくのも一つの方法ではないかと思います。ただそうすると、学校が遠くなるなどの問題も出てくるのではないかなと思います。
- ・少子化が進むと必然的にある程度の統合は避けられないと思います。統合により通いたい（通える）高校が遠くなれば通学方法や通学時間など不安な面も出てきます。
- ・少子化が進んでいるため、一定の統合は避けられないのでは、と思います。ただ、統合によって通学にかかる時間が長くなってしまふかもしれないと思うと少し不安ではあります。
- ・少子化が進んでいるので統合は仕方がないないが、通学が不便になるような統合はやめてほしい
- ・少子化が進んでしまっているのは仕方がないですが、学校の位置等、通学しやすい環境を重視してほしいです。（ハザードマップ、駅から近い等）
- ・少子化が続く限り、内容の良い学びの場を存続させるためには、変化も必要になると思う為。自分で通える利便性や交通手段の配備。学力を落とすことなく、現在の高校の長所や特異性を活かすこと。
- ・少子化であれば各校の経費維持の為にも統合はやむを得ない。希望は近くに通える高校が有ることが一番だが…
- ・少子化で高校経営を考えれば統合は仕方ない。しかし、統合による通学距離の問題や学びの場の選択が減ることへのリスクは充分検討して欲しい
- ・少子化なので維持費なども考えると統合は避けられないと思う 山側には学校がなく本当に不便電車もなく通学できるかによっても受験する幅が狭くなる 仕事してなかったら支えてあげられるけれど。
- ・少子化にあたり、統合は否めないと思う。ただ、子供の安全面を考えて交通の便が不便な地域がさらに不便になる事を避けて欲しいです。
- ・少子化については今からどう頑張っても減少傾向なのは変えられないが、子どもたちの教育が蔑ろにされるのは違うと考える。統合することにより学びの場が遠くなるのは避けてほしい。交通の便が良ければある程度の距離は問題ないとおもう。
- ・少子化による統合はある程度仕方ないが、交通機関が充実していない地域は高校選びに通学時間という壁ができるので、路線バスなど、山間部のほうまで十分行き渡るようにしてほしい
- ・少子化に伴い、統合は避けられないとは思いますが…鈴鹿の中でも中心地から離れているため、一番近い高校でも片道7キロ。私自身の出身地と比べても仕方ないですが、5キロ圏内に5校ほどありました。恵まれていた土地かもしれませんが…現状で近い距離でも7キロなのに、今後統合する事でさらに選択肢が減るとなると…登下校の距離が心配になります。進学校は子供の選択にもよりますが、少しでも場所に偏りのない配置を考えて頂きたいです。
- ・少子化の昨今、統合は避けられないと思います。鈴鹿市には、5校も高校があつて選択できますが、近くで高校に通いたい亀山市の生徒は、1校しか選択肢がないのが可哀想だと思いました。統合は、良いと思いますが、鈴鹿市まで通学する交通費の問題が気になります。
- ・少子化も進んでいて、仕方ない事だから。配置のありかた？の捉え方が間違えているかもしれませんが、公共交通機関（できれば近鉄線）の便利なエリアが好ましいです。
- ・少子化問題は避けられないし、それに伴って学校が統合することは仕方ないとは思いますが、

通いにくくなるのではと心配もあります。

- ・人気のある高校と人気のない高校と分かれてしまっているかと思います。アクセスの良い所にあたり、もっと学べる、将来に繋がる学問を学べる高校を希望します
- ・人数が極端に少なくなるようであれば、統合も仕方ないと思う。高校生は、通学は公共交通機関を使わざるを得ず、通学のしやすさも考慮した上で配置してほしい。
- ・自転車通学は雨の日や雪の日は危ないので、できれば中学も自転車通学1択ではなく、スクールバスも利用できるようなればいいと思う。”
- ・生徒数が少なくなるにつれ、運営が難しいようなら統合も仕方がないのかもしれないが、合併したり配置も、なかなか難しいと思います。例えば校舎を壊したり新しくしたりなど違う問題も増えると思います。ただ親としては近くて行きやすい地元の高校があるのは有り難いので今のままでも維持出来るのであれば、して行って欲しいです。
- ・設備費や人件費もかかる事なので、ある程度は仕方ないと思います。鈴鹿亀山地区は、公共交通機関が不便なので、同じ交通機関を利用する高校辺りで統合するなら。
- ・通学しやすい学校、人気のある学校など、やはりこれからも差ができると思う。受験の負担などを考えると、統合して選択しやすいようにしても良いのではと思います。
- ・通学しやすい学校に統合なら賛成します。
- ・通学しやすい場所にある学校は残して欲しい。
- ・通学に時間がかけることを避けて欲しい。また、事故など犯罪などに合うことを避けたい
- ・通学に対しての利便性を考慮した配置にしてほしい。学校の学力の平準化をして、学力で学校を選択するのではなく、居住地域で学校を選べるようにしてほしい。
- ・通学に便利な場所に建ててほしい。バスや電車の乗り継ぎが充分にある環境を作って欲しい。朝イチのバスにのっても間に合わない環境を改善してほしい。又公共交通機関が不便な場所からの通学者には原付きや電動の自転車やそれに伴う乗り物の通学を許して欲しい。
- ・通学の利便性の良い高校に統合して行けば良いと思います。
- ・通学時間はあまり長くなってほしくない
- ・統合がやむを得ない場合、自分の子供の通学時間が長くなると、自転車通学での事故のリスク等の心配がある。鈴鹿市はあまりにも車中心の道路が多いので、積極的に自転車道を整備したり、通学バスを検討したり、車を運転する人以外に優しい社会作りに目を向けてほしいです。
- ・統合が避けられないとしても通学の距離が遠くなるのでは、と心配です。
- ・統合されると各地域からも通うのが大変になる。それぞれの高校の魅力があるので統合さ！ることにより消えてしまわないかと思う
- ・統合したとしても既存の各学校を大学のような〇〇キャンパスとして利用してはどうか。維持費等の懸念はあるが、毎日の通学は近距離の方が有り難い。入学式や体育祭の行事の際には合同で行い、始業式等の際は、オンラインで行うことも可能かなと思う。
- ・統合して距離的に通いにくくなるのは困るが、学校数と子どもの数が釣り合わず運営が困難になるなら統合すべきと思う。
- ・統合して通学に時間がかかったり、不便さが出てしまうと思うのでその点は色々検討する必要はあると思います。ただ、統合を避けて各学校が少人数の生徒でいると経費もかかり、部活の質も落ちるので鈴鹿と亀山2校ずつ程度に統合するのが望ましいと思います。
- ・統合すると、通学が不便な子が出てくると思う。
- ・統合する場合、通いやすさを重視した方が良いと思います。場所、駅の近く等
- ・統合すれば通学に時間がかかることになるが、交通手段や費用の軽減などのサポートは必要だと思います。安心して通えることがだいじです
- ・統合には賛成です。ただ通学にあまりにも時間がかかるのは交通費などにも負担がかかってくる為地域の偏りはあってほしくない。専門教育のクラスを幅広く設置してほしい。
- ・統合にやむえない場合、通学しやすいほうに統合する。

- ・統合に際して、通学しやすい場所に設立してほしい。
- ・統合の際は交通の便の良い所を残して欲しいです。
- ・統合はしてもいいが児童が通いやすい距離の学校にするべき。
- ・統合を避けるべきとは、全く思いません。積極的に統合して、通い辛くなると不便
- ・平田野中学校エリアからどの高校も遠く感じる
- ・毎日の通学を考慮し、通いやすい交通の便を確保すべきです。学校行事に参加する際の自動車の駐車場確保や交通の便の良さも考慮して頂きたい。
- ・木本高校が統合したように、三重県も統合が増えてゆくとと思います。統合しても子供たちがしっかり学べたら良いと考えています。ただ、統合した場合の通学の距離が遠くなるのではと、気になります。
- ・鈴亀地区が東西に幅広いので、沿線上に配置があった方が、子供が通いやすいと思われる。また、市外からも通学の利点が増え、入学希望の増加があるのではと考える
- ・鈴鹿の山側のほうに、県立高校は無く、最寄り駅といえば加佐登駅しか無い。どこに通うにも不便で公共交通機関がストップしてしまったら親を頼らざるを得ない。学校の立地の偏りについて検討してほしい。
- ・通学で公共交通機関がなく諦めることがない様スクールバスなどがあれば統合してもよいと思います。
- ・通学できる範囲内同士での統合にし、スクールバスなど充実させる
- ・統合はやむを得ないと思いますが、通学に時間がかかりすぎるのは望ましくないのでスクールバスなどを検討して欲しいです。
- ・統合は避けられないと思っていますが、通学距離の問題が心配なので、小規模化になってもいいのではないかと思います。 現在でも住んでいる場所によって進学先を悩むので、県立の高校も最寄り駅から学校までスクールバスがあるなど 子供達が安全に少しでも通学しやすくなればと思います。
- ・統合については、避けられないのは承知しています。しかし、高校によっては交通の便が悪いので通学バスなどがあるとありがたいです。遠い場所など、送迎が必要になり行きたい高校であっても共働きであれば出来ず諦める事もありそうです。
- ・統合すると、家から遠い高校に通うことになってしまう。交通の便を整えてもらったら、スクールバスなどでもいいが、統合しても良い。進学校(神戸高校)は残して欲しい。
- ・統合してもよいけど、通いやすいスクールバスや電車など、アクセスの良い、環境にしてほしいです
- ・通学距離を考えると統合はできるだけ避けてほしいと思いますが、学級数の減少によりやむを得ないかもしれません。その場合は最寄り駅からスクールバスを運行するなど子どもたちが安全に登下校できるようにしていただきたいと思います。
- ・人数が少なくなるのは仕方のない事なので、小規模になっても仕方ないと思う。もし、学校数を減らすのであれば、家が遠くならざるを得ない子もいるので、スクールバスなどを完備して、通学に負担がかからないようにしてほしい。
- ・少子化のための統合は仕方ないと思うが通学にかなりの時間を使うことになるで大変だと思う。スクールバスなどが充実していればいいと思う。
- ・子供の人数が減っていくので統合はしかたないですがスクールバスがあったりと通いやすい配慮はいると思います。
- ・駅から距離のある学校もあるので、統合し、選択肢が狭まる場合は、通学方法(駅から学校直通のバス等)も検討してほしい。
- ・過疎化が進んでいる地域の統合は避けられないが、その地域から通う生徒などに交通費の補助または通学バスを運行するなど配慮が必要だと思う。
- ・せめて通学時の公共交通機関からすぐの場所か学校独自の通学バスの確保。必要に応じて寮生活

できるように対応するとか。通学費用を助成する制度の構築など

◎地域に関する内容

- ・少子化になっていくならある程度近い場所の学校は統合してより地域密着で子供たちが学べる学校を続けていくのがいいと思います。
- ・特色がある場合や亀山高校など地域にあまり高校がない場合は維持した方がいいのではないかとありますが、ある程度の統合はやむを得ないとも思います。
- ・日本全体が同様の問題に直面していると思う。現実的に、少子化なので統合を繰り返すしかないが、そこでどうやってこの地域の学校が生き残るかを都度考えるべき。
- ・鈴鹿亀山地区の県立高校にあまり魅力を感じない為、統合して少なくしても良いと思う。
- ・鈴鹿市の子供の人口に対して、鈴鹿市内にある高校の数が多すぎる。定員割れをしている高校を中心に統廃合を行うべきである。

◎その他

- ・まだよく分からない
- ・はい
- ・こちら側が決めることではないと思うので
- ・このままで宜しいかと…
- ・②を選んだが、出来る限り①を維持した方が良いとは思いますが。
- ・できれば…今のまま維持してほしいなあと思います。
- ・バランス良く配置、統合していただきたい
- ・もっとここで学びたいと思える高校になれば他地域からも進学してもらえるのでしょうか。
- ・よくなる方向に進むのであれば、統合自体は悪いものではないと思う。
- ・維持出来ることがベストかもしれないが、少子化という問題には統合という方法は避けられないのかもしれないと思う。
- ・維持費・教員・職員等の兼ね合いから、問題になるのなら、仕方がないと思います
- ・可能なのであれば統合は避けたいところだが、現実的に考えるといたしかたないのかなと考える。
- ・我が家は、津に近いので、上の子は津に行っているし、北部の地域は、四日市にも行くので、特に鈴鹿、亀山で高校を考えるのではなく、三重県として考えるべきだと思う。
- ・学校の老朽化や、災害（地震など）も踏まえ、早い段階から統合などの対策を進めることは必要だと感じます。
- ・学校を運営する為には仕方がないことだから。
- ・学校自体は、分校として活かしてほしい。
- ・学校数は維持していただくとありがたいと思う反面、教員数に限りがあると思います。
- ・教育方針等に相違が無く、生徒、保護者、学校関係者が良ければ統合もありだと思えます。
- ・県外出身者のため正直このアンケートに回答するのは難しいです。本人が進学したい高校が県外であっても応援しますし、いずれ海外にもと言われれば応援するのが親だと思っています。ですので県立高校の在り方というのを保護者に問うたところで、皆が納得いく結論に達するのでしょうか。最終判断は県が行うわけで、ひとりひとりの意見を全てクリア出来るとは思えないのが現状です。時代は刻一刻と変わっていく中で、その時代に即対応するのは難しいと思います。未来の子どもたちに何をしてあげられるのか。本質を見失わずに決定していただけたら幸甚です。
- ・現時点でも学校数は多いと思う。
- ・現状を維持することが困難であるなら、統合以外にはどんな選択肢があるのかわからないので、逆に教えて欲しい。その上で、どうしたらいいか考えられると思います。今は正直、統合を避けるべき理由が自分には思いつかない。
- ・限りある予算は効率よく使ったほうがいいと思う
- ・後期試験に落ちてても、県立にいけるよう、枠を作ってほしい。定員割れは保証がないので。
- ・行きたい高校に行けるようになるのが1番いい

- ・行政の財政状況によりある程度の統合や廃止など仕方がないと思っている
- ・今の時代少子化は仕方の無い事、それに伴って周りの地域も変化して対応していかななくてはならないと思う。
- ・ある程度の統合は学校運営の効率などを考えると、少子化が進む中仕方がないと思う。
- ・三重県内の他の地域も統合がされていて、鈴鹿亀山も同じように統合は考えていけないと思う
- ・仕方がないことだと思う。あまり人数がすくないと高校運営も維持できないと思うので。
- ・時と場合による
- ・時代の流れとともに柔軟に対応していけばいいと思います。その中で我が子が選択して高校受験をすればいいと思います。
- ・時代時代に合わせて対応するべき。
- ・小学校合併の話がでてきている中、避けては通れない事なのかなと思う
- ・少なすぎてもよくない気がする
- ・少子化に応じてスリム化すべきだと思う。
- ・少子化をチャンスと捉えて、今後の学校教育の見直しが必要だと思う。
- ・少子化問題は止められないので、統合は止むを得ないと思う
- ・出生数及び人数が減ってきているから仕方の無いことだと思う
- ・今後、少子化が進めば一定の統合が避けられないと思ったから。
- ・今後の少子化は避けられません。色々な意見があると思いますが、ある程度、多数決で決めていかなければいけないと思います。
- ・今後の人口減少から統廃合は避けられない。跡利用も含めて早期から対応してもらいたい。
- ・今後少子化が進むとされているのだから無理に全て残すのは維持費もかかるだろうから人気がない学校は無くしてもいいと思います。
- ・子供が少ないなら仕方がない
- ・子供のためになることを大切に考えていただきたい
- ・子供の人数がいないのであれば統合は避けられないと思う。
- ・子供の人数が減少しているから廃校も仕方がない
- ・子供の人数が少ないのなら仕方がない事もあるので、統合は避けられないのかなと。
- ・子供の数が減っている、多様な学び方がある中で学校が減る、変化することは避けられないと思うから。
- ・こどもの数が少なくなっていくので仕方が無いことだと思います。
- ・このまま少子化で子どもの人数が減り続ければ、仕方がないと思うので。
- ・人口減少・少子化に伴い、統合はやむを得ないと思います。他県でも中高一貫（公立でも）が増えて来ていると感じる為、廃校にするより良いかと思います。
- ・少子化が進んでいるので統合せざるをえなくなると思う
- ・少子化が進む中、ある程度の統合は必要な事なのかなと思う。
- ・少子化が進む中、全国的に学校の統廃合は避けられない課題であると考えます。
- ・少子化が進んでいるので仕方がないことなのだと思います。
- ・少子化が進んでいるので統合は避けられないと思う。
- ・少子化の為、学校が統合することはしかたがないことだと思います。
- ・少子化の影響もあると思うので、仕方がないのかなと思います。
- ・少子化の現状から各高校生徒数の減少を考えると統合は状況に応じ必要である。
- ・少子化の中で統合は避けられないので、教育の充実かつ効率を考え、やむを得ないと思う
- ・少子化は避けられない現実ですから、学級の減少や統合については、現実的に考えていかなければならない課題である事は理解しています。その中で納得はいかなくとも、うまい具合に落としどころを見つけていけたら幸いです。

- ・本当は統合は避けるべきだと思いますが、運営も含め、一定の統合は避けられないのかなと思います。
- ・無理に現状に拘る必要はないと思う。どんな検討を行うにしても、子どもたちのことを第一に考えて議論していただきたいです。様々な変化に対して、早めに公開されることで、子どもたちも自分の将来を見据えて考えていくと思います。
- ・鈴鹿、亀山地域以外の県立高校も多数あるので問題はないと思われる。
- ・問題ないと思います。
 - ・理由はない
- ・よく分からない
 - ・特にありません（他7人）

【亀山市】（108人が回答）

◎学習面（学び）に関する内容

- ・それぞれの学力や専門学科が無くなってしまふのは、選択肢が狭まる所もあるかと思うので、勿体無い気持ちがあります。
- ・各高校に普通科と共に専門分野を学ぶコースも併設し、近いところを選ぶ学生、専門分野で選ぶ学生、どちらも受け入れてもらいたい。専門分野は各高校に異なるコースがあると高校を選べると思う。
- ・学科や学力など同等の学校の場合、統合はあっても良いと思います。
- ・少子化が進む中で小規模な高校がいくつもあるよりも、統合して学べる分野を多く扱ってくれる高校ができて来るといいなと思う。
- ・少子化に伴い、生徒数確保が難しければ仕方がないのかなと思います。同高校内に普通科と商業科を併設するとか、通信高校のサテライト教室にするなど時代に合わせて柔軟に変化させていくことも視野に入れてみてはいかがでしょうか。
- ・少子高齢化が進む中、地域によって学校の配置や学科に偏りがある様に思います。学校の教育方針によって進学や就職と更に専門的な所様々ありますが統合して同じ学校で学べるよう統合する。また、1校に人数が集中しすぎても管理が大変なので平均的になるような配置にする。あるいは、小規模の方が管理や教育は行き届く様に思います。また、特に亀山地域は人口が少なく公立高校が1校しかありません。選ぶという点では通学に苦勞があります。亀山から鈴鹿へ電車を使用すると加佐登、河曲しか駅が無く鈴鹿市中心街や南方面へのアクセスが非常に悪いです。バスがあるのも知っていますが利用者が少なく廃線になりそうと聞きました。通学の利便性も影響がありそうです。
- ・地域性（ロケーション、距離）、学校の特徴（学科、専門課程、学力、部活）を考慮して合理性がある統合であれば進めても良いと考えます。
- ・定員の減少、学科の廃止などは子どもの選択肢を狭めてしまうので、その柔軟性をもたせながら、幅広い選択肢の学びができるよう、そして質を上げていく統合は必要かとお問います。
- ・普通科に関しては統合や縮小は避けられないと思う。
- ・普通科同志の高校なら特に問題はないと思うが、飯野のような専門的なことを学ぶ高校は独立して欲しい。
- ・無理に存続させなくてもいいから中身を充実させてほしい
- ・無理に統合することも、現状をそのまま維持することも無理があると思う。人口が減っているのは事実であるので、それに合わせる形になるのは当然ではあるので柔軟に対応していくしかないと思う。ただ、まずはクラスを少しずつ減らすなどの対応で何とかならないものかと思う。とはいえ、クラスが減ると社会科や理科など選択する科目で選択したくともできない科目が数多くなることも考えられるので、ある程度のクラス数（人数）も1校のなかで必要なのかとも思います。

◎学力に関する内容

- ・もし統合を考えているのであれば、進学校を増やしてほしい。鈴鹿亀山地区の進学校が少ないため、他の地域の高校へ進学する子供が増えていると思う。
- ・学力、レベルアップしないと人は集まらない、魅力的と思わないので、統合は避けられない
- ・学力レベルが低い学校が多いので進学校が出来れば他市からの通学者も増加すると思う。通学に不便な場所が多い為、駅からのスクールバスなどがあれば良い。
- ・出生数減少の事実から十数年先の一定の統合は避けられないと思うが、反面各高校の偏差値等のレベルの問題や、人によって通学における不便さが生じる為慎重に検討してほしい
- ・少子化が進んでいるので、今後同じぐらいのレベルの高校を統合したりするのも時代の流れでしょうがない事なのかと思います。
- ・ある程度学力に近い高校は統合しても問題ないと思う。
- ・少子化は避けられない問題なので統合は有りだと思いますが、学力や一般常識が下がるようなら統合はしない方がいいのかなと。
- ・同じ偏差値の高校を統合するのは良いと思うが、統合したせいで偏差値が下がってしまうのは心配。
- ・少子化による統合は仕方ないかと思いますが、比較的学力の高い神戸高校は統合せず、コースもそのまま残して欲しいです。印象として、鈴鹿地区の県立高校は、津や四日市に比べ学力的に低い気がするので、統合により今よりも学力水準が下がると悲しいし、親としては選択肢が狭くなってしまいます。鈴鹿地区の高校からは大学に進学するより、地元企業などで働くイメージが強く、高校の選択によってある意味その後の進路が決まってしまう気がします。統合するのであれば、親が、ここなら通わせたい！と思える学校にして頂ける事を期待します。

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・公立であっても、各高校にはそれぞれの特徴や学力レベルの違いなどがあると思います。また、場所の問題(統合後の)もあると思うので、統合は難しいのではないかと考えます。しかし、我が子には多くの人と出会ってほしいと思うので、学級数は5クラス以上が理想です。そのため、②を選びました。
- ・それぞれの高校の良さや特色が無くなってしまいそうで、できる限り統合は避けてほしいと思うけど、少子化などで減少する事を思うと仕方ないと思う
- ・できれば6校統合しないことを希望する統合するとそれぞれの学校のカラーが損なわれる。もし統合したとしても学校が非常災害時の避難場所にもなることから建物はそのまま維持してほしい。
- ・やはり学校というのは共同生活で色々な事を学ぶ場所でもあると思うので、あまりに少ない人数になるのはあまり良くないのではないかなと思います。
- ・一つの学校の学級数を減らすと、色々な友達や先生と出会う機会も減ってしまうが、学校の数自体を減らしても、学力に差が出すぎたり、通いにくくなってしまう。どちらをとってもデメリットはあるので、間をとって②。ただ、津か四日市への進学希望のため、あまり関係ないかもしれない。三重県、日本全体に言える話かもしれませんが…。
- ・一定の統合したとしても子供たちが楽しく過ごせればそれでいい。
- ・協調性やコミュニケーション能力を身につけるならある程度学級数がある方がいいと思うので統合には概ね賛成。専門学科がなくなる、もしくは減るといのは避けてもらいたい。
- ・高校では、人間的関わりを学んで欲しいと考えてます。少人数よりは多くの人との関わりを持って欲しい。よって、統合前提として学校教育検討をお願いします。
- ・高校によって校風や学科、学力の違いがあると思うが、伝統や良い部分は残しつつある程度の人数は確保してほしいです。部活動に関しても、そもそもの生徒数が少なすぎると団体で行う活動は困難になると思うので、その点においても統合はやむを得ないと考えます。

- ・今後子供の人数はどんどん減って行く中で、統合して色々な学校の知識を身につけその中で進路の選択肢が広がればいいかなと思います。
- ・今後社会に出ていくには大勢の人とのふれあいの中で自分の立ち位置やその中で責任感などを身につけてほしい。そのため、小規模よりは、ある程度的人数の中で学べたらいいと思う。でも小規模校と、通常の規模とで選べるのもいいかもしれない。
- ・生徒数が少ないと、好きな部活動がない場合が発生し進路決めに影響が出てくる。”
- ・小規模にも一人ひとりに目が行き届きやすいなどのメリットはあるとは思いますが、集団の中で多様な考え方に触れる機会や、学びあいの機会などが少なくなりやすいので一定の統合は避けられないと考えます。
- ・少子化となり、各高校に少ない人数が入学することになると、高校の運営が厳しくなり、友人から受ける刺激も乏しくなる為、高校の数を減らした方が良く考えました。
- ・少子化にともない統合は仕方ないと感じていますが統合したからと言って子供達に身につくべき授業や行事など手薄にならないようにしてあげてほしいと思います。
- ・人数が少ないことによってできない授業や校外学習など子どもたちにとって体験や経験が薄くなってしまふのは残念だと思うので、一定の統合は仕方ないと思います。
- ・人数が少ない学級ではできる事も増えるかもしれませんが、社会性を学ぶには少し難しいのかな、と思います。
- ・人数が少なくなり集団での経験がなくなるよりは統合はあってもいいと思う。
- ・統合してほしいわけではないが、少子化が進む以上避けられないと思う。少ない学級数だと多くの出会い・コース選択等が困難になるのではと思う。
- ・統合することに問題があるとはあまり思いません。なぜなら、統合よりも、学ぶ環境の方が大切だと思うからです。例えば、少人数のクラスで学ぶなどです。私が高校生の時は、生徒が多く先生との距離を感じたからです。
- ・統合を拒否することによって、先生方の負担も多くなり、子供達の生活態度や、学べる環境が、確保出来なくなるのも、困りますので、統合し、密にして頂きたいです。
- ・統廃合で学校数が少なくなることで、それぞれの学校の特色が失われ、子供たちが選ぶことができなくなる。とは思うものの、少子化は進んできているので、運営していく上で最低限の統廃合は致し方ないと思う。
- ・不登校や学習障害が増えているので、そういった子供への学習支援や就職に結び付くような支援が求められると思う。子供が少なくなるのでより決め細やかな支援を行えるようになると子供の学力アップに繋がると思う。
- ・分散しているよりも一定数の統合による多様な教育の機会が見込めると考えたため

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・ある程度的人数は必要かと思う。
- ・あまり、少人数過ぎると学校運営にも影響が出ると思われますし子供をある程度的人数がいる学校で学ばせてあげたいと思うから。
- ・学校の運営、維持費を考えると一定数の生徒は必要だと思うから。
- ・少数の学校は手厚く、まとまりがあって、子どもたちにとってはいいかもしれませんが、ただ、教師の数や設備の充実などを考えると、ある程度統合した方が効率が良い。
- ・少子化で統合は避けられないとは思うものの母校が無くなるとか感慨深いものもあります。規模を縮小してでも存続して欲しいと思うところはあります。以前より公共交通機関も縮小され選択肢が減るのも懸念材料でもあります。
- ・少人数で手厚い関わりを期待したい
- ・統合することで、通学時間の問題が出てくるので自宅から近い高校がなくなることは気になる点の一つですが、あまりにも一つ一つの高校の規模が小さすぎることは、子どもたちの学びの二一

ズを捉える環境ならば、今の高校の数を確保する理由とはならないと考えるので、統合はある程度は仕方ないと思っております

- ・小規模なりのメリットも多いと思うが、160~200人程度で維持されると学生時代に友達や先生など多くの出会いがあるし今後の人生の糧・力になると思う。統合し1校当たりの先生方の配置数が増えて、手厚くきめ細かく教育を受けられる学校になるといいと思う。

◎学校選択に関する内容

- ・少子化をとめることは難しいですが子供たちの選択肢が少なくなるのはとても残念です。

◎通学に関する内容

- ・②少子化が進む中、学校の統合は避けられないと思います。心配なのは統合により登校が不便な地域の子ども達への対応です。共働き世帯が当たり前の今、親が安心して送り出せるように地域と保護者が連携して子ども達を見守れる環境でありたいと思っています。
- ・ある程度統合した方がかかる費用も抑えられ、その費用を他に回すことが出来るのではないかと思います。ただ、遠方の生徒は通学が負担になるのでスクールバスなどが必要となるかもしれません。オンライン授業などの方法も混じえながら、生徒の負担にならない統合を目指して欲しいと思います。
- ・クラス数が少ないのは寂しいがメリットもメリットもあるので存続して行って欲しいが、統合して設備なり教育に充てていれるのならばありかも。そうなれば今よりさらに通学が大変になる可能性がある为学校バスとか、遠方でも子供に負担にならないよう本数多く出して欲しい。
- ・もし、統合して行ける高校が少なくなった場合学力的に行けなくなると言う心配ともし行けたとすると通学手段があるのかと言う心配は出てくるのかなと思います。
- ・維持し続けるのも、統合するのも現場に立つ方には負担が多いと思いますが学校は大人のためではなく子供のためにあるものなので子供達が通いやすい、将来への力を蓄えやすい環境を優先していただきたいです。
- ・維持費、学びの環境などを考えますと、学校を統合していくことは避けられないと思います。色々な地域から通いやすい立地が大切だと思います。
- ・一定の統合は、学校運営上仕方がないことかもしれないが、通学バスを導入するとか、オンライン授業を導入するとか、何かしらの対策は必要だと思います。
- ・亀山から鈴鹿方面の高校への交通の便が悪いので亀山駅から各高校を経由するスクールバスがあると助かると思います。費用の面で難しいとは思いますが。
- ・亀山住みからすると、通学時間などの面がどの様になるのか興味があります。
- ・通学利便性、学科毎の学級数のバランス等を考えながら、統廃合も含め再編成すれば良い
- ・統合しても、地域により通学時間に格差が生まれることのないよう、通いやすい通学手段補助をしてほしい
- ・統合するにあたり、ただ少子化が進み子どもが少なくなるからという理由ではなく、より良くなり今より充実するのであれば、これからの時代仕方ないのかもしれない。ただ、交通の便が悪くなるのは困ります。
- ・統合により選択肢が減れば通学時間が増える生徒が増える。駅20分以内に設置
- ・統合は避けられないかもしれないが学校へ通学する手段を確実にしてほしい

◎地域に関する内容

- ・少子化ゆえに統合も仕方がないかと思いますが、亀山市在住なので一校しかない亀山高校は残していただきたいと思っています。
- ・毎年定員割れしているようなところは統合しても良いと思う。石薬師と稲生、白子などは同じ鈴鹿地区なので問題ない。そのかわり、1学校あたりのクラス数は少し増やす。

- ・鈴鹿、亀山とも公立高校が多くないので、統合するにしても最後まで粘っていただきたいのが本音です。
- ・鈴鹿亀山地域の少子化により、現在の県立高校の維持が困難であればいたしかたないとの考えだが、どこを統合し廃止するかなどは慎重に協議すべきだと思う。県立高校の場所など偏りはない方が良い。
- ・中学生卒業者数が減っているため、いずれかの統合は仕方がないが、地域によって偏ったりしないようにしてもらいたいと思います。

◎その他

- ・人気のない高校は統合すれば良い。
- ・魅力ある学校作りをして欲しい。
- ・まだ想像がつかないので分かりません。
- ・子供が小学生なのでまだ高校の事を考えた事が無い。
- ・一定の統合は避けられないとは思いますが、地元の県立高校が統合される側になれば金銭的にも厳しくなりそう
- ・学校の維持費に多くの費用をかけるよりも、子ども達の教育のために費用を使ってほしいから。
- ・亀山市にもう1校高校配置してほしい。
- ・教員の不足など生徒と教員の割合を考えると仕方がないため
- ・経営や教師の人手不足等の状況に応じて、柔軟な対応をしていかなければならないと思います。
- ・県内各高校に求められる役割を明確にした上、広域（他県への通学も排除せず）で検討して下さい。
- ・効率的な運営をした方がよいと思うから。
- ・高校が今後も維持、継続できるようなかたちで運営していくべきだと思うので。
- ・子どもたちが高校進学に困らないような仕組みになるのならば、統合もよいと考えます。
- ・子供たちにとってより良い環境を目指してよくなってほしい。より良くなれば統合しても良いと思います。
- ・時代に合わせて変化していくことも時には必要かなと思います。
- ・時代や状況に合わせて、進めて頂けたらと思います。6校にこだわる必要は全くないと考えます。
- ・少子化が避けられないのが見込まれるのであれば多少のクラス数の減少も避けられないのは目に見えるので②を選びましたが、クラスの人数を少し減らしてクラス数をそのままにするのも一つの手だと思います。
- ・少子化で、統合せざるを得ないのならば、残念ですが仕方ないと思っていますが、慎重に進めて頂きたいと願います。
- ・少子化による統合はやむを得ないと考える。ただ、そもそも鈴鹿、亀山地域内で生徒数を確保することが前提の質問にみえるので、市外、県外から生徒を確保することが出来る施策を検討し、既存高校を維持出来るように努めたほうがよいのではないかと。
- ・人口が減っているのは明らか。教師の数も減っていくだろうから統合はやむを得ないと思う。税金を上手く使って設備や、災害時の避難場所ともなるような設備を導入するなど、活用して欲しい。
- ・これから生徒が減っていくので、ある程度統合とかあっても仕方ないかなと思います
- ・子どもの人数が少なくなってきたので一定の統合は、仕方ないと思う
- ・人数が少ない高校を維持していくのも大変だしある程度の統合は仕方ないと思う
- ・子化が進んでいるので避けられないのではないかと思う
- ・子供の数が少ないなら、統合も致し方ないと思う ・仕方ない
- ・少子化は避けられない ・少子化なので、統合はやむを得ない
- ・少子化なので学校を減らすしかしかたがない。 ・少子化のため、統合はやむを得ない

- ・ 少子化のために、統合はやむをえないと思う。
- ・ 人数が少ないのであれば仕方ないと思うからです。
- ・ 少子化が進む中、仕方ないことではと考える。
- ・ 少子化が進めばやむを得ない
- ・ 少子化が進む現代でやむを得ないから。
- ・ 必要なら仕方ない

③ 積極的に統合を進めるべき

【鈴鹿市】 (52人が回答)

◎学習面(学び)に関する内容

- ・ 6校もあり、似たような学校も多いように思う。勉強をもっと頑張りたいと思う生徒が、鈴鹿市内の高校で学びたいという気持ちになれる高校を配置してほしい。
- ・ そもそも土地の広い亀山で世帯が分散し過ぎてて鈴鹿内での高校の選択がかなり狭められるのは昔からの問題。津や四日市へ出てく子が多い。工業高校など専門的な技術を身につける学校を配置すれば良いのでは？
- ・ 将来性のある学科が少なく、普通科が乱立している印象。工業、商業は高専以外には市外しかなく、就職も自ずと市外になりがち。地域活性に繋がる学科の設置や企業連携があっても良いと思う。
- ・ 低レベルな学校は、必要性を感じない。学問でなく、働く技能を身につける場所にした方がマシ。
- ・ 愛知県のように、中高一貫校を設立してほしいです。

◎学力に関する内容

- ・ 教育に携わる先生方の負担軽減は必須かなと思います。卒業生の反対や偏差値の問題などはあるかもしれないですが、生徒には酷かもしれないですが、学力でクラス分けをしたりして、若干学力が分散していても、今後の少子化を考えると統合は進めていくべき問題かと思っています。
- ・ 近辺の学力が同等のレベルの高校同士が統合すればよいのではないかと考えます。
- ・ 結婚して市外から鈴鹿市に来ましたが、鈴鹿の高校は学力もそんなに高くなく、通学が不便な場所がほとんどだと思っています。それを改善出来るなら早急に目指していただきたいです。県内で人気の高校ランキングに鈴鹿市が入るような高校を作って欲しいです。
- ・ 生徒数の偏りがあり、教育のレベルにバラつきが出ないようにしてもらいたい。
- ・ 税負担は限られているので効率よく活用されるべき。勉強したい子、能力を身につけたい子供が優先される事を望みます。
- ・ 立地に関しては他地域からも来ている事を考えると、それほど重要ではないと思う。学校運営の観点から偏差値や各高校の特色別に統合すべきと思う。
- ・ 統廃合すべきだが、学力レベルは二分すべき。交通の便の良い高校を新設あるいは改築し、域外からも優秀な学生が集まる魅力的な学校運営をするべき。その点では、特急が停車する近鉄白子駅は拠点となり得るか。
- ・ 県立高校に関する知識がないため、お答えすることが難しいですが、同じような偏差値やコースがある高校がいくつかあっても意味がないように思います。
- ・ 四日市高、津高に肩を並べられる進学校が地区内に必要。白子、稻生、石薬師、飯野、亀山は2校に集約。
- ・ 同じようなレベルの学校はいくつもいらない。稻生、飯野、白子、石薬師、統合、廃校必要

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・ 高校は世間の広さ(厳しさやその刺激)を実感しながら将来を決めていく、人生の大切なステップの場であり続けてほしい。小規模できめ細かな対応をと周囲が手厚くしたところで、社会に出てから壁を感じ挫折する方が怖い。少子化により小中学校こそ狭い社会となるため、進学や就職先レベルが近いならぜひ統合し、規模感をもって多くを経験させてあげたい。受験段階から選択

肢を絞るのではなく、2年進学時に本人の意思で専門性を選べるシステムの方がありがたい。また、きめ細かくという意味では、ひとりっ子も多くなり相談先の少ない若者が増える可能性もあるので、マンモス校でも家庭事情や精神面について個別相談の受けやすい体制づくりがますます重要になると思う。

- ・統合について積極的に検討を行う中で、生徒の多様性を考慮し、より良い環境で学びを得ることが出来る施設、設備、人材を整えるべきと思います。
- ・高校が少人数すぎる学年だと、大人数の中での協調性や社会性を学ぶチャンスが少なくなると思っていますので、適度に統合して学年の人数を少人数にならないようにして欲しいです。
- ・1校あたりの生徒数が少ないと、部活や友だちなど様々な点において充実しない
- ・高校生の間に多くの人と出会い、色々な考え方や価値観に触れ、社会性、協調性、人間性を身につけてほしいから。地域内に学校数が少なくなれば、地域外や他県の学校などと交流も増え、もっと広い視野で今後の人生を考えられるようになると思う。
- ・高校生生活はより人間関係の構築をする機会になる、より多くの人、友達や先生との出会いが、のちの人生に影響を与えらると思うので、統合せねばならないなら、積極的にするべきだと考えました。
- ・コミュニケーション能力がついてほしい。色々な人を見てほしい。
- ・違う地域や色々な人と関わった方が学びが増える
- ・人々との関わりが大切だから。
- ・多くの人との関わりが必要と考える
- ・登校距離が遠くなったとしても、高校生活の人数が多い方が色々な人と関わって、良い経験になると思います。
- ・統合したほうが、重点的にお金をかけることができ良いと思う。また、生徒数が多いほうが部活動にも力をいれることができ活気があるとおもう。
- ・統合することにより、色々な地域の子と仲良くなるのも良いと考えるので

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・ある程度の規模を維持しないと、現行の教育内容は維持できないと思う。小規模校になるならば、職員数は維持してきめ細かな対応が出来るようにして欲しい。
- ・高校生であればある程度の人数（1学年200人程度）が在籍したほうが少人数よりも学習面、部活動、社会的な活動がしやすく学校生活が充実すると思うので、統合した方が良いと思う。
- ・2学級や4学級の高校は今すぐにでも統合し、人件費削減をし、未来ある子どもたちに豊かな学びを提供できる費用に回してほしい。友人関係などに問題が生じた際に2学級では対応できないのではないかと。また、少人数の中での支援を必要とする子どもたちは就職に向けた専門的な教育を受けられる支援学校に進学するようにしていくべきだと思う。背伸びして県立高校に入学しても退学や就職後すぐの離職がかなり多いと聞いている。そもそも鈴鹿市には似たような県立高校が複数あり、定員割れも起こしているのだから、統合に向けた見直しが早急に必要だと思われる。

◎通学に関する内容

- ・一つの高校に集中したとしても施設の充実、特に学校最寄り駅からシャトルバスを出すなど多くの生徒がいることでできる支援もあると思う。時代に応じて柔軟な対応をしてほしい
- ・教員の数も少なくなっていく事が予想されるので、質の低下も予想されるため。その代わりに、交通の便に予算をつけて欲しい
- ・現在も単級小学校に通っていますが、統合をどちらかという望んでいます。配置場所によっては通うのが大変になるかもしれないので、スクールバス等を導入してほしい。教育内容が維持または向上するのであれば、統合も致し方ないと思います。
- ・合併するのであれば通学に対しての支援が必要、専用バスなど、親に負担がかからないように

- ・少子化問題は免れない事態ですので統合には積極的に賛成です。ですが通学の時間やどこを削減してなどはたくさん意見があるかと思いますので早めの対処をお願いしたいです。通学バスや市内バスの活性化もお願いしたいところです。
- ・統合して学校数が減り通学に時間がかかる生徒への配慮をして欲しい。通学バス、バイク通学許可など。
- ・統合を積極的に進める代わりに学校の位置を駅前に設置する
- ・費用対効果、さらに未来を見据えた少子化対策の為に、積極的な統廃合は致し方ない。市全体の予算バランスを考え、合理的集約をして、多くの生徒さんに選択肢を残してあげたい。出来る事なら、鈴鹿市亀山市の中間点に、ハブ高校を建設し、その周辺に専門高を建設する。こうすることで、生徒間交流が促され、より広い視野を身に付ける事が出来る。さらには、その周辺にコンパクト CITY が生まれインフラや、交通機関の費用対効果が期待出来る。これには北勢バイパス、鈴鹿山バイパス、さらには近鉄鈴鹿線の亀山市駅延長、JR 伊勢近鉄の新鈴鹿市駅を建設し、市役所や高校周辺の発展に寄与すること、亀山市民にも通学しやすい位置関係にあること、かつ、鈴鹿側から亀山への人の流れが出来、亀山市の発展にも寄与する。結論 亀山市駅、新鈴鹿市駅、白子駅を拠点に、それぞれから通いやすい位置にハブ高校及び新駅を建設する。現鈴鹿駅東側の田園を開発することを提案します。
- ・鈴鹿市は進学校が少なく、進学校を選ぶとなると自宅から遠くなる。

◎地域に関する内容

- ・かく地域に満遍なく配置したらいいと思う。

◎その他

- ・学校に入ってくるお金が減ると、結局は税金が上がるため子ども達が就職した際に少子化なのに税金が上がっては家庭を持ってない。子育てもできないし、子どもさえ産めないと思います。
- ・学校数を減らすことでデメリットもあると思うが、ある程度の教員数が余剰(他の表現が見当たらずこの表現ですみません)になると思います。その余剰教員分で、仕事の分配行うことで一人一人の負荷軽減が可能では？そしてきめ細かい生徒へのフォローも期待できると思いました。
- ・経費削減のため
- ・現状でも2学級しかない学校があるが、高校は義務教育ではないし、ある程度遠方でも通えるのだから、無駄に維持するのではなく、統廃合した方が、他の学校にその分予算も配分されるので積極的にすべきである。
- ・少子化が進む中無理に学校を残す必要性を感じない。税金の無駄遣いの削減。人件費の削減につながるから。
- ・人口減少は避けられないので様々な環境にいる人々に配慮して皆の納得できる形で統合を行っていただきたい
- ・先生の力、財力も集中して設備先進の学校作って欲しい
- ・定員割れしている高校は統廃合を検討した方がよいと思う
- ・少子化だからそれに対応していくべき
- ・少子化ならその様に対応すべき。
- ・なし

【亀山市】 (11人が回答)

◎学習面(学び)に関する内容

- ・現状として、少子化が進んでいるのは、周知の事実。学校数が多ければ、先生の数も必要であり、設備投資にも費用がかかる。学校を統合することで、一校に対する予算が確保されやすく、また、先生の人数も減らすことが出来るのではないか。また同じ学校内で、様々なコースを選択できる

様になれば、子ども達も様々な考え方に触れることができ、より多くの刺激を受けることが出来るのではないかと考える。

◎学力に関する内容

- ・ある程度枠を狭くした方が、レベルが上がると思うから。
- ・少子化に伴い、倍率もなく全入学のような形になっては競争力の低下が否めない。それによる学力低下が心配である。

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・現在の県立高には魅力を感じない。大学入試のサポート等も充実していない。弓道部やクイズ研究部などの私立にあるような部活もないので楽しいとは感じない。そのような学校に税金をかけてまで残す必要はない。はっきり言って税金の無駄遣い。なので、どんなぶかつをやってみたいか？、フォロー体制などの必要性などを保護者や児童にアンケートとして魅力ある県立高にしてほしい。
- ・生徒減少だけでなく、先生になる人の減少も考えられる。統合することにより、偏差値だけでレベル分けされる社会から、個人を尊重する社会へと広がると、子どもたちがもっと楽しくのびのび生きやすくなると思うから、統合をすすめてほしいし、学歴社会を早くやめる「三重モデル」を作れば、世間が注目されて三重県も活性化すると思う。
- ・統合してより良い環境、手厚い教育を受けられるなら統合して良いと思います。

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・亀山市は、高校が非常に少ないので増えてくれたらありがたい。沢山の人の関わりを持って欲しいので、クラスは多い方が良いと思う。

◎通学に関する内容

- ・どこの市町でも最近は統合しているし時代の流れだと思う。ただ、合併される側の学校の子供達には通学等の配慮は必要だと思う

◎地域に関する内容

- ・地元の高校に通う必要性が感じられません。高校時代から外の世界を見る必要があると思います。津や四日市などにある高校で充分です。

◎その他

- ・維持費等が無駄に掛かっている、そのため質も下がっていると思います
- ・設備維持の観点から学校数は少ないほうが老朽化、経年劣化に対応する費用の工面がしやすいのではないか？

15 今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

【鈴鹿市】 (329人が回答)

◎学習面（学び）に関する内容

- ・個々の学力や状況に応じた学習環境が整い、社会への第一歩がスムーズに踏み出せるようサポートいただければありがたいです。
- ・同じ学校でも各生徒の学力や能力によって 科の選択肢が複数あれば良いと思う。
- ・私立高校のように、専門性ある科やコースなどがあると進路選択が広がっていいなと思う
- ・これまでは学力中心に、将来の目標に基づいた高校に進学していました。高校のそれぞれの特性を活かしながらも、高校の中で多様な選択肢があってもいいのではないのでしょうか。技術な取得など専門性のある学校と大学進学から専門学校まで個々に応じた進路選択ができる学校があるよいと思います。ただ、その場合はある程度中学校の段階から将来を見据える必要もあるので、小中学校での様々な体験や経験からの学びが重要になってくると思われます。あと、最近は大学が総合選抜を重視するようになってきました。そのときに、進学校は勉強に追われて、総合的な学びや体験をする時間が少ないように思います。そういった大学の受験方法を見据えた総合的な学びができる高校があるといいと思います。
- ・将来自分がどのように生きていきたいかを視野を広げていけるような、企業や地元の方と交流していたり、勉強だけではなく主体的に生きていけるよう学べる場であってほしいです。
- ・就業に力を入れたカリキュラムが充実して欲しい
- ・社会で役立つ教育、金融教育、性教育、コミュニケーション教育など社会に出た時の為の実践向きの学びがあると良いと思う。
- ・世界に目を向けた英語学習を取り入れ、多様性に対応出来るように
- ・子供達が選択しやすく色々な学科を作ってほしい
- ・18歳成人の時代ですので、考えて決めていく力を勉学とともに身につけていければと思います。話し合い、意見を言える環境を作って人間力も学べたら、、、と願います。
- ・税金の種類や、支払った後の活用される分野、義務についての学びが足りない。自分達の税金の行き先について教えてほしい。海外への架け橋が欲しい！
- ・中学校の学習内容も必要に応じて学び直しが出来る柔軟なカリキュラムを持つ高校があっても良い。
- ・教師や生徒の学業、人間性、社会性を高めるための教育や色々な経験ができるような高校であってほしい。
- ・教室だけでなく、色々な体験、仕事の体験、を通して、社会のため人の役に立つことの楽しさなど、経験出来たら良いと、思います。
- ・勉強だけでなく、大学や企業に協力いただくなどの取り組みで、高校卒業後のビジョンが子ども達に描きやすい環境をつくってほしい。専門的なコースや学科を設立し、将来に向けた自立を促す高校をつくってほしい。
- ・色々な個性や性質を持った多様性を大事にして行くべき。と考えるこの世の中で、教育的な面でも、一人一人の学力に合わせた教え方や、性格に応じた授業の進め方や、授業の仕方など、多方面からの支援が必要になると思う。先生の数が圧倒的に足りない気がする
- ・少子化が進んでいることで、より個に合わせた勉強や知識に対しての教育ができるような学校作りを、家庭と学校教師と協力しながら目指していきたい。学会カリキュラムがすべての、集団教育から、個にスポットを当てた教育を望みます。
- ・将来に活かせるようなことを体験しながら、学んでほしい。

- ・詰め込みや偏差値を上げる目的の教育ではなく、子供達の長所や能力を引き出せるような教育を期待します。
- ・特色のある学科が増えていて、夢があるなどと思いますが、早くからコースを選ぶのも、心配です。新たに興味を持つことや、違う分野の勉強も選択肢としてあると良いと思います。
- ・将来の進学・就職に繋がる学び等がないと、魅力的にうつらないのでは
- ・学力など、地域格差が無いように、ICTの充実、多様な学びが出来る魅力溢れる学校を望む。
- ・勉強ができて資格を持っていなければ、就職に生かされない、より厳しい時代になったと感じます。専門的な資格取得できる高校が理想です。
- ・人数が少なくても教育の質が落ちないように、ONLINE 授業を一部取り入れたり、何らかの措置をしてほしいとは思ふものの、具体的な案が思い浮かばない。
- ・どちらかというと増やすべきあまりにも質のいい高校が少ない施設も考え方も古すぎる
- ・地域、企業、大学と連携した体験型の教育を望みます。自ら欲しい情報にすぐにアクセス出来る環境となりましたが、知ること満足する傾向があります。体験する機会を増やすことで、社会に対して、自分の将来に対して具体的なイメージを掴んで欲しいと願います。
- ・すべての子供が視野を広くもてる教育が大切だと思います。
- ・自然が多い地域ならではの、自然や食(農業)に関する学びもあっても良いのではと思う。
- ・物価高や 30 年以上給料が上がらない事など踏まえてみると、今後日本での生活は苦しくなる一方と考えています。それを踏まえて今からの教育では高校の段階でもっと英語の授業数や ALT とのコミュニケーションタイムを増やす、さらに多言語(中国語、スペイン語など)も学べる機会を与えてあげると将来子供達の選択肢も増えてこの学校に通ってよかった。と心から思える日が来るかと思えます。
- ・将来あまり使う事のない教科のコマ数を減らし(理科などの専門分野は学びたい人は専門学校や大学でそれらを多く学べる学校に進んだらいいと思いますが、一般の人ではあれだけ勉強してもいざ大人になって授業で覚えている事は実際少ないしあまり生活で使えない。)本当に必要となる授業を増やすのが今後の子供達のためになると思います。
- ・実際世界では英語が話せない日本人としてバカにされているのが現状で、そのためにも未来の子供達が世界で羽ばたけるにはよりよい英語教育の環境を作ってあげる事が今後公立高校の大きな課題、それが実現出来たらさらには強みになっていくのではないかと考えています。
- ・単なる普通科というような特色のないクラスは減らす。誰でも入れるような大学は勧めない。将来が想像できるような進学指導。学びの目的、効果をしっかり伝える。一人一人に合った伝え方接し方。などが必要。
- ・勉強だけでなく、人間性も育てくれればいいのではないか。
- ・昔ながらの国公立進学重視ではなく、多様な時代に合わせて私立に負けない教育を施してほしい
- ・入学しやすくも内容が濃い授業が受けれる
- ・多様性の時代なので子供が色々な学びができる学校を希望します。
- ・未来につながる教育を求めます。
- ・今はどこの企業も主体性、自主性があるかを採用の時にみるので、そういうのが身に付く授業の仕方をしてほしい。子供達自身でテーマを決めてそれについて話し合いをしたり、自分達が行いたい、やりたいと思うことをさせて、能力を伸ばしてほしい。
- ・この地域の中でも色々な選択が出来るような特色のある学びの場であって欲しい
- ・多様な選択が尊重され、1人1人に合う教育が受けられる学校は魅力的だと思います。
- ・専門性、地元企業との連携した学校
- ・進学だけを目指す学校だけを残すのだけはやめてほしい。就職や自分で起業するなどの経済やお金、事業について学べる高校も会ってもいいと思う。
- ・個性を活かした学びの場が増えれば行きたいと思える学校になるのではないかなと思います。
- ・私立並みとは言わないが、差別化をもう少しした方がいいと思う。普通科も良いが、理系の普通

科や文系の普通科、文系主体の学校など分けたりした方がより魅力がある。通信制の学校で色々選択を変えたりするのも魅力的。

- ・学級数が減るということは、学べる分野や学科が少なくなると思うが、それが子供たちの将来の選択肢に影響がでないように検討することが大事だと思う
- ・主体的な学習ができるようにする
- ・勉強面ではわからない所を自主的に質問し教えてもらえるような環境作りが望ましい。また、昨今モンスターペアレント問題や、児童虐待など教育するにあたって色々面倒な世の中になっていますが、間違っている事は時には厳しく指導する事も必要だと思いますし、今後の一般常識や社会適応性や目上の人に対する対応やコミュニケーション能力を培うためにもある程度の厳しさは必要ではないかと思います。
- ・それぞれ特色ある学びの中から、子どもたちが自分の学びたいことを、選べるようになったら素敵だと思う。
- ・進路が進学でも就職でも、3年間で飛び立てる準備を充分に寄り添ってもらいたい。子供達が自身の進路を明確にできる学びの場として存在して欲しい。
- ・子供の将来につながる大事な時期なので、進学、就職どちらにも対応出来るような体制をとってほしい
- ・子供に色々な専門的知識や社会に出る前の常識など個人にあった学びが受けられる場を減らしては欲しくない
- ・レベルの低い高校が多いです。もっと底上げしないと、鈴鹿亀山の学力のレベルが上がらないと思います。鈴鹿の中学で上位でも四日市にいくと低いです。もっといい大学に行けるような、総合型の高校があるといいと思います。通いにくい、石薬師、稲生などは統合するといいかないと思います。もっと駅近くに高校が欲しいです。鈴鹿高専のような学力の普通科、国際科があればいいと思います。部活動もレベルをあげてほしいです。
- ・コースや学科の選択肢を増やして専門的な知識を学び将来の選択肢を増やせるような環境にしてほしい。
- ・映画だけではなく、外国語なども多く学べる機会があればいいと思います。
- ・AIの発達により普通に大学に進学しても就職出来ない時代がやって来ると思うのでAIに変わる事ができない専門的な知識や資格が取れるような学科を増やしていくと良いと思う。
- ・1学級あたり的人数を減らすことで生徒への目も届きやすくなり手厚い教育が受けられるのではないか。人数が少ないからこそその授業やイベント（体験学習など）も可能になるのでは。また、〇〇を学ぶなら△△高校など…学校各々で個性や特色（科など）をもっと出すと子供たちにとって選択肢が広がってよいのでは。
- ・鈴鹿地区で大学進学を考えた時に他地区に流れるケースが多い。学習面で進学を考える子供、体育や芸術や音楽の面での進学を考える子供、が集まり、そのようなニーズに応えられる学校が必要。実業高校も他地区に流れるので、そのようなニーズに応えられていない。高卒で働くことを考えている子供たちがたくさん集まり学べる学校が必要。
- ・国際的に活躍できる人材の育成
- ・勉強も大事だけど、農業など自分の力で生きていく力や知識を身につけていく必要がある。
- ・ハブ高校と、連携専門高が上手く機能出来ればいいと思います。
- ・県外からも生徒が集まる様な、専門的かつユニークな学校があるのも良いと思う。
- ・多様性やICTなどの社会で生きていく、働いていくことを考えると、最新の知識や技術の学びをより充実させてほしい。人間性や協調性、コミュニケーションにおいても、地域を活かした場の提供など、地域でしかできない学びも必要と思う。
- ・学力レベルなど実情はよく知らないが、徳島の神山高専のような教育が一般化したらいいと思っている。
- ・地元企業とのパートナーシップを通じて、産学一体で、学びの質の向上や知識の幅を広げ、ひい

- ては、地域産業の活性化に繋がる取組みができるの良いのではないか。
- ・何かに特化した学校を設置すると選択肢は広がりそうだと思います
 - ・先生の人数や学校を維持する労力、財源の問題で難しいかもしれませんが、今ある各学校がそれぞれの特色を活かしたカリキュラムを組んで子ども達の興味関心を伸ばすような教育ができれば、子ども達の将来も地域（ひいては日本）の未来にも光が見えるのかなと考えます。
 - ・インプット授業は、ほどほどに。アウトプット、五感を大切に、主体的に取り組める授業を望みます。
 - ・進学実績などその学校の良さや質が下がらないようにしてほしい。少人数クラスできめ細やかな授業や、子どもの興味関心にそった授業を期待したい。また、体験学習の充実など印象に残る学びをお願いしたい。
 - ・上にも書きましたが、各学校の特色ある学びの維持発展、協働しながら課題を探究し続ける力をつけることだと思います。
 - ・積極的に外部との交流や社会での多くの体験から視野を広げて学んでほしい
 - ・みんな同じではなく、自ら考え、動き、学び、育むことを大切にしてほしい
 - ・昔のような、全員が前ならえのような教育ではなく、個人の特性を、活かせるような教育が望ましい。皆と同じことができないからと言って、個人の良い面を潰さないで欲しい。
 - ・色々な可能性を試せて、色々な職種に対応でき将来の仕事探しに活かせられる学科があるといいなと思う。また都会にある専門校みたいに、目標が決まって、こういう仕事に就きたい学生向けの学校とかあれば名古屋まででなくてもいいのになと思う。
 - ・現在、県内の偏差値の高い高校は鈴鹿亀山地区ではない為、もっと専門分野に特化した魅力のある高校にした方が良いのではないか。
 - ・幅広い考え方、またそれを身近な場所から世界にも発信できる力がつけられるような授業を望みます。また、学びは勿論、学生生活に力を注げるようにいじめは根絶してください。
 - ・特殊な学科は伸ばして、他市からの入学希望を増やす。
 - ・そもそもですが、親はもちろんのこと、日本人のアイデンティティを全ての大人が教育していくもの。そこが現在の教育全てにおいて欠落していることが教育に危険であり、危機感しかない。簡潔にいうと、戦前の教育から学ぶこと。江戸時代等の寺小屋教育を学ぶこと。大人から「在り方」の背中を見せていく。
 - ・もっと専門コースが増えてもいいと思います。
 - ・もう少し専門的なコースや学科を増やして欲しいです！
 - ・専門的な知識を学べる高校をもっと増やしてほしいと思います。
 - ・普通科だけでなく専門性のある学科を増やしてほしい
 - ・専門的なものに特化すればいいと思う。今は、普通科というのは、あまり実用的ではないように思う。好きなところを伸ばす教育でいいのではないのでしょうか。
 - ・専門学科を増やしてほしい
 - ・専門的な学科を取り入れて欲しいと思います。
 - ・もっと興味に合った専門的に学べる科が、ほしい。
 - ・工業や商業が鈴鹿亀山市内にあるといいなと以前から考えていました。少子化の論点に反する意見であるかもしれませんが、統合のタイミングでご検討いただけたらどうかと思います。
 - ・学業や就職に特化した学校にするなど専門化してはどうか？鈴鹿亀山地域は商業や工業高校、大学進学に向けての高校が無い（分かりづらい）・もう少し地元で就職がきちんと出来る高校が増えて欲しい。子供が進学より就職したいと思った時もないと言わずきちんと進路を導いて欲しい
 - ・各学校で特化した教育を行なってほしい。工業や外国語、スポーツ、進学、福祉、などコースを持ってほしい
 - ・四日市や津市の高校は、商業、工業、農芸とバラエティにとんでいるのに何故鈴鹿市にはないのだろうか。

- ・工業科、商業科のある高校を増やしてほしい
- ・専門学科、専門コースのある高校への進学が人気の様に思えます。普通科だけではない専門学科の選択肢が増えると良いと思います。
- ・四日市や津にあるような新学校や、専門的な知識が得られるような工業や商業の専門科目があれば良いと思う
- ・現時点でも選択肢(高校の数やレベル等において)が少なすぎて四日市や津への進学を検討せざるを得ない。それなりのレベルの工業科商業科などあればよかったのと思う
- ・高校卒業後に就職を選択する事を考え専門的な学科をもっと増やすべきではないかと思えます。また社会でのマナーの授業や投資等のお金に関する授業を取り入れ、子供達に自分の将来を計画する思考を養った方が良いと思えます。
- ・特になのですが、専門的な学習に力を入れて、資格が取れる教育が継続していければいいなあと思えます。
- ・英語コミュニケーション・応用デザイン・システムメディア・体育 など、普通科以外の学科も少なくはないが、工業・商業科がないのは少し残念
- ・子供の進路希望が一番なので、まだ分からない事ですがもしも就職を希望として視野に入れての進学なら学力が伴えば鈴鹿・亀山地域への高校への進学は考えていません。やはり、工業・商業がないのは大きいです。
- ・鈴鹿市にも工業高校を作ってほしい。今ある学校に併設など。
- ・少子化が進んでしまうとは思いますが、選択肢を減らさないで欲しいです。鈴鹿市は他の市に比べて高校の数が少ないので、できれば鈴鹿市内にも工業や商業や農業系など専門性のある高校の数を増やして欲しいです。
- ・津市や四日市市、桑名市まで行かなければならないため、商業系の学科や工業系の学科、看護科等の専門的な分野を学べる高校を鈴鹿亀山地域にも増やしてほしい。
- ・専門的な資格が取れる学科、看護、工業系の学校をつくってほしい
- ・鈴鹿、亀山地域の高校は現在、工業高校の様な専門科がありません。専門科の設立を考えたらと思えます。それか、鈴鹿高専のレベルを落とし、ある程度の子供達が入りやすい高校にしては？
- ・中高一貫校があれば良いのになと思います。
- ・小規模校でもいいので、愛知県のような中高一貫教育の公立高校を新たに設置するのはいかがでしょうか。鈴鹿亀山地域では大学進学の為の学習に力を入れた、いわゆる進学校が少ないと思えます。
- ・高校だけの改革に留まらず、中学を含めて中高一貫教育の議論をすべきだと思います。学力の底上げにも繋がるのではないかと考えます。公立の中高一貫校がないのは、三重県とあと2県しかなく、教育面で他の県に比べて出遅れていると考えます。早急に議論していただきたい課題であります。

◎学力に関する内容

- ・高校を選ぶ際、学力が上か下かで真ん中がないとよく聞きます。中の成績の子が行く学校がもう少し増えると良いかなと思います。
- ・経済的理由で県立高校を選択する人は少ないと思います。今現在受験を考えている県立高校も今年定員を減らしたと噂で聞きました。学力的に志望校も限られており、県立高校に行けるのか心配です。
- ・白子高校と神戸高校の間ぐらいの偏差値の高校がほしい
- ・学力にあった各レベルの高校を残して欲しい。私立鈴鹿高校でもいいが、交通の便が悪く、通いにくい。
- ・三重県自体の学力は全国的にみて、まだ低い方なので学力の向上にご尽力して頂きたいです。
- ・進学、就職に関わらず、もう少し学力を高めてほしい。

- ・学力での選択となると神戸と白子の間が無いので市外か私立の選択となる。また、鈴鹿市内では商業・工業系の選択肢が無い。
- ・大学へ進学できる高校が少ないように思う。
- ・高校を統合することになると、高校を選ぶ選択肢も少なくなります。1つの高校に様々な勉強ができるコース(ハイレベルな学力を身につける、基礎学力を身につける、就職に向けた資格所得ができるなどのコース)を設けるなどして、子どもたちが遠くの学校に通わなくてすむような学校作りを考えていただきたいと思います。
- ・もう少し、レベルの高い学力の学校があって欲しい。
- ・現状は神戸高校かそれ以外でしかない。神戸高校以外の高校の学力の底上げが必要と感じる。
- ・大学進学をめざし、学力の向上に力を入れてほしい。
- ・大学受験を考えた時に魅力的な高校がない
- ・もう少し学力アップに力を入れて欲しい。近隣市町よりかなり劣っていると思います。
- ・鈴鹿市、亀山市の学力低下を、他県並みに上げる為の授業内容の変更を切望します。
- ・県外の大学に通用する学力の保障。
- ・鈴鹿市内の高校の偏差値レベルをを上げるべきである。いわゆる、進学校と言われる高校が津市、四日市市に多いため選択肢が狭まるから。
- ・これからは少子化でほとんどの生徒が大学に行く時代になっていく。海外では大学が、当たり前です。日本の学力維持向上を目指してください。
- ・三重県の学力は全国で見ると低いと聞きます。学力を上げる取り組みをしてほしい。
- ・神戸以外の高校の偏差値、学力が低くて入試の選択肢に入れづらい。将来性を考えて、学力アップに力を入れて欲しい。進学校を増やした方がいい
- ・三重県内の高校の学力レベルはあまり高くないと思われま。ただ勉強するだけの学校ではなく考える力が身につくような経験ができる環境をつくっていただきたいと思います。
- ・14で答えた通り、学力が上がるよう改善していただきたい。
- ・大学に進学しやすい環境をととのえてほしい
- ・神戸以上クラスの学校作るべき
- ・学びのあり方とは、難しい質問に思います。少子化は、鈴鹿地区だけの問題でない為です。県内の私立と公立の学校とのバランスもあると思います。その中でどのレベルの学校づくりをしていくかが重要に思います。
- ・鈴鹿地区で学力がハイレベルの学校を作れば他地域に流出が少なくなると思います。統合することで学力低下しもっと他地域に流出する可能性がある。通学の際交通の弁が悪いところが多いところが多く通学時間がもったいない。
- ・鈴鹿地区にはレベルの高い学校がないから、他の市の学校に生徒が行ってしまう。学校数は減っても、私学のように学校内でレベル別にランク分けするなど、皆が地元の学校に通いたくなる方法を考えて。
- ・偏差値だけが全てではないが、どこも普通科の偏差値が高くないから賢い子はみんな市外に出ていってしまう。諦めずに頑張って課外授業などで学力を上げていかないといけない。専門的な科ではいろいろチャレンジして行ってほしい。統合する方が楽なのはわかるが、まずは市内市外の子に行きたいと思わせる学校にするべき。
- ・三重県は学校数が少ない上に、鈴鹿亀山地域は学力の差が激しいため学校選びが大変難しいです。鈴鹿亀山地域では選べず、やむを得ず四日市や津まで通学しなければなりません。
- ・津高校や四日市高校に並ぶ進学校を作り、津市や四日市市まで通学しなくていいようにしてほしいです。
- ・鈴鹿、亀山地域の高校は進学校が少ないように思う。大学進学を考えると、市外の高校に進学してもらいたいと思っている。
- ・鈴鹿には、神戸しかいわゆる一般的な進学校がありません。進学校希望だと四日市や津に流れて

いきます。進学に向けた神戸以外も変えてほしいです。

- ・普通科高校から国立大学進学を目指すとなると、鈴鹿亀山地域の高校よりも、四日市、津の高校への進学を考えます。そういう意味では鈴鹿亀山には行かせたいと思う高校がないので、大学進学に強い高校ができるといいと思います。
- ・四日市か津に行かないと賢い学校がないイメージ
- ・親の世代から津や四日市の高校に進学する傾向があり、偏差値も昔とさほど変わらない。そのため、私立も視野にいれている親もいる。スポーツも強い高校も目指してほしい。マイナースポーツ競技も含めた高校があれば望ましい。
- ・偏差値の高い高校は四日市や津方面に多く、この地域は少ないように思えます。大学への進学も期待できるような高校がもっと増えて欲しいです。
- ・進学を希望する場合、この地域の県立高校では選択肢が少ない。進学に特化したコース等の設置
- ・鈴鹿亀山地区の学校は学力が高い高校がないので、津や四日市に行くしかない。
- ・津市や四日市市の高校に生徒が流れないように、鈴鹿市高校のレベルをあげて欲しい
- ・特に成績上位層が、四日市や津に進学することが多いので、鈴鹿の県立高校も成績上位層を取り込むような授業内容や進学指導の充実などにもう少し力を入れてほしいです。鈴鹿市の教育レベルは非常に低いと思います。
- ・大学進学を考えると今の状況では四日市市や津市の高校に行かないといけないので、鈴鹿市にも進学校を設置してほしい。
- ・市内には、進学校と呼べるような県立高校がなく、現状では、津市や四日市市に通うしかないので、特化した高校を作ったほうが、より通学しやすくなる。
- ・この地域には四日市や津に並ぶ学力高い高校がない様で残念に思うので、レベルアップしてほしいです。
- ・鈴鹿、亀山の高校のレベルが上がれば津や四日市からも入学するのではないかと思う。学力の高い子は津や四日市に行ってしまう。
- ・時代に応じた柔軟な対応は必要であるが、基本的な学力を身に付ける教育はブレずに行ってほしい。
- ・統合するにしても、学力に合わせた学校の配置が必要だと思います。
- ・同レベルの学校をいくつも存続させることに疑問を感じる。閉校も考えるべき。
- ・偏差値が高い高校が少ない印象。近くでも頑張っ目指したい高校が増えると励みになりそうだと思います。
- ・他地区に比べてレベルが固まっていると感じる

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・楽しい学生時代を送れるように
- ・人として、優しさや思いやりが素直に行動できる大人になって欲しい。先生の為の学校ではないこと、子供達のやってみたい、やりたい、こうなりたいという気持ちを育む接し方をして欲しいと思います。
- ・県立高校と、県内の企業、市町村が協力して県立高校から先の進路、子供達の選択肢がひろがるようにして欲しい。部活も軽視することなく、健全育成につなげてほしい。
- ・勉強意外に、社会的なマナーも学ばせて欲しい
- ・他府県出身のため、よくわからないのですが、子供に向き合う学校であってほしいです。
- ・時代が変われば教育の内容も変わっていくのは当たり前ですから、新しい試み等についてはどんどん積極的に取り入れて行ってほしいです。最近アルバイトをする事が難しいと耳にしました。私個人の意見としてはアルバイトも大きな社会経験、学びだと思っているので、学校としては悩みのタネかもしれませんが、休みの日だけなど条件があってもいいので、許可をしてもらえるといいなと感じています。

- ・希望や夢や目的など、各自が持って挑戦できるようにアドバイスできる教育をお願いしたいです。否定や人を批判しない、個人を潰さない。人を応援できるような声かけなど、モチベーションが上がるような学校の雰囲気を出せる教育場を目指してほしい。学校も会社も同じだと理解させていくのはどうか
- ・進学か就職かによって高校3年間で身につけるべきスキルは違うと思うので、勉強以外の必要な経験も認めて成長させてほしいと思います。バイト経験や社会にスグ出るからこそそのメイクや身なりの自己判断出来るチカラも早く身につけさせてあげたいと思います。学生の間には経験出来ない集団で何かをやり遂げる楽しさも体験してほしい。この高校はこの強みがあるから通いたいと思える各高校の個性が中学生や保護者に分かりやすいと選択肢も増え通うための努力もしやすいと思います
- ・先生とたくさんコミュニケーションをとって、勉強する楽しさを学び、社会に貢献できるような人に成長してほしいです
- ・どの生徒も楽しく学べる場であって欲しいです。
- ・生徒一人一人と、きちんと向き合って欲しい。大変なこともあるかと思いますが、意見を聞き、真剣に対応してくれるとありがたい。
- ・増加する不登校生、発達障害などのサポートが必要な生徒を受け入れる別の学校、施設がもっと増えるといいですね
- ・子供の数が少なくなる分、義務教育では無くなるが、一人一人に寄り添った教育をしてもらえたら嬉しい。
- ・高校数は減るかもしれませんが、それぞれ魅力のある高校作りをしていただきたいです。
- ・子供達みんなが学校楽しいって思える所にすべき
- ・人数が減少するなら、それに伴い教師数を減らすのではなく、ひとりひとりに寄り添った教育を望みます。
- ・社会で自分らしさを発揮しながら生きる力を身につけるために、教育の充実を期待します。
- ・小学校から中学校、中学校から高校と親が学校に行く機会や親同士の横の繋がりも減り、周りの環境も分りにくくなっているのが心配な面もあります。子供達にとっては学校内での絶対は先生だと思うので信頼し合える関係性でありながらも色々な学びになればいいな、と思っています。
- ・マナーを守る学生、社会に出ても恥じる事のない様に社会に流されないようにしていきたい。
- ・それぞれの高校ならではの強みが、それぞれにあれば良いと思う。
- ・子供達一人一人に寄り添い先生と生徒の距離が同じ目線での教育、指導を望みます。
- ・小規模での学びもある意味、いい部分もあるのかもしれませんが、たくさんのお会いや関わりを経て、社会人として社会に出るにあたり、コミュニケーションは大事だと思っています。聞く、話す、関わるなど、普段から地域の方、先生方、仲間、家族など、いろんな人との関わりを大切にしてもらいたいです。
- ・県立高校でも私立高校でも、学力や部活動、充実した施設を備えて子供達が行きたいと思える学びの場にしていただきたいです。
 - ・少子化になってきているので、学校の数が減るのは仕方がないと思う。統合しても子どもにとって、学びやすい環境や楽しい学校生活が送れるような工夫をしてほしい。
 - ・このアンケートが「統廃合」ではなく「統合」に限っているのが気になる。通学手段他ともなる・公共交通機関の充実が必要。卒業生が母校を誇れる学校作りをして欲しい。学科などで特徴を出すのではなく、校風や学生主体のイベント活動を通しての充実感など、心にのこるものを。
- ・私自身生活に必要なことをたくさん学んだので、生きていく上で重要な事を学ばせてほしい。だんだん ICT 化がすすんでいるが視力の低下や、コミュニケーションの取り方が分からないなど共に働く若い層に見られるので、言葉のつかいかたなどを学ぶべき。
- ・各子どもが持つ長所を見つけて、得意なものとしてさらに磨けるような学び方をさせてほしい。自分から意見を述べる場を増やす一方で、周りとの協調性も身につけてほしい。

- ・採用をする部署に勤務しているため、自分の子が就職する際はきちんと受け答えや行動に移せるのかと心配になります。そもそもの予定をきちんと伝えられなかったり、質問した内容を理解できないのか曖昧な答えでしか返せなかったり、せめて入社試験の面接は何度も練習させてもらえるような、教育が幅広いものだと良いと思います。
- ・主体的に考え行動できるように、まわりの人に思いが馳せられるように人間性も大切にしてほしいです。
- ・社会に出る準備として多くの人との関わりをもたせたいと考えており、高校は少人数の編成より、多くの生徒が集まる場であってほしい。
- ・学校の人数が少ないならば、その利点を活かし、自由な学びの場、指導者との関わりを濃くして欲しい。人数が少ない、指導者もそれに比例して少ない、は、今の酷い指導現場と変わらない。私立のような手厚い関わり方を求めたい。県立に行かせる意味が、安い、だけでは、つまらない。
- ・小学校、中学校に比べるとあまり手厚くない。いじめに対しても親身に対応してもらえないのでは？と感じる。教育やいじめ問題は自己責任といったイメージがある。
- ・親としては、レベルや風紀のよいところにいれたいと願う。生徒は少なくとも先生の数も、配慮いただいてよい学びが受けれる学校の選択肢が増えるといいとおもう
- ・個人の個性が活かせるように、寄り添う力が必要と思う
- ・個々がもっと自由に将来の道を選べるよう、スポーツでの公休の定めの見直しや幅広い経験ができるような課外授業などもっと力をいれてほしい。小学校在学の時点で県立高校、私立高校の紹介があるといいと思う。
- ・先生の数も増やし、子供1人1人に向き合って指導をお願いしたい。
- ・誰もが入れる学校があって欲しい！頭の良い子、悪い子、全ての子供が高校生活ができる様に、子供の人生を幅広く、色々な体験をして欲しいと、思います。
- ・しかるばかりでなく、メリハリのある先生の教育や、不自然で意味のない校則をなくしストレスなく教育できる環境。
- ・高校側の押し付けがなく、子どもの選択した進路を尊重してほしい。
- ・異常気象や自然災害も増えているし、不登校の子や発達に遅れがある子なども取りこぼさないように、リモートやAIなども活用して柔軟な授業の体制を確立してほしい。
- ・子どもたちが、楽しく、自分の好きなこと、したいこと（夢）を全力で楽しめる、実現できる大人になれるよう、青春謳歌してほしい。
- ・特色を持つ高校が複数校あり、さらにその高校の生徒同士の交流をつくれば、多角的な視点で世界が見えるようになり、学力だけでなく様々な力をつけることができると考えます。今は将来に向けて様々な可能性が広がっています。そのいくつもの選択肢を身近に体感できる高校があれば、子どもたちの無限の可能性を広げることができると考えます。
- ・個性に合わせて親身になってくれる先生の前、学んで欲しいなと思います。勉強ができない子にも光が当たるような教育を望みます。
- ・現在亀山高校に長子が通学しているが、色々な面で今の高校は親切だなと思う。今後進学を希望しているようなので、いろいろお世話になります。
- ・学校も大変だと思いますが、子供たちや県のためにも今後ともよろしくお願いします。”
- ・少子化や教員の確保、時代の変化に応じた対応が求められ、教育現場は大変になっていくと想像します。大変さや苦勞が美德とされがちですが、苦しくないよう、楽をしたり近道をしながら学びを与えてくだされば…と思います。いつも豊かな学びをありがとうございます。
- ・運動部の顧問について、実績があるという事でそれぞれの顧問としておられるが、指導のあり方に問題があがってもそのポジションにいれる体制はいかがなものか。声をあげても変わらないという大人の姿が学びの場所であってはいけないと思います。
- ・少子化の問題もありますが、最近では団体で一括りではなく、個人個人への対応が求められているように思います。教師から生徒に対しても個々の対応を求められることが多く、親の要望も昔

より細かかったり、時にはモンスターのような親もいると思います。私自身も自分の子供を先生に団体の一人ではなく個人として見てもらいたい気持ちはありますが、そのためにも先生の負担軽減は必須だと思います。先生自体の数も減っているかもしれないですが、生徒数が少ない学校を全て維持しようとする先生方の負担が多くなるのでは？と感じます。実際は統合と負担軽減の関係がわからないので何とも言えないですが、子供の数は確実に減ると思うので、人数に合わせて統合はしてもいいと思います。

- ・部活動の規模を縮小させることで子供の学びの場は減っています。教員の労働時間を考慮した上で、教科メインに教える教員と部活の指導員は外部ではなく授業数の極端に少なくした教員(担任を持ってなくても良いなど)を配置すべきです。学校に属すからこそ子供の日常にも寄り添え学校事情も分かる人でなければ、単なるスポーツ塾のようになり、お金のあふ家庭しか部活が出来なくなるのは日本国が求めている人材教育から離れるように思います。この地域がぜひモデル地域になれるよう教育配置や授業の持ち方を含め、高校の配置もご検討頂きたいです。元 教員より
- ・魅力ある学校づくり。進学、就職などに有利。野球強豪校
- ・勉強や部活、その他にもいろんな経験が出来る環境が良いです。
- ・部活動は必ずあって欲しい。
- ・鈴鹿亀山に限らずかもしれないが、運動部について、学業を妨げるくらい練習や試合が多いと感じる。進学を目指すなら運動部であっても将来を考えたなら今勉強時間の確保は必須だが、部活に入ってしまったら断ることもできず、時間を部活に割いてしまう現状があるので、改善してほしい。
- ・部活の強豪、身につく専門性など、他市町に比べて薄いように感じます。
- ・白子高の吹奏楽や三重高ダンス部など強豪校と言われるほど部活動に力を入れてほしい
- ・発達グレーゾーンの息子を持つ私としては、高校も色んな子供たちに寄り添える学習支援や就労支援、コミュニティ支援を増やしてほしいと思います。そして、その子の個性を伸ばしてほしいです。少子化だからこそ、出来ることが沢山あると思います。
- ・週に数回登校したら良い県立高校もあってほしい。交通の便が悪かったり、毎日は登校が難しい子が今は通信高校しか選択ができない。通信高校は増えつつあり、今後はどんな立ち位置になっていくのかは分からないが、なんとなくただ高校卒業資格を取るためだけに行く学校のイメージがある。途中で学校に行けるようになってもう手遅れの状態である。義務教育ではない分、当然であるとは思いますが、実際ほとんどの子が高校までは卒業する世の中なので、高校ももう少し体制を変えてほしい気はします。(我が子が行く気は持ってもなかなか行けず不登校なので、あと約1年で義務教育が終わることに不安を感じています)
- ・うちの息子はLD。書字障害があります。黒板からノートへの書き取りがとても苦手なのでパソコンでの書き取りやテストもパソコンで出来たらと思います。そしてそれを息子だけじゃなしに全員がその選択肢をとれる環境作りをしていただくことが平等な支援、平等な教育なのではないかと思います。自分だけがしてもらおう。と周りの目がどうしても気になるのでみんなが同じ選択肢をとれることで学ぶことが楽しくなると思います
- ・私立にはない魅力を出してもらえると嬉しいです。
- ・学校独自の強みになるものが見当たらない
- ・それぞれの高校に良さがあり、子どもたちが生き生きと3年間学べるように、高校はなくさないでほしいです。
- ・各校の特色を活かして選択肢を増やして欲しいです。
- ・それぞれの校風に、特徴を持たせてもらえたら良いと思う。
- ・もっと私立のように、特色のある魅力ある学校にすべき。月謝以外に魅力が必要ではないでしょうか。建物、設備等や、進学、就職含め、私立に負けないようにすれば、県立高校を選択者も増えるのではないのでしょうか。

- ・まだ高校に行っていないので、現状がわからないが、温暖化にともない、エアコン管理は必須であると思う。また、飲み物に困ることがないようにしてほしい。

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・少子化もわかるが、高校数を減らすのは反対です。学級数が減るのは仕方がないとは思っていません。
- ・置いてきぼりを恐れる世の中だと思うので、学年人数より学級人数に焦点を合わせていいと思います。知らない同級生がたくさんいるより個を認め合えるクラスメイトと担任の先生で、高校生の世界はよくも悪くもガラッと変わると思います。
- ・小規模になるならなつたで、そのメリットを最大に生かして、きめ細やかな指導をお願いしたい。また、これからの社会を生き抜く上で必要な力が身につくような教育を期待します。それは、小規模、少人数のほうが実現しやすいのでは？と素人ながら考えるところです。
- ・1学級を40人から減らし、クラス数をある程度キープするという方法もあるのでは。少子化の影響で子供たちの選択肢が狭くなってしまふのは心配。
- ・人数の少ない地域に住んでいるので、社会で働く前に高校では色々な人と出会って欲しいと思っています。そのため、1学年のクラスは多い学校をとっています。
- ・公立高校に進みたい生徒が多い中、時間の合否で仕方なく私立に進む生徒もいるため、もう少し公立の高校に進める枠を増やしてほしい。

◎学校選択に関する内容

- ・すべての学力に対応した学校が市内にないから市外に行かなくてはならない。すると通学に時間がかかってしまう。現在学校選定に苦戦中
- ・子どもが進路を考えるときに多様な選択肢があつてほしい。
- ・色々な人生の選択肢を子供たちに提供してあげてほしいです。卒業後に就職することもあるので、社会に出てからの最低限のマナーはこの時期に身につけてほしいです。アルバイトは学校生活では学べないことを肌身を持って経験できるので積極的に認めて欲しいなと思います。
- ・現在の少子化問題によりやむおえない面もあるが、校数があり、生徒側にも選択出来る様にあつてほしい。一方で都市部との教育レベルがちがうと将来子どもが困るので、バランスの必要と考える。

◎通学に関する内容

- ・亀山関地区から鈴鹿への通学が不便なため、スクールバスがあつても良いのではないかな。思春期の心の問題や発達障害等の生徒への対応を手厚くした方が良いのではないかな。
- ・生徒が集まらないのはそれなりの理由があるのでは？せっかく「あり方」について検討するなら、子供たちが「行きたい」と思える魅力ある学校作りをお願いしたい。駅の近くに移転、最寄バス停の設置、バスコースの充実、バスの増便など交通の便も考えてもらえると、鈴亀地区以外への流出が減るのでは。(四日市や津の方が電車で通いやすい現状がある)商業高校、工業高校がないのも鈴亀地区以外への流出要因のひとつだと思う。
- ・あまりにも減るとこれからの子たちが高校に距離や時間、学力などで市街などに出ていく可能性もあるから、それを考えに含めて統合を考えてほしい。そして、今年以降にも保護者の意見も聞きてほしい。
- ・スクールバスなど、交通網を充実して欲しい。
- ・スクールバスとかあれば、統合もしやすいのかな…。
- ・近くに学びたい高校があれば助かるので続けてほしい。
- ・進学校のある地域に偏りがあるため各地程よい距離に進学校が配置されるとよい。縮小されるな

ら学力のバランスと各校の距離感を考えた統合にしてほしい。学力に見合った高校へ行くために通学時間が長くなるのは時間が勿体無いと思う。

- ・統合において 登下校が負担になることのないよう公共交通機関と連携して進める
- ・教育とは離れますが、Q14 の回答を進めるに当たり、通学のしやすさも配慮頂きたい。勉強時間の確保は子供の学力に直結すると考えます。
- ・子供達に通学時間や選択範囲の減少等、負担が最小限になる様にして欲しい。
- ・各校で特色を出して欲しい。通学距離が長くなる可能性があるため、遠方生徒にはスクールバス、原付通学許可など救済措置が欲しい。
- ・鈴鹿亀山は通学の不便が多いに見受けられます。学びのあり方の前に子供の学力にあった所に行かせたくても通学の不便が引かかる。もう少し交通環境を見直して欲しい。

◎地域に関する内容

- ・子どもたちが学びたいことを地元で学んでほしい。
- ・統合することによって、鈴鹿亀山地域の高校生が地元で活躍できることへと繋がりますように。
- ・家から近い鈴鹿亀山地区で学んでほしい思いはあるが、子どもの話や周りの意見を聞くと四日市の高校に魅力を感じる子が多いという話をよく聞く。鈴鹿亀山地区が良いと思えるようなアピールを各学校がもっと打ちだしていくことで他市の方達も来やすくなるのではないかな。
- ・地域に住む子どもたちが、他の地域の学校に行かなくてもすむような魅力を持っていてほしい。
- ・魅力的な高校が無いように思う。実際私も上の子も鈴鹿に住んでいながら他地域の高校に進学した。
- ・鈴鹿亀山にある高校は地域の人しか行かなく、地元にある高校に魅力を感じない生徒が四日市や津にある高校に流れているイメージがある。他地域の人も通いたいと思えるような魅力的な高校を統合などをしても作っていった方がいいと思う。
- ・鈴鹿亀山地域の県立高校の質がどれほどのものかほとんど知りませんが、知らないなりに想像するに、今のままでは市外の学校に行ってもらいたいと漠然と思っています。
- ・地域の企業と協力し、卒業後地元で就職する魅力が伝われば、地域活性化につながると思う。
- ・地域との結び付き。今の時代にあったニーズにあわせた学び方法。
- ・地域ならではの教育があったら魅力的だと思う。
- ・実際高校は、地元で何となくと思いがちです。が中学校のうちから本来考えなくてはいけなくて、目標を持った生徒がきちんと進むべき場所に行けるか、行けないか。目標を持たない人間も取りこぼすべきではない場所です。中学受験から高校や大学までエスカレーターもありです。が地元ではないためあるのかも分かりません。情報の提示が小学生からあってもおかしくないと思います。どんな就職先を持っている高校があるか何を学べてどんな資格が取れるか、など地元ではないので他県民からしたらわかりません。こちらから調べるではなく、アピールするべきです。
- ・県立高校に市外からもきてもらえるためにを現高校生に意見を聞き、今後反映してはどうですか？
- ・四日市高校を希望する津市在住の生徒が増えてきていると感じる。鈴鹿にも他の地域から来たいと思える高校を増やしてほしい。
- ・本気で取り組むなら、津市や四日市に学生が流出してしまっている対策に取り組むべき。現状中途半端過ぎる。
- ・鈴鹿亀山地域の活性化の為に、四日市や津の学校にはない強みを打ち出して頂きたいなと思います。
- ・鈴鹿亀山地域に不平等が生じないこと。
- ・鈴鹿は広域連合でもあり、地域ならではの色々情報を共有しつつ、学んで欲しい
- ・鈴鹿亀山だけで考えず、四日市、津も含め中範囲で考慮した方が良いでしょう。
- ・熊野地域・伊勢地域の様に、学校を残すなら分校主体として頂けるのなら納得出来る。

- ・高校無料化など県内や鈴鹿市民割など子どもに対してのお金の使い方を増やすと、もっと人が集まりそうだと思う。四日市の方が色々と子供を育てるサービスが市から充実している時点でもう遅い気がする。

◎その他

- ・うーん、グローバル化なので、その子達が学びやすい環境は大事だと思います。
- ・子どもたちの意見を重視してほしい
- ・子供の将来の事を、十分考慮して頂き、最適な、判断をして頂きたい
- ・大人の都合ではなく、子どものことを真剣に考えて、まともな教育をしてください。
- ・出来れば義務教育になって欲しい
- ・高校でも中学校と同じように選抜なしにして欲しい。選抜すると、行きたい高校に入らない人がたくさんいます。それで途中で辞める人が多いからです。
- ・高校も給食にして欲しいです。
- ・アンケートを集計した結果の公表と、どの程度反映されたか明示してください。
- ・子どもにアンケートを取る、というパフォーマンスだけでなく、子どもたちの意見を重視してください。そうすることが、結果的に子育てしやすい町となり、若い人が地元を愛し、定着することにつながると考えます。
- ・今回のアンケートで出た意見に対しての回答をしっかりと公開してほしい。
- ・少子化問題を真にうけとめ、これからの時代にむけていろいろ試行錯誤しなくてはならないと思います。このようなアンケートはいい案だと思います。
- ・アンケート目的が助長すぎて意図をくみとりにくい。質問に対する選択肢も複数の価値が入っていて正確に答えられない。
- ・質問 10 の意味がわからない
- ・今回は保護者へのアンケートでしたが、子供にもアンケートはとっているのでしょうか？子供たちの考えが知りたいです。
- ・住んでから間もない三重県の学校の特色が、そもそもよくわかっていない。
- ・鈴鹿亀山地域に特化せず、県全体のあり方を検討すべき。ミクロで論ぜずマクロで検討を。
- ・予算的に厳しいかと思いますが、私立の高校に負けない県立高校の環境整備、運営を応援しています。
- ・定時制の高校を増やして欲しい。
- ・定時制、通信高校を増やしてほしい
- ・不登校になっている子どもたちの受け皿を作ってほしい。通信制や定時制など。子どもたちが適切な環境で教育をうけるためにも、先生方が教育指導以外のところでストレスを感じることはないよう、外部委託、役割分担をして負担を減らしてほしい。これは小中学校の先生にも思うことです。
- ・リモートなどでどこに住んでいても教育が受けられる環境整備が進めば良いと思っている。
- ・1.学費の無償化(他府県で実施している様に)少子化の一因は子育て費用が、大きく又男女雇用機会均等法の設立と共に男性の働く場が減り女性が進出し結婚をしなくても生活して行ける環境が整った事と男性は正社員職を失う事となりフリーターでは、結婚して養う事も出来ない人が増えてしまい結果「少子化」を招いている要因とも成っている。政治或いは世の中の風潮が、今の少子化へと突き進んでいるのは間違いない。普通に結婚して、子供が生まれ一生懸命子育てしてきて進学の時が来て選ぶ高校が無いとなると普通に子孫を残した者に負荷の掛からない税金の使い方をお願いします
- ・無償化
- ・現在の県立高校の学びのあり方についての情報を十分に存じ上げないため、それについての意見

は特にありません。

- ・小学生の段階で高校の学びのあり方についてそのままで考えることができない
- ・おまかせします
- ・Q14と同じ

【亀山市】 (81人が回答)

◎学習面（学び）に関する内容

- ・より多くの資格が取れるような専門的分野を身につけて、社会で活用できるような学びが必須になってくるのではと思います。
- ・県立で専門的なことを学べる学校があるのはありがたい。座学だけではなく技術を学びたい子供のために、縮小／統合があるとしても、この選択肢は継続してもらいたい。
- ・現状、鈴鹿、亀山地域の高校については、進学校として選択肢に含めることは出来ないと思っている。ただ、鈴鹿、亀山地域には普通科だけではなく専門的な学科も多く見られるので、そういうところに力を入れて行くことは必要かと思う。また、他の専門的な学科（福祉、看護、被服等）についても検討してもらえれば、今後、進路としての選択肢の幅は広がると思う。
- ・高校ごとに、進学高、商業、工業、など専門や偏差値差を分けずに、地域ごとにある高校の中で、偏差値差をもうけて、その中で色々な専門コースを選べたら、わざわざ通学に苦勞して遠い高校を選ばず地元高を選べ、受験もクラス別にスライド式の合格にすれば、不合格での子供の精神的な辛さや、高校を選び直したり、私立しかないという経済的に辛い選択をしなくて済むと思う。専門コースが各高校で対応が難しいなら、別に鈴鹿亀山地域で、共通の専門の授業に対応できるセンターなどを作り、そこで一定期間バス送迎で学ぶ…等で対応できないかと思う。
- ・専門学科が希望の子、普通科が希望の子、まだ進路が決まってない子。いろいろな学びを、個々にきちんとできるように、選択科目の充実など、統合しても、各学校の特色は活かせるようなカリキュラムにしてほしい
- ・専門的知識を学べる高校を、増やして欲しい
- ・専門分野の高校。例えば音楽科とかあってもいいかなと思います。色々な才能を活かす科を増やすのもいいと思います
- ・普通科を増やすのではなく、情報や資格が取れるような専門分野に近い学科を増やして将来役に立ち、自主的に学ぶことのできるような学科を作って欲しい
- ・個々に合った学びの場の提供
- ・なくなる職種に目を向けてそこに繋がる学び資格の獲得を高校時代にできたらいいなと思います。
- ・まだあまり高校に関しての知識がないのですが、今の印象ではあまり良い印象もなく、行きたいと思う高校がないのでどうしても四日市や津市の方の高校ばかりみてしまいます。学びも環境ももっと魅力的な高校ができることを願っています。
- ・一人一人の個性や人権、多様性を尊重し多様な学びが必要だと思います。思いきった斬新な学びを取り入れて行ってほしい。沢山失敗と経験をさせて下さい。
- ・学びはみんなが平等にあるべき。それぞれの学び方が違って色んな視点からの人の声や、今通っている高校生の声を聞いて今後を考えると参考になるのではないかと思います。
- ・学校単位で交流、一時的な交換体験など一つの高校に囚われず、お互いの違いや差異を感じられる体験があると、今の自分の立ち位置がはっきり見えてくると思います。海外留学に行くことによって日本をより知るような感覚。
- ・高校は今後の進路を決定する為にとっても重要な3年間を過ごす場だと思います。学業だけでなく、社会に出ていく為のスキルも学ぶことの出来るこの3年間でたくさんの経験をして欲しいです。学びについても、主体性を持って取り組める学習方法への転換期になっていると思います。ICT

化は進んでいると思いますが、教える、教えられるという先生対多数の生徒という構図は変化しておらず主体性を持った学びへの取り組みはあまり変化がないと感じています。情報が溢れている時代、本当に必要な情報を選び取ることの出来る力を養える場であって欲しいと思います。子供達の学びの場、機会をより良いものにしていただきたいです。どうぞよろしくお願い致します。

- ・子どもが学びたいことを学べる学校であってほしい。各校のカラーを大事にして子どもが自分に合った学校の選択がしやすいようになるとよいと思う。
- ・質の高い教育を学ばせてほしい。基礎学力を学ぶだけでなく、幅広く子どもたちの意見などを取り入れて、もっと教師と生徒が信頼関係を築けるような教育の場であってほしい。子どもをおしつけるような教育の場では、子どもの成長を妨げるだけになってしまう。子どもがやる気に繋がられるような、指導者たる者賢く子どもと接してあげてほしいと思います。
- ・社会にでて役に立つ知識、資格を高校時代から取得できる学校を増やしてほしい
- ・就職、進学とどちらのニーズにも寄り添った指導を受けたいですまた、地元の企業に就職した等、このニーズには強い高校といった形でのアピールが欲しいです味な高校説明を真に受けて受験・進学し、高校に入ったら思っていた環境と違った、では大変困ります。高校選択は、子どもの人生選択の大きな材料の一つです。保護者にとっても同様、もしくは子ども以上に神経質になります。
- ・これまでの実績をまっすぐに届けてほしいです。
- ・少子化の為、独自性や就職など実績ある県立高校が選ばれていくことになると思う。
- ・職業体験等を活発にしていだけたら、(異業種を2~3箇所等々) 将来の進路選択を考える機会がひろがるかと思います。
- ・進学、就職それぞれに特化した高校など必要な学びを明確にしてほしい。
- ・数学、英語、国語などの教科の学習もちろん大切ですが、それ以外にも世の中いろんな社会を知れる機会があれば良い。例えば、自分の子どもは、世の中にどんな仕事があるのかあまり知らないと思うし、私自身が教えるにも限界があるので、学校でそういうことを教えていただく機会がたくさんあれば良いなと思います。またこれから生きていくうえで役に立つ知恵など、いろいろな人の意見が聞けたらいいだろうなと思います。
- ・専門性も含め、目的に応じた進学実績をだす
- ・働き先や、生涯やりたいことを見つけられるような学びができるといいのかも。クレカやペイペイの仕組みを学んだり、住宅ローンについて学んだり、家のメンテナンスのやり方など、生きる上で役に立つ学びも大事だと思います。
- ・特色ある学びの場を作って頂けると有難いです
- ・本人が希望すれば、県外の高校まで選択しやすくなった今、鈴鹿亀山を選択したくなるように合併したとしても多様な教育をしてほしい。
- ・オンラインでの授業参加もあっていいのではないかなあとと思います。
- ・留学を積極的に支援してほしい。

◎学力に関する内容

- ・きちんと競争して入る人数に絞り、社会で戦える学力等を身につけて欲しい。
- ・学力アップに尽きる
- ・学力の向上、維持、低下しないような学びが出来ればよいと思います。
- ・全体の学力をあげて近くて魅力のある高校にしてもらいたい
- ・亀山、鈴鹿にある公立高校が、津高校、津西高校や四日市高校程学力が高く、国公立大学入学者数が高ければ、通わせるのも近いですし、とてもありがたいのに、と思っております。
- ・鈴鹿、亀山には大学に進めるような進学校がないので、教育のレベルを上げてほしいです。
- ・鈴鹿亀山地域には、偏差値が高い高校がとても少ないと思うので、もう少し偏差値が高い高校が増えてほしいと思います。
- ・亀山高校と神戸高校の中間レベルの普通科がないので、普通科希望の人は選択に困る。

- ・ 亀山市の学力が低すぎる。小学校の時点でもっと宿題を増やすべき。また、時間を測ってする宿題も以前はあったが今はない。目に見えて結果が出るので良い宿題だったのでもっといい。鈴鹿、亀山に1つは進学校ができれば次第に移転する人も、将来の子供の子育てでもここでしょう、と感じる未来が来ると思う。鈴鹿は大型イオンがあるだけで正直治安はよくないと思っている。
- ・ 高校にもよりますが、就職ならいいが、進学するのに今の鈴鹿亀山の高校は難しいと思います。
- ・ 思考力に関してが私立中高生徒よりかなり劣る。共通テストが難化した年に共通テストの数学が解けなくて、県立高生の半数以上が泣きながら出てきたり、親に泣きながら電話をしているのを見て、県立高では不利だなと痛感した。県立高で思考力の取り組みをたくさんしてあげてほしい。
- ・ 大学進学を目指す場合、進学校や進学コースは塾に通う前提ではなく、それなりの教育内容であってほしい。
- ・ 義務教育ではないため、小学校や中学校のようにみんなが同じ学校へとするべきではなく、ある程度学力による別はあったほうが良いと考えます。その上で統廃合を考えていただきたい。
- ・ 三重県が統合する事ならば、学力の差をなくしたらいいと思う。
- ・ 統合よりも、それぞれの学校の学力などの差別かが大切だと思う。学年の人数を減らしつつも、進学を目的とする学校。就職を目的とする学校、それによって必要な知識は違うと思う。今後の子どもたちが必要とするものを学べる方針作りが大切だと思う。
- ・ 偏差値で学校を分けるのではなく配置を考慮してある程度範囲を広げ受け入れしてほしい

◎学校生活・部活動に関する内容

- ・ 学校にもよりますが社会に出て長く続かない子が多い、社会で生きて行けない子が多いと思います。やるべき事をしなかったり、怠けたり、すぐ投げ出したりして最後には退職。社会を甘く見すぎている。我武者羅や根気やら我慢しろとか古臭い事は言わないが自分で考える力、理解しようとする力が乏しい。社会に出た時の怖さや自分の力の無さをもっと感じるべき。学力も大切ですがそういった所も深く教えていただけたらと思います。
- ・ 今と昔では人とのつながり方が難しくなっていて、個人についてのあり方を見つめ直す機会を増やして頂けたらと思います。
- ・ 今の世の中で生きていくために子供達には可能性を広げさせてあげたい。個人を活かせる学校づくりや学びの場を提供してほしい。自分の意見をしっかりともてる大人になってもらいたい。
- ・ 勉学も大事ですが、生活指導などにも、しっかり目を向けていただきたいです
- ・ 礼儀やあいさつはもちろん心を育てる教育も大事にしてほしい
- ・ 多方面からの人間が集まるような学校で、いろんな経験をしてきた子たちと触れて、学校生活を送って欲しいと考える。私立のほうが、この状況に近いと思う。県立は、以下のことがネックと考える。昔の群の考えが残っており、他地域の普通科を行けない？現在の仕組みが変わっていればいいですが。交通の便が悪い。JRや伊勢鉄道は、不便。利用者数を考えると仕方ないことと思えます。
- ・ 高校で学ぶことの意義や子供から大人へと移行する大切な時期のため、特に子供たちの精神面への支援をお願いしたい。
- ・ 小中学校でも不登校の子がたくさんいます。その子たちが高校に進学するにあたり、県立高校も選択できるように増やしてもらえ、支援していただけるようになると良いと思います。
- ・ 上の子が県立高校に通っていた際に感じた事ですが、高校は義務教育ではない為、不登校になった場合すぐに切り捨てるような対応があるとききました。今、不登校になる子が増えており、高校は通信制に転校すれば良いとすぐに切り捨てるような対応は改善したほうが良いと思う。転校する生徒が多い高校は学校の体質に問題があると思う。なるべく不登校にならずに通える環境作りに取り組むべきだと思う。子供の人生に寄り添う考え方を学校側がもう少しするべきだと思う。高校にもよるとは思うが、全体的に教師の熱意が感じられず平気で生徒に対して理不尽な言動をしている方がいると感じます。小、中学校の先生に比べると、対応が悪いと思う。特に口コミ、評判の悪い高校は問題が多いと思うので対策など実行して頂きたいと思う。
- ・ 給食があれば嬉しい
- ・ 制服を廃止している学校が増えている。家計の負担にもなっているので制服を廃止してほしい

◎学校規模（人数）に関する内容

- ・ 1学級40人ではなく、少人数学級でもいいのではないかと考えています。

- ・個人的には、クラス数を減らしたり、ひとクラス 30 人とかにしたりして現行の学校数は維持して欲しいと思っています。イベント等学校間で話し合い、共同で行ったり、体育祭とか学校対抗にしたりしてもいいのではないのでしょうか。少子化をマイナスばかりにとらえず少子化だからこそ出来る事も模索していかなければいけない時代になってきているように思います。教育に関しても少数のほうが目が届く事もあると思います
- ・個別指導とまではいかないにしても、少人数クラスで授業を受けたかったという思いが、高校生の時の私にはありました。ですから、少人数で授業を受けることができるのであれば、高校の統合もありだと思います。
- ・今後、生徒数が少人数になるのであれば一人一人に合わせた教育・指導等も充実できるのではないかと思います。
- ・生徒数が少なくなってしまうのが、どうにか子どもたちが社会に出る前段階として学べるように工夫していただきたい。地域や市、県、国で協力していただきたい。
- ・地元、亀山高校のクラスや人数を増やすと欲しい
- ・比較的小規模（2～4 学級）を 1 学年とし生徒 1 人ずつと向き合う環境が良いと思う。かといって 2 学級を下回ると、小規模すぎるので統合しても良いと思う。

◎通学に関する内容

- ・亀山、鈴鹿間の交通の便を良くする必要があると思う。鈴鹿の高校が、いいと思っても、行きにくいので、候補から外してしまう。鈴鹿の公立にもう少し偏差値が高い高校が欲しい。
- ・亀山市からはまず JR しか通学方法がなく電車の本数が少なくまた車両も少ない。関西線にいたってはすぐ運休になり何度も学校または駅に迎えに行くこととなることをなんとかしてもらいたい
- ・鈴鹿や亀山は通学が困難な高校が多いです。バイク通学が可能になれば市外からの生徒も増え交通費等や親の送迎負担も減ります。通学時間にも余裕ができ生徒の気持ちにも余裕ができると思います。

◎地域に関する内容

- ・子どもたちが、鈴鹿亀山以外で魅力がある学校へ行くことも多いと思うので、鈴鹿亀山でも魅力を感じられる県立高校になってほしいです
- ・市外や私立よりも魅力あることを発信して鈴鹿と亀山の高校を活性化してほしい。
- ・統合して総合学科がある高校にしたり、子供たちが鈴鹿亀山地域の高校に進学して将来地元で就職したいと思ってもらえるような地域にしてほしい。子供たちの意見にも耳を傾けてほしいです。

◎その他

- ・5 年生の親なので、高校についてはまだまだ先のことのような気がしており実感がわからないのが正直なところで、すみません
- ・Q14 の回答そのままです。
- ・まだよくわかりませんが、子供達のために頑張ってもらいたい。
- ・県立高校には通っていない（兄は私立）なので県立高校がどのような教育方針なのかという細かい情報がないので答えようがない
- ・時代の変化に対応したカリキュラム、教職員の意識改革を。
- ・他の市からも来てもらえるような学校であってほしいそして統合を回避してほしい。

「鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート」について

鈴鹿亀山地域の公立中学校2年生・公立小学校5年生の保護者のみなさんへ

令和6年9月 鈴鹿亀山地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で地域の生徒・保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の公立中学校2年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

【資料】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとしており、鈴鹿亀山地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和7年度の鈴鹿亀山地域の全日制県立高校1年生の総学級数（定員）は、6校で28学級1,120人となっています。

- ・神 戸（7学級280人）
- ・飯 野（4学級160人）
- ・白 子（6学級240人）
- ・石薬師（2学級80人）
- ・稲 のう（4学級160人）
- ・亀 やま（5学級200人）

○令和7年3月から21年3月までの中学校卒業生数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他地域との流入などを考慮して学級数を予測すると、15年先の令和21年度にはおよそ15～17学級となり、令和7年度の28学級と比べて11～13学級減少が見込まれます。

	令和7年3月	令和10年3月	令和21年3月
中学校卒業生数	2,267人	2,117人	1,518人
総学級数	28学級	25学級程度	15～17学級程度

※中学校卒業生数：令和7年、令和10年は予測値、令和21年は地域の出生数

（参考）これまでの協議会の概要や配付資料については、下記のHPをご覧ください。

R5第1回協議会
(R6.1.24)



R6第1回協議会
(R6.7.29)



鈴鹿亀山地域の県立高校に関するアンケート《質問用紙》

- 二次元コードを読み取り、Webアンケートに回答してください。
- Webアンケートによる回答がむずかしい場合は、回答用紙をご利用ください。



Web アンケート

- 1 右枠内のIDをお書きください。
- 2 右枠内のPWをお書きください。
- 3 現在の居住地はどこですか。
① 鈴鹿市 ② 亀山市
- 4 あなたのお子さんはどちらの学年ですか。※両方の場合は、2つ選んでください。
① 中学2年生 ② 小学5年生
- 5 あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。次の中から1つ選んでください。
※両方の学年にいる場合は、上の学年でお答えください。
① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人
⑤ 121～160人 ⑥ 161～240人 ⑦ 241人以上
- 6 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。次の中から6つ以内で選んでください。
① 学びたい学科やコースがあること
② 確かな学力を身につける授業が充実していること
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること
⑤ 地域と連携した活動が充実していること
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること
⑩ 通学のしやすさ・距離 ⑪ 学校の雰囲気・イメージ
⑫ 施設・設備の充実 ⑬ 進学・就職の実績
⑭ 自分の適性や能力 ⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見
⑯ 学費などの経費負担 ⑰ その他（質問7の自由記述へ）
- 7 質問6で「⑰ その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。
- 8 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。次の中から5つ以内で選んでください。
① 自ら学び続ける力が身につく教育
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育

- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（質問9の自由記述へ）

9 質問8で「⑭ その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

10 お子さんが進学する高校の1学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。質問6の「高校を選ぶときに重視する点」と質問8の「高校に期待する教育」の回答もふまえ、次の中から1つ選んでください。※高校の学級は、1学級40人を基本としています。

- ① 1学級（40人）
- ② 2学級～3学級（80～120人）
- ③ 4学級～6学級（160～240人）
- ④ 7学級以上（280人～）

11 お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

12 将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町）
- ② 地元以外の鈴鹿亀山地域
- ③ 鈴鹿亀山地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
- ⑦ 本人の希望次第
- ⑧ 特に考えはない

3 現在、鈴鹿亀山地域には県立高校が6校配置されており、1学年あたりの学級数は合計28学級となっています。今後、鈴鹿亀山地域でも少子化が進み、15年先の令和21年度には合計15～17学級程度になることが見込まれる中、6校を維持すると各学校の小規模化が進むことから、本協議会では今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の配置のあり方について検討を進めています。このことについて、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 統合は避けるべき
- ② 一定の統合は避けられない
- ③ 積極的に統合を進めるべき

14 質問13の①～③を選んだ理由や、今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

15 今後の鈴鹿亀山地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

※ありがとうございました